

# Syllabus

# シラバス

2023年度

Nagasaki  
University  
School  
of  
Dentistry

長崎大学歯学部

歯学部の授業内容は歯科大学学長・歯学部長会議で定めた「歯科医学教授要綱」にそつて行われており、さらに授業方法は担当教員一人ひとりの創意、工夫に委ねられている。したがって、それぞれの科目の授業の特色を知って出席することが、授業を実り多いものにするのに欠かせない。

「シラバス」syllabus（授業計画書）とは、学生諸君が初めて出会う授業に戸惑わないよう、その内容や方法をあらかじめ伝え、一方通行ではない、大学らしい授業を行うために各担当者により執筆されたガイドブックである。

ここに盛られているのは、授業の概要及び位置づけ、授業の到達目標、授業の方法、教科書と参考書、成績評価の方法、注意事項、それに順を追った授業計画である。「シラバス」に目を通すことによって、担当教員がこの授業によって何を伝えようとしているのか、どういう進め方をするのか、学生に何を準備して授業に参加してほしいと期待しているかがわかるはずである。授業を受ける前に熟読すれば、効果的な予習の役に立ち、また復習や試験勉強の格好のガイドにもなる。教員の要求する準備をして授業に臨めば、共通のベースに立脚した質疑応答が活発に行われ、双向的な授業の展開が可能になるだろう。

さらに、全学的な授業評価アンケートも実施しているので、学生側からの意思表示もより明確にできると考える。

なお、臨床実習を開始するに十分な知識の有無を問う共用試験（CBT・OSCE）は、教育ガイドラインである歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応し実施されている。

臨床実習に関しては、別に用意した詳細な「臨床開始前実習の手引」及び「臨床実習の手引」が「シラバス」に相当するので、本冊子には含まれていない。

授業を受けるにあたって、該当科目の「シラバス」を十分に活用し、下記の歯学部の理念を念頭に、教育目標を達成してほしい。

---

### 歯学部の理念

---

**基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を修得し、今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓くとともに社会に信頼される歯科医師および研究者を養成する。**

---

### 歯学部の教育目標

---

- (1) 責任感、社会性を持ち、歯科医師としての倫理観と豊かな人間性を身につけている。
  - (2) コミュニケーション能力と協調性を身につけている。
  - (3) 生命科学へのリサーチマインドを身につけている。
  - (4) 離島等の地域歯科医療について、保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる。
  - (5) 先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけている。
- 

---

### アクセシビリティ

---

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、各授業の担当教員または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。

#### アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先

(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp

---

# 歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版） 概要

- 学生が卒業時までに身に付けておくべき、必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）を、「ねらい」と「学修目標」として明確化
- 学生の学修時間数の6割程度を目安としたもの
- 「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載
- 「歯科医師として求められる基本的な資質・能力」として、ミニマム・エッセンスである項目を記載

## 【各大学のアドミッション・ポリシー】

## 【各大学のカリキュラム・ポリシー】

## 【各大学のディプロマ・ポリシー】

# 多様なニーズに対応できる歯科医師の養成

## 医学知識と問題対応能力

### 診療技能と患者ケア

### コミュニケーション能力

### チーム医療の実践

## プロフェッショナリズム

### 歯科医師として求められる

### 基本的な資質・能力

## 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### 科学的探究

### 社会における医療の実践

### 医療の質と安全の管理

## B 社会と歯学

### 健康の概念

### 予防と健康管理

## 健康と社会、環境

## 疫学・保健医療統計

## C 生命科学

### 基礎自然科学

### 生命の分子的基本

### 人体の構造と機能

### 感染と免疫

### 病因と病態

### 生体と薬物

## 歯科医療機器

### D (歯科材料・器械・器具)

### 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途

### 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法

## E 臨床歯学

### 口腔・顎頸面領域の常態と疾患

### 歯と歯周組織の常態と疾患

### 矯正歯科・小児歯科治療

### 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患

### 医師と連携するために必要な医学的知識

## F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))

### 診療の基本

### 基本的診察法

### 基本的臨床技能

## 診療参加型臨床実習終了時の技能・態度評価

## CBT(知識)及びOSCE(技能・態度)

### G 診療参加型

### 臨床実習

### 診療の基本

### 基本的診察法

### 基本的臨床技能

### チーム医療・地域医療

### 患者中心の医療

### (別表)

### 臨床実習の内容と分類

各大学の特色ある独自のカリキュラム(学生の学修時間数の4割程度)  
※ 各大学が教育理念に基づいて設置する独自の教育内容(学生が自主的に選択できるプログラムを含む)

## 令和5年度歯学部行事予定表

### — 前期 —

学年開始	4月 1日 (土)
入学式	4月 4日 (火)
新入生学部オリエンテーション	4月 5日 (水)
授業開始（1年）	4月 10日 (月)
授業開始（2～6年）	4月 3日 (月)
臨床開始前実習（5年）	5月 8日 (月)～9月 29日 (金)
CBT（5年）	6月 8日 (木)
O S C E（5年）	7月 22日 (土)
定期試験時間割発表	7月 5日 (水)
授業終了（1年）	7月 24日 (月)
授業終了（2～4年）	7月 21日 (金)
授業終了（5年）	7月 27日 (木)
定期試験期間（1年）	7月 31日 (月)～8月 1日 (火)
定期試験期間（2～4年）	7月 24日 (月)～28日 (金)
定期試験期間（5年）	8月 16日 (水)～22日 (火)
夏季休業（1年）	8月 2日 (水)～10月 1日 (日)
夏季休業（2～4年）	7月 29日 (土)～9月 27日 (水)
夏季休業（5年）	7月 23日 (日)～8月 15日 (火) 8月 23日 (水)～9月 19日 (火)
CBT再試験（5年）	8月 8日 (火)
追試験願提出締切（1年）	8月 3日 (木)
追試験願提出締切（2～4年）	8月 7日 (月)
追試験願提出締切（5年）	8月 23日 (水)
追試験時間割発表（1年）	8月 4日 (金)
追試験時間割発表（2～4年）	8月 8日 (火)
追試験時間割発表（5年）	8月 24日 (木)
追試験期間（1年）	8月 7日 (月)～8日 (火)
追試験期間（2～4年）	8月 16日 (水)～17日 (木)
追試験期間（5年）	8月 25日 (金)～28日 (月)
再試験期間（1年）	8月 21日 (月)～22日 (火)
再試験期間（2～4年）	8月 21日 (月)～23日 (水)
再試験期間（5年）	9月 4日 (月)～6日 (水)
前期成績発表	10月の指定する日

## — 後 期 —

授業開始	9月28日（木）
臨床実習（5年）	10月 2日（月）～翌年度9月末
解剖体慰靈祭	10月26日（木）
歯学部祭	11月18日（土）～20日（月）
冬季休業（1～5年）	12月26日（火）～1月4日（木）
定期試験時間割発表	1月15日（月）
授業終了（1年）	1月29日（月）
授業終了（2～4年）	1月30日（火）
定期試験期間（1年）	2月 5日（月）～2月6日（火）
定期試験期間（2～4年）	1月31日（水）～2月6日（火）
追試験願提出締切（1年）	2月 8日（木）
追試験願提出締切（2～4年）	2月 7日（水）
追試験時間割発表（1年）	2月 9日（金）
追試験時間割発表（2～4年）	2月 8日（木）
追試験期間（1年）	2月13日（火）～19日（月）
追試験期間（2～4年）	2月 9日（金）～13日（火）
再試験期間（1年）	2月20日（火）～26日（月）
再試験期間（2～4年）	2月16日（金）～20日（火）
卒業式	3月25日（月）
学年終了	3月31日（日）
後期成績発表	3月の指定する日

# 令和5年度歯学部カレンダー(1年次)

前期:4月10日(月)～8月1日(火)

1Q:4月10日～6月6日

2Q:6月12日～8月1日

	日	月	火	水	木	金	土
5年 4月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
5月	30	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
6月	28	29	30	31	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
7月	25	26	27	28	29	30	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
8月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
9月	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
回数	24	25	26	27	後期28	後期29	30
	-	15	15	-	-	-	-

後期:10月2日(月)～2月6日(火)

3Q:10月2日～11月27日

4Q:11月28日～2月6日

	日	月	火	水	木	金	土
9月	24	25	26	27	28	29	30
10月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
11月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
12月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
6年 1月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
2月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	1	2
3月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
回数	-	15	15	-	-	-	-

注:9月28日(木)は後期の授業開始日



授業日



補講日(補講を実施しない場合は定期試験日として利用可能)



定期試験日



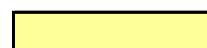
追試験日



再試験日



入学式、教養教育オリエンテーション



学部オリエンテーション

注:1年次授業は月～火曜日が専門教育、水～金曜日は教養教育である。

1年次の教養教育の授業開始日は4月12日(水)から。

## 令和5年度歯学部カレンダー(2~4年次)

前期:4月3日(月)~7月28日(金)

1Q:4月3日~6月2日(5月29~30日を除く)

2Q:5月29日~7月28日(5月31日、6月1~2日を除く)

	日	月	火	水	木	金	土
5年 4月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	1	2	3	4	5	6
5月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
6月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	1
7月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
8月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
9月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	後期28	後期29	30
回数	-	15	15	15	15	15	-

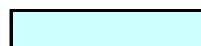
後期:9月28日(木)~2月6日(火)

3Q:9月28日~11月27日

4Q:11月28日~2月6日

	日	月	火	水	木	金	土
9月	24	25	26	27	28	29	30
10月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
11月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
12月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
6年 1月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
2月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	1	2
3月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
回数	-	14	16	15	15	15	-

注:9月28日(木)は後期の授業開始日



授業日



補講日(補講を実施しない場合は定期試験日として利用可能)



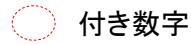
定期試験日



追試験日



再試験日



休業日等

(1/16(火)共通テスト試験監督等振替、1/19(金)学校推薦型選抜Ⅱ当日)

※ただし一部科目では講義を実施する場合があるので注意すること。

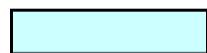
# 令和5年度歯学部カレンダー(5年次)

前期:4月3日(月)～9月27日(水)

	日	月	火	水	木	金	土
5年 4月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	1	2	3	4	5	6
5月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
6月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	1
7月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
8月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
9月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

後期:9月28日(木)～3月31日(日)

	日	月	火	水	木	金	土
9月	24	25	26	27	28	29	30
10月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
11月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
12月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
6年 1月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
2月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	1	2
3月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						



授業日



定期試験日



追試験日



再試験日



CBT試験日(前日の6月7日(水)午後はCBT体験テスト)



CBT再試験日



OSCE試験日

(令和5年度)歯学部授業時間割

(前期)(1Q・2Q)

校時 曜日	I		II		III		IV		V							
	8:50	10:20	10:30	12:00	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50						
年次	1	2	3	4	5	6	7	8								
月	1	歯科学のための物理学(講3B)	細胞生物学入門 I(講3B)	歯学展望(講3B)	骨学及び同実習(歯解実・講3B・医2講・医1実)				初年次セミナー(文教・坂本)							
	2	教養教育			教養教育(全学モジュール II)				教養教育							
	3	微生物学・口腔微生物学(講3A)				薬理学及び同実習(講3A・実5C)										
	4	歯科矯正学及び同実習(講6A・臨4B)			予防歯科学及び同実習(講6A・臨4B)				基礎歯学研究							
	5	統合科目(講6B)														
	6	臨床実習							基礎歯学輪講(講3A)							
火	1	(1Q)学内・学外早期体験実習/(2Q)歯科医師のコンピテンシー I(講3B)		細胞生物学プラクシス(講3B)					初年次セミナー(文教・坂本)							
	2	教養教育			教養教育(全学モジュール II)				教養教育							
	3	薬理学及び同実習(講3A・実5C)	(1Q)微生物学・口腔微生物学(講3A)／(2Q)病理学総論及び同実習(講3A・実5B)		病理学総論及び同実習(講3A・実5B)											
	4	歯科矯正学及び同実習(講6A)		保存修復学(講6A)	保存修復学実習(臨4B)											
	5	統合科目(講6B)														
	6	臨床実習							歯学研究							
水	1	教養教育														
	2	生理学(講3B)/生理学実験(実5C)			生化学実験(実5A)											
	3	歯科理工学 I /歯科理工学 II /歯科理工学 III(講3A)			口腔組織学及び同実習(講3A・実5B)											
	4	(1Q)災害口腔医学/(2Q)小児歯科学・小児歯科学実習(講6A)		歯内治療学(講6A)	歯内治療学実習(臨4B)											
	5	統合科目(講6B)														
	6	臨床実習							歯学研究							
木	1	教養教育														
	2	歯科医師のコンピテンシー II(講3B)		解剖学及び同実習講(講3B・歯解実)												
	3	内科学総論(講3A)		歯科東洋医学(講3A)／Scientific and Practical English(講3A)												
	4	障害者歯科学(講6A)		歯科医師のコンピテンシー IV(講6A)	冠橋義歯学及び同実習(講6A・臨4B)											
	5	統合科目(講6B)														
	6	臨床実習														
金	1	教養教育														
	2	生化学(講3B)		発生学(講3B)	生理学(講3B)/生理学実験(実5C)											
	3	外科学総論(講3A)		口腔解剖学及び同実習(歯解実・講3A)	コミュニケーション教育・実習(講3A)		(1Q)基礎歯学研究概論(講3A)／(2Q)基礎歯学研究									
	4	歯科麻酔学及び同実習(講6A)			有床義歯補綴学及び同実習(講6A・臨4B)											
	5	統合科目(講6B)														
	6	臨床実習							基礎歯学輪講(講3A)							

※ 教室名と略語の対応は以下のとおり。

講3A…講義室3A(C棟3階)	実5A…実習室5A(C棟5階)	臨4B…臨床実習室4B(C棟4階)
講2…講義室3B(C棟3階)	実5B…実習室5B(C棟5階)	医2講…医学部第2講義室
講6A…講義室6A(C棟6階)	実5C…実習室5C(C棟5階)	医1実…医学部第1実習室
講6B…講義室6B(C棟6階)	歯解実…歯学部解剖実習室(A棟7階)	

時間割

90分授業	60分授業
1校時 8:50-10:20	1校時 8:50-9:50
2校時 10:30-12:00	2校時 10:00-11:00
3校時 13:00-14:30	3校時 11:10-12:10
4校時 14:40-16:10	4校時 13:00-14:00
5校時 16:20-17:50	5校時 14:10-15:10
	6校時 15:20-16:20
	7校時 16:30-17:30
	8校時 17:40-18:40

(令和5年度)歯学部授業時間割

(後期)(3Q・4Q)

校時 曜日	I		II		III		IV		V												
	8:50	10:20	10:30	12:00	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50											
年次	1 8:50	2 9:50	3 10:00	4 11:00	5 11:10	6 12:10	7 13:00	8 14:00	9 14:10	10 15:10	11 15:20	12 16:20	13 16:30	14 17:30	15 17:40	16 18:40					
月	1	細胞生物学入門 II(講3B)	歯学展望(講3B)	歯科学のための生物科学(講3B)/ (4Q)歯科学のための化学(講3B)																	
	2	長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(講6B)					長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(オンライン自主学習)														
	3	内科学各論/隣接医学 III(講3A)			微生物学・口腔微生物学(講3A)	外科学各論(講3A)	(3Q)内科学各論/隣接医学 II(講3A) (4Q)歯科法医学(講3A)														
	4	歯周病学(講6A)			統合科目(スポーツ歯学)/ 統合科目(総合歯科学 I) (講6A)	歯周病学実習(臨4B)					基礎歯学研究										
	5	臨床実習																			
	6	臨床実習／高次口腔医療学								歯科医療管理学(講3A)											
火	1	学内・学外早期体験実習(講3B)																			
	2	長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(講6B)				長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(オンライン自主学習)															
	3	(3Q)医学統計学/(4Q) コンピテンシーIII(講3A)	口腔病理学及び同実習(講3A・実5B)																		
	4	統合科目(臨床解剖学)(講6A・歯解実・医解実)				口腔外科学 I 及び同実習(講6A・臨4B)					実践臨床歯科英会話(講6A)										
	5	臨床実習										(3Q)歯科医師の コンピテンシーV /臨床歯学セミナー(講6B)									
	6	臨床実習／高次口腔医療学								歯科医療管理学(講3A)											
水	1	教養教育																			
	2	(3Q)歯科医師のコンピテンシーII/(4Q) 解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)	(3Q)長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(講6B) (4Q)解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)	(3Q)長崎大学グローカルインターンシップ・プログラム(オンライン自主学習) (4Q)解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)																	
	3	隣接医学 I・II(講3A)		(3Q)歯科理工学実験(講3A・実5C) (4Q)内科学各論/隣接医学 I・II(講3A)																	
	4	高齢者歯科学(講6A)			小児歯科学/小児歯科学実習(講6A・臨4B)																
	5	臨床実習										歯学研究									
	6	臨床実習／高次口腔医療学								歯科医療管理学(講3B)											
木	1	教養教育(全学モジュール I)																			
	2	解剖学及び同実習(講6B・歯解実・医解実)																			
	3	(3Q)隣接医学 III(講3A)	(3Q)口腔微生物学実習(講3A・実5A) (4Q)隣接医学 II(講3A)					(4Q)衛生学及び同実習(講3A・実5A)					隣接医学 I(講3A)								
	4	歯科放射線学及び同実習(講6A)				冠橋義歯学及び同実習(講6A・臨4B)					臨床歯学研究概論(講6A)										
	5	臨床実習																			
	6	臨床実習／高次口腔医療学								歯科医療管理学(講3B)											
金	1	教養教育(全学モジュール I)																			
	2	組織学及び同実習(講6B・実5B)																			
	3	歯科薬理学(講3A)/口腔生理学(講3A)				口腔生化学(講3A)			基礎歯学研究												
	4	口腔外科学 II 及び同実習(講6A・臨4B)				有床義歯補綴学及び同実習(講6A・臨4B)															
	5	臨床実習				臨床実習／医哲学・医療倫理(医講4)															
	6	臨床実習／高次口腔医療学								歯科医療管理学(講3B)											

※ 教室名と略語の対応は以下のとおり。

- 講3A…講義室3A(C棟3階)
- 講3B…講義室3B(C棟3階)
- 講6A…講義室6A(C棟6階)
- 講6B…講義室6B(C棟6階)
- 実5A…実習室5A(C棟5階)
- 実5B…実習室5B(C棟5階)
- 実5C…実習室5C(C棟5階)
- 歯解実…歯学部解剖実習室(A棟7階)
- 臨4B…臨床実習室4B(C棟4階)
- 医解実…医学部解剖実習室
- 医講4…医学部第4講義室(病院2階)

時間割

90分授業	60分授業
1校時 8:50-10:20	1校時 8:50-9:50
2校時 10:30-12:00	2校時 10:00-11:00
3校時 13:00-14:30	3校時 11:10-12:10
4校時 14:40-16:10	4校時 13:00-14:00
5校時 16:20-17:50	5校時 14:10-15:10
6校時 15:20-16:20	
7校時 16:30-17:30	
8校時 17:40-18:40	

## 令和5年度歯学部

## 統合科目時間割(5年次)前期

前期:4月3日(月)~9月27日(水)

	日	月	火	水	木	金	土	月								火								水								木								土																						
								1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8																															
4月	2	3	4	5	6	7	8	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	8																											
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29										
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																
	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29							
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29														
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																					
	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																												
6月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29				
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29										
	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																	
	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																								
7月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29									
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																
	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29																							
8月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	29					
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18																									

目 次

1. 総合科目(1年次生～5年次生)	
(1) 学内・学外早期体験実習	(1年) .....
(2) 学内・学外早期体験実習	(1年) .....
(3) 歯学展望	(1年) .....
(4) コミュニティ教育・実習	(3年) .....
(5) 歯科東洋医学	(3年) .....
(6) Scientific and Practical English	(3年) .....
(7) 歯科医師のコンピテンシー I	(1年) .....
(8) 歯科医師のコンピテンシー II	(2年) .....
(9) 歯科医師のコンピテンシー III	(3年) .....
(10) 歯科医師のコンピテンシー IV	(4年) .....
(11) 歯科医師のコンピテンシー V	(5年) .....
2. 口腔生命科学総論(1年次生、2年次生、3年次生)	
(1) 骨学及び同実習	(1年) .....
(2) 解剖学及び同実習	(2年) .....
(3) 発生学	(2年) .....
(4) 組織学及び同実習	(2年) .....
(5) 生理学	(2年) .....
(6) 生理学実験	(2年) .....
(7) 生化学	(2年) .....
(8) 生化学実験	(2年) .....
(9) 歯科理工学 I	(3年) .....
(10) 歯科理工学 II	(3年) .....
(11) 歯科理工学 III	(3年) .....
(12) 病理学総論及び同実習	(3年) .....
(13) 微生物学・口腔微生物学	(3年) .....
(14) 薬理学及び同実習	(3年) .....
(15) 歯科学のための化学	(1年) .....
(16) 歯科学のための生物科学	(1年) .....
(17) 歯科学のための物理科学	(1年) .....
(18) 細胞生物学プラクシス	(1年) .....
(19) 細胞生物学入門 I	(1年) .....
(20) 細胞生物学入門 II	(1年) .....
3. 口腔生命科学各論 I (3年次生)	
(1) 口腔解剖学及び同実習	.....
(2) 口腔組織学及び同実習	.....
(3) 口腔生理学	.....
(4) 口腔生化学	.....
(5) 歯科理工学実験	.....
(6) 口腔病理学及び同実習	.....
(7) 口腔微生物学実習	.....
(8) 歯科薬理学	.....
(9) 医学統計学	.....
(10) 歯科法医学	.....
4. 口腔生命科学各論 II (3年次生、4年次生、5年次生)	

(1) 衛生学及び同実習	(3年)	.....
(2) 予防歯科学及び同実習	(4年)	.....
(3) 歯科矯正学及び同実習	(4年)	.....
(4) 小児歯科学／小児歯科学実習	(4年)	.....
(5) 保存修復学	(4年)	.....
(6) 保存修復学実習	(4年)	.....
(7) 歯内治療学	(4年)	.....
(8) 歯内治療学実習	(4年)	.....
(9) 歯周病学	(4年)	.....
(10) 歯周病学実習	(4年)	.....
(11) 冠橋義歯学及び同実習	(4年)	.....
(12) 有床義歯補綴学及び同実習	(4年)	.....
(13) 口腔外科学 I 及び同実習	(4年)	.....
(14) 口腔外科学 II 及び同実習	(4年)	.....
(15) 歯科放射線学及び同実習	(4年)	.....
(16) 歯科麻酔学及び同実習	(4年)	.....
(17) 高齢者歯科学	(4年)	.....
(18) 障害者歯科学	(4年)	.....
(19) 災害口腔医学	(4年)	.....
(20) 口腔インプラント学	(5年)	.....
(21) 摂食嚥下リハビリテーション学	(5年)	.....
(22) 社会歯科学	(5年)	.....

## 5. 関連臨床医学(3年次生)

(1) 内科学総論(歯薬・90分/コマ)	.....
(2) 外科学総論(歯薬・60分/コマ)	.....
(3) 内科学各論(歯薬・90分/コマ)	内科学1 ..... 内科学3 ..... 血液学 ..... 外科学1 ..... 外科学2 ..... 皮膚科学 ..... 眼科学 ..... 耳鼻咽喉科学 ..... 整形外科学 ..... 形成外科学 ..... 小児科学 ..... 産科婦人科学 ..... 泌尿器科学 ..... 精神神経科学 ..... 脳神経外科学 ..... 人類遺伝学 .....
(4) 外科学各論(歯・60分/コマ)	.....
(5) 隣接医学 I (歯薬・90分/コマ)	.....
(6) 隣接医学 II (歯薬・90分/コマ)	.....
(7) 隣接医学III(歯・60分/コマ)	.....

## 6. 統合科目(4年次生、5年次生)

(1) 臨床解剖学	(4年)	.....
(2) スポーツ歯学	(4年)	.....
(3) 総合歯科学 I	(4年)	.....
(4) 総合歯科学 II	(5年)	.....
(5) 臨床歯科器材・薬剤学	(5年)	.....
(6) 臨床薬理学	(5年)	.....
(7) デジタルデンティストリー	(5年)	.....
(8) 龈蝕・歯周病学	(5年)	.....
(9) 接着歯学	(5年)	.....
(10) 頸口腔機能・解析学	(5年)	.....
(11) 成育歯学	(5年)	.....
(12) 口腔腫瘍学	(5年)	.....
(13) 口腔感染症及び免疫学	(5年)	.....
(14) 周術期口腔機能管理学(旧:臨床検査学)	(5年)	.....
(15) 生活習慣病と口腔	(5年)	.....
(16) 睡眠障害と疾患	(5年)	.....
(17) 離島歯科医学	(5年)	.....
(18) 医療面接	(5年)	.....
(19) 医療倫理・プロフェッショナリズム論	(5年)	.....
(20) 急性期医療	(5年)	.....
(21) 在宅介護医療	(5年)	.....
(22) 統合医療学	(5年)	.....

## 7. 特別科目(6年次生)

歯科医療管理学	.....
基礎歯学輪講	.....
高次口腔医療学	.....

## 8. 専門教養科目

(1) 長崎大学歯学部 グローバルインターンシップ・プログラム	(2年)	.....
(2) 実践臨床歯科英会話	(4年)	.....

## 9. 臨床実習(5年次、6年次)

臨床実習	.....
------	-------

## 10. 研究科目(3年次生、4年次生、5年次生、6年次生) ※ 歯学研究コース履修者対象

基礎歯学研究概論	(3年)	.....
基礎歯学研究	(3・4年)	.....
臨床歯学研究概論	(4年)	.....
歯学研究	(5・6年)	.....

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 木・3-7(時間割を参照)	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25064409 DNGD11051941 歯科東洋医学/(Oriental Dental Medicine)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝, 亀山敦史(非常勤講師), 前川靖裕(非常勤講師), 池田裕明(腫瘍医学), 坂井詠子, 筑波隆幸, 多田浩晃, 林 真実, 戸田一雄(非常勤講師), 田頭澄人(非常勤講師), 金子 篤(非常勤講師)		
授業の概要	<p>東洋医学では、人は大自然(大宇宙)のなかの一つで、自然界のすべてのものと、お互いに関連し、影響しあっているとみなしている。西洋医学では、組織、器官はそれぞれ独立して異なるものとするが、東洋医学では、異なった機能を持ちながらも全体として有機的につながりをもった共有体とされている。その根底となる思想が陰陽論と五行論である。このような東洋医学の理論的背景を認識しつつ実際の東洋医学的治療法の主な方法を、座学および体験を通して学習する。</p>		
授業到達目標			
一般目標 GIO: 患者満足度の高い良質な歯科医療を提供するために、東洋医学の概念を西洋医学に対比して理解し、統合医療を実践するために必要な基本的知識、および態度を修得する。	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 (直接該当するコアカリ番号は無いが平成 28 年度より「薬物」の定義に(和漢薬を含む)と付記されている) C-6 生体と薬物 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p>		
個別行動目標 SBOs:	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東洋医学体系の基礎理論と診断法を説明できる。</li> <li>2. 各種東洋医学的治療法(鍼灸・漢方)のメカニズムを説明できる。</li> <li>3. エイジングや免疫に及ぼす東洋医学的治療法の役割を説明できる。</li> <li>4. 経絡および歯科領域で重要な経穴の部位を列挙し、説明できる。</li> <li>5. 漢方の歴史的背景に关心を持つ。</li> <li>6. 各種代替医療を列挙し、その概要を説明できる。</li> </ol>		
対応するディプロマポリシー			
DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。			
DP2: 歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。			
授業方法(学習指導法)	<p>輪講形式。スライド、ビデオ等を用いて講義する。必要に応じて実地学習を取り入れる。プリント等は必要な時に配布する。アクティブラーニングにおいては、グループ学習の他、発表討論を行う。</p>		
授業内容			
1 回目 統合医療学総論			
2 回目 補完代替医学1			
3 回目 補完代替医学2			
4 回目 日本人は何故冷え性になったのか? 1			
5 回目 日本人は何故冷え性になったのか? 2			
6 回目 がん免疫治療の最前線			
7 回目 漢方薬理			
8 回目 抗加齢科学			
9 回目 先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング) 1			
10 回目 先人から学ぶ漢方の知恵(アクティブラーニング) 2			
11 回目 薬膳料理1			
12 回目 薬膳料理2			
13 回目 耳鍼法、アロマセラピー			
14 回目 鍼鎮痛のメカニズム			
15 回目 歯科鍼灸			
16 回目 鍼灸の実際			
17 回目 漢方最前線			
キーワード	東洋医学、伝統医学、代替医学、統合医療、鍼、灸、漢方、食養、アロマセラピー、EBM		
教科書・教材・参考書	参考書: 歯科漢方医学、歯科漢方医学教育協議会監修、永末書店 続今日からあなたも口腔漢方医、王宝禮・王龍三編、医歯薬出版 入門歯科東洋医学(第 2 版)、日本歯科東洋医学会編		

成績評価の方法・基準等	出席率、講義内の小テスト、アクティブラーニングへの参加態度、および筆記試験またはレポートにより総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合、成績評価の対象とならない。
備考(学生へのメッセージ)	東洋医学関係の一般書に目を通しておくことが望ましい。学外講師による講義は日頃接することでのきない貴重な機会であり、礼を失することが無いように心がけること。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角 忠輝(第1・9・10・16回)/大学病院における歯科診療行為/自らの診療経験を元に、統合医療の概念について講義およびアクティブラーニング形式の授業を行っている</li> <li>・亀山 敦史(第2・3回)/大学病院における歯科診療行為/大学病院における診療行為を元に統合医療の概念と実際にについて講義形式の授業を行っている</li> <li>・前川 靖裕(第4・5回)/診療所における診療行為/自らの診療経験を元に、漢方の概念について講義形式の授業を行っている</li> <li>・多田 浩晃(第9・10・16回)/大学病院等における診療行為/大学病院における歯科診療行為自らの診療経験を元に、統合医療の概念について講義およびアクティブラーニング形式の授業を行っている</li> <li>・池田 裕明(第6回)/大学病院等における診療行為/自らの診療経験を元に、がん免疫治療についての講義を行っている。</li> <li>・田頭 澄人(第16回)/歯科診療所における歯科診療行為/鍼灸師の資格を持つ当該教員が、鍼灸理論・実際の歯科医療への応用について実習形式で授業を行っている。</li> <li>・金子 篤(第17回)/研究職/製薬会社での研究職の経験を活かし、漢方薬理の基本について講義形式の授業を行っている。</li> </ul>

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	11	木	3	統合医療学総論	角 忠輝	講義室3A
2回	5	11	木	4	補完代替医学1	亀山敦史	講義室3A
3回	5	11	木	5	補完代替医学2	亀山敦史	講義室3A
4回	5	17	水	6	日本人は何故冷え性になったのか？1	前川靖裕	講義室3A
5回	5	17	水	7	日本人は何故冷え性になったのか？2	前川靖裕	講義室3A
6回	5	25	木	3	がん免疫治療の最前線	池田裕明	講義室3A
7回	5	25	木	5	漢方薬理	坂井詠子	講義室3A
8回	6	1	木	3	抗加齢科学	筑波隆幸	講義室3A
9回	6	1	木	4	先人から学ぶ漢方の知恵1	多田浩晃	講義室3A
10回	6	1	木	5	先人から学ぶ漢方の知恵2	多田浩晃	講義室3A
11回	6	15	木	4	薬膳料理1	林 真実	講義室3A
12回	6	15	木	5	薬膳料理2	林 真実	講義室3A
13回	6	22	木	3	耳鍼法、アロマセラピー	戸田一雄	講義室3A
14回	6	22	木	4	鍼鎮痛のメカニズム	戸田一雄	講義室3A
15回	6	22	木	5	歯科鍼灸	戸田一雄	講義室3A
16回	6	22	木	6	鍼灸の実際	田頭澄人	講義室3A
17回	6	29	木	4	漢方最前線	金子 篤	講義室3A

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 木・3 ~7	必修選択	必修	単位数 2
科目番号	25064417			
科目ナンバリング・コード	DNGD11031098			
授業科目名/(英語名)	Scientific and Practical English			
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 3A	
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目			
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/授業後に当日の担当者に質問すること。				
担当教員(オムニバス科目等)	渡邊郁哉、バラネザハド・アリレザ、David Atwood (非常勤講師)、			
授業の概要及び位置づけ				
本科目で学ぶのは、英語のリテラシーである。専門知識を学習するうえで不可欠な基礎的語学力を自己点検する。その上で、基本的な英語のリテラシーを学ぶ。				
授業到達目標				
一般目標 GIO: 国際化に対応した歯科医師養成を目指す。				【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
個別行動目標 SBOs: 基本的な英語の知識・技能を習得し、国際コミュニケーション 該当なし ヨン英語能力を身に付ける				
対応するディプロマポリシー DP6:多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。				
授業方法(学習指導法)				
3 年次に再受験が必須の TOEIC 試験について、試験内容の概要説明や試験対策 (Listening and Reading) を行う。				
授業内容				
1 回目 TOEIC 試験内容の概要 2 回目 TOEIC 対策① 3 回目 TOEIC 対策② 4 回目 TOEIC 対策③ 5 回目 TOEIC 対策④ 6 回目 TOEIC 対策⑤ 7 回目 TOEIC 対策⑥ 8 回目 TOEIC 対策⑦ 9 回目 TOEIC 対策⑧ 10 回目 TOEIC 対策⑨ 11 回目 TOEIC 対策⑩ 12 回目 TOEIC 対策⑪ 13 回目 TOEIC 対策⑫ 14 回目 TOEIC 対策⑬ 15 回目 TOEIC 対策⑭	16 回目 TOEIC 対策⑮ 17 回目 TOEIC 対策⑯ 18 回目 TOEIC 対策⑰ 19 回目 TOEIC 対策⑱ 20 回目 TOEIC 対策⑲ 21 回目 TOEIC 対策⑳ 22 回目 TOEIC 対策㉑ 23 回目 TOEIC 対策㉒ 24 回目 TOEIC 対策㉓ 25 回目 TOEIC 対策㉔ 26 回目 TOEIC 対策㉕ 27 回目 TOEIC 対策㉖ 28 回目 TOEIC 対策㉗ 29 回目 TOEIC 対策㉘ 30 回目 TOEIC 対策㉙(アンケートなど)			
キーワード	実践英語			
教科書・教材・参考書	TOEIC 新公式問題集3, 4, 5, 6			
成績評価の方法・基準等	TOIEC 本試験にて評価する。			
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。			
備考(学生へのメッセージ)	TOEIC 対策は Web Class と併用したハイブリッド型クラスとする。各自課題など期限までに On-line で提出を済ませること。			
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。			

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	6	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
2回	4	6	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
3回	4	6	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
4回	4	13	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
5回	4	13	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
6回	4	13	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
7回	4	20	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
8回	4	20	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
9回	4	20	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
10回	4	27	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
11回	4	27	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
12回	4	27	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
13回	5	11	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
14回	5	11	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
15回	5	11	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
16回	6	15	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
17回	6	15	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
18回	6	15	木	7	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
19回	6	30	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
20回	6	30	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
21回	6	30	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
22回	7	7	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
23回	7	7	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
24回	7	7	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
25回	7	14	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
26回	7	14	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
27回	7	14	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
28回	7	20	木	4	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
29回	7	20	木	5	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A
30回	7	20	木	6	TOEIC 練習問題	David Atwood , Valanezhad	講義室3A

年度 2023 学期 2Q	曜日・校時 1年次/火・1~2	必修選択 必修	単位数 0.5			
科目番号	25064418					
科目ナンバリング・コード	DNGD11071098					
授業科目名/(英語名)	歯科医師のコンピテンシー I / (Competence for Dentist I)					
対象年次 1年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B				
対象学生(クラス等)	科目分類 総合科目					
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝(教務委員長)/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/隨時 ※来室前に確認のこと						
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝, 平田創一郎(東京歯科大学)					
<b>授業の概要</b> 歯科医師として求められる基本的な資質と能力を身につけるために、各学年においてスパイラル形式で講義、実習を積み重ねて行く。						
一般目標 GIO: 1 医療、歯科医療及び医学・歯学研究における倫理を遵守するために、その重要性を理解し、医療倫理・研究倫理に関する知識と態度を身に付ける。 2 豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る歯科医師としての義務と責任を自覚する。 3 発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療(evidence-based medicine <EBM>)を基盤に、経験も踏まながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。 個別行動目標 SBOS: 右記のコアカリキュラム参照	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 A-1-1) 医の倫理と生命倫理 1 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等を概説できる。 3 臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 1 歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 2 患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 3 医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる。 4 歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、行政処分)を説明できる。 5 患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。 A-2-2) 学修の在り方 1 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 2 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 3 実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。					
	対応するディプロマポリシー DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけています。					
<b>授業方法(学習指導法)</b> 講義、グループ討議、実習(見学)など						
<b>授業内容</b> 1~2. コンピテンシーとは、歯科医学教育とは、学修のあり方 入門 (基本的態度、実習心得など) 3~4. Profession とは、アンプロフェッショナルとは 5~6. 医と生命倫理 7~8. 歯科医師としての責務と裁量 (プロフェッショナリズム)						
キーワード	倫理、プロフェッショナリズム、歯科医師					
教科書・教材・参考書	参考書: 公衆衛生がみえる 2020-2021 (Medic Media, ISBN978-4-89632-687-1)					
成績評価の方法・基準等	レポート、ポートフォリオ等を中心に、必要に応じて筆記試験も行う					
受講要件(履修条件)	自身の健康管理も歯科医師として必須事項である。したがって、学生健康診断未受験の学生には単位を与えない					
備考(学生へのメッセージ)	.					

実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・角 忠輝（第1～4・7・8回）/長崎大学病院における歯科臨床/医療倫理についての講義</li><li>・平田 創一郎（第5・6回）/元厚生労働省医政局歯科保健課歯科医師臨床研修専門官、総務課医療安全推進室・経済課併任/厚生労働省での勤務経験を元に医療行政の仕組みについて講義形式の授業を行っている。</li></ul>
------------------	--

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	13	火	1	コンピテンシーとは、歯科医学教育とは、学修のあり方 入門（基本的態度、実習心得など）、	角	講義室3B
2回	6	13	火	2	Professionとは	角	講義室3B
3回	6	20	火	1	UnProfessionalとは	角	講義室3B
4回	6	20	火	2	まとめ	角	講義室3B
5回	6	27	火	1	医と生命倫理	平田	講義室3B
6回	6	27	火	2	医と生命倫理	平田	講義室3B
7回	7	4	火	1	歯科医師としての責務と裁量（プロフェショナリズム）	角	講義室3B
8回	7	4	火	2	歯科医師としての責務と裁量（プロフェショナリズム）	角	講義室3B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 水・1	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014108 DNGD22101985 歯科理工学 I / (Dental Materials Science and Engineering I )		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp/歯学部 5 階生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/金曜 15:00~17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	渡邊郁哉、阿部薫明、バラネザハド有礼左		
授業の概要	<p>歯科材料の組成、構造、特性を通して材料選択の指針を理解させるとともに、歯科材料ならびに器械・器具類の適切な取り扱い方法に関する正しい知識を身につけさせる。これにより、臨床家としての材料選択や使用方法に関する価値判断ができるようになるものであり、患者ならびに医療スタッフへの説得力ある説明が可能になる。</p> <p>様々な修復物の作製工程で必要になる各種の歯科材料、器械・器具類に関する基本的知識を習得する。</p>		
授業到達目標	<p>一般目標 GIO: 歯科理工学という歯科医療における材料および器機・器具についての基礎科学と応用科学に関する学問を習得する</p>		
個別行動目標 SBOs:	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・カリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯科材料の基本的性質(物理的性質、機械的性質、化学的性質)を説明できる。 D-1</li> <li>○ 接着の機構、接着強さの測定法、接着部材の破壊様式を説明できる。 D-2</li> <li>○ 模型用材料、埋没材、歯科用陶材の組成、性質、成形技術を説明できる。 D-1, D-2</li> <li>○ 修復物の技工技術を使用機器と関連づけて説明できる。 D-1, D-2</li> </ul>		
対応するディプロマポリシー	<p>DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。 DP11:未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。</p>		
授業方法(学習指導法)	授業中に配付するプリントと教科書に基づいて講義する。課題を与えてレポートの提出を求めることがある。		
授業内容	<p>1回目:歯科材料の物理的性質について説明する。① 2回目:歯科材料の機械的性質について説明する。②(1) 3回目:歯科材料の機械的性質について説明する。③(2) 4回目:歯科材料の化学的性質について説明する。④ 5回目:歯科用合金の性質を考察する上で重要な二元合金の状態図を解説する。 6回目:接着の機構、接着強さの測定法、および接着部材の破壊様式を解説する。 7回目:模型用材料の種類、所要性質、硬化機構、性質を説明する。① 8回目:模型用材料の種類、所要性質、硬化機構、性質を説明する。② 9回目:歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。① 10回目:歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。② 11回目:歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。③ 12回目:特殊な歯科用材料について解説する。 13回目:特殊な歯科用材料について解説する。 14回目:歯科用陶材の分類、組成、物性、成形技術を解説する。① 15回目:歯科用陶材の分類、組成、物性、成形技術を解説する。②</p>		
キーワード	歯科材料、状態図、接着、模型用材料、埋没材、レジン、陶材		
教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スタンダード歯科理工学、学建書院</li> <li>○スキンナー歯科材料学(上、中、下)、医歯薬出版</li> <li>○歯科材料学事典、山根正次監修、学建書院</li> <li>○コア歯科理工学、医歯薬出版</li> <li>○歯科理工学教育用語集、医歯薬出版</li> </ul>		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(100%)で評価する。追試験(特別な理由がある場合のみ1回)と再試験を実施する。再試験の評価は本試験の結果を考慮する。		
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。		
備考(学生へのメッセージ)	予習と復習を確実に実行すること。授業中に配付するプリントと教科書を中心に授業を進めるが、理解を深めるために各自で参考書等を準備すること。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	1	歯科材料の一般的性質① 歯科材料の物理的性質について説明する。	阿部	講義室3A
2回	4	12	水	1	歯科材料の一般的性質② 歯科材料の機械的性質について説明する。(1)	阿部	講義室3A
3回	4	19	水	1	歯科材料の一般的性質③ 歯科材料の機械的性質について説明する。(2)	阿部	講義室3A
4回	4	26	水	1	歯科材料の一般的性質④ 歯科材料の化学的性質について説明する。	阿部	講義室3A
5回	5	10	水	1	合金の状態図 歯科用合金の性質を考察する上で重要な二元合金の状態図を解説する。	阿部	講義室3A
6回	5	17	水	1	材料の接着 接着の機構、接着強さの測定法、および接着部材の破壊様式を解説する。	阿部	講義室3A
7回	5	24	水	1	模型用材料① 模型用材料の種類、所要性質、硬化機構、性質を説明する。	阿部	講義室3A
8回	5	31	水	1	模型用材料② 模型用材料の種類、所要性質、硬化機構、性質を説明する。	阿部	講義室3A
9回	6	7	水	1	埋没材① 歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。	阿部	講義室3A
10回	6	14	水	1	埋没材② 歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。	阿部	講義室3A
11回	6	21	水	1	埋没材③ 歯科用埋没材の種類、所要性質、組成、硬化機構、取扱方法を説明する。	阿部	講義室3A
12回	6	28	水	1	特殊な歯科用材料 特殊な歯科用材料について解説する。	バラネザハド	講義室3A
13回	7	5	水	1	特殊な歯科用材料 特殊な歯科用材料について解説する。	バラネザハド	講義室3A
14回	7	12	水	1	歯科用陶材① 歯科用陶材の分類、組成、物性、成形技術を解説する。①	阿部	講義室3A
15回	7	19	水	1	歯科用陶材② 歯科用陶材の分類、組成、物性、成形技術を解説する。②	阿部	講義室3A

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 水・2	必修選択	必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014109 DNGD22091985 歯科理工学 II / (Dental Materials Science and Engineering II)			
対象年次 3 年次	講義形態 対象学生(クラス等)	講義形式 科目分類	教室 口腔生命科学総論	講義室3A
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /歯学部 5 階生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656) / 金曜 15:00~17:00	渡邊郁哉、阿部薰明			
担当教員(オムニバ ス科目等)	渡邊郁哉、阿部薰明			
授業の概要				
種々の歯科材料の機械的、物理的、化学的性質を正しく理解するために必要な基礎的知識を身につける。また、歯科精密铸造法と铸造関連諸材料の特性を理解する。 口腔内や口腔外で使用される種々の歯科材料の性質を正しく理解し、優れた性質を引き出すために必要な基礎知識を習得する。／種々の歯科材料や生体材料の組成、構造、性質を説明できる。				
授業到達目標				
一般目標 GIO: 歯科理工学という歯科医療における材料および器機・器具についての基礎科学と応用科学に関する学問を習得する				【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】
個別行動目標 SBOs:				
○ 歯科材料と生体材料(金属材料、セラミック材料、高分子材料、複合材料) の構造と特徴を説明できる。	D-1, D-2			
○ 歯科精密铸造法の原理と特徴、铸造欠陥の防止法を説明できる。	D-1, D-2			
○ 各種歯科材料の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明できる。	D-1, D-2			
対応するディプロマポリシー				
DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。 DP11:未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。				
授業方法(学習指導法)				
授業中に配付するプリントに基づいて講義する。理解を深めるため、OHP や液晶プロジェクターなどを適宜利用する。授業中に質問したり、課題を与えてレポート提出を求める場合がある。				
授業内容				
1回目:歯科材料と生体材料について概説し、歯科材料の所要性質を解説する。 2回目:印象材の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。① 3回目:印象材の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。② 4回目:歯科用ワックスの種類、所要性質、取扱方法を説明する。 5回目:歯科精密铸造の工程と種々の铸造法について説明する。 6回目:合金の融解方法と铸造収縮の要因を説明するとともに、铸造収縮を補償するための具体的方法を解説する。 7回目:铸造欠陥の種類、成因、およびその防止策を解説する。 8回目:成形修復材料の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。① 9回目:成形修復材料の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。② 10回目:予防歯科材料と歯冠補綴用材料の概要、種類、所要性質、取扱い方法を説明する。 11回目:人工歯根、骨補填材料の種類と所要性質について説明する。 12回目:合着・接着用材料(歯科用セメント)の種類と用途、所要性質を説明する。① 13回目:合着・接着用材料(歯科用セメント)の種類と用途、所要性質を説明する。② 14回目:義歯用材料の概要、種類、所要性質、取扱方法について解説する。① 15回目:義歯用材料の概要、種類、所要性質、取扱方法について解説する。②				
キーワード	歯科材料、生体材料、接着、陶材、骨補填材料、歯科精密铸造			
教科書・教材・参考書	○スタンダード歯科理工学、学建書院 ○スキンナー歯科材料学(上、中、下)、医歯薬出版 ○歯科材料学事典、山根正次監修、学建書院 ○コア歯科理工学、医歯薬出版 ○歯科理工学教育用語集、医歯薬出版			
成績評価の方法・基準等	筆記試験(100%)で評価する。追試験(特別な理由がある場合のみ1回)と再試験を実施する。再試験の評価は本試験の結果を考慮する。			
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。			
備考(学生へのメッセージ)	予習と復習を確実に実行すること。授業中に配布するプリントを中心に授業を進めるが、理解を深めるために各自で教科書や参考書を準備すること。			
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。			

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	2	歯科材料概論 歯科材料と生体材料について概説し、歯科材料の所要性質を解説する。	渡邊	講義室3A
2回	4	12	水	2	印象材① 印象材の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
3回	4	19	水	2	印象材② 印象材の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
4回	4	26	水	2	歯科用ワックス 歯科用ワックスの種類、所要性質、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
5回	5	10	水	2	歯科精密铸造法 歯科精密铸造の工程と種々の铸造法について説明する。	渡邊	講義室3A
6回	5	17	水	2	合金の融解・铸造収縮 合金の融解方法と铸造法について説明する。铸造収縮の要因を説明するとともに、铸造収縮を補償するための具体的方法を解説する。	渡邊	講義室3A
7回	5	24	水	2	铸造欠陥 铸造欠陥の種類、成因、およびその防止策を解説する。	渡邊	講義室3A
8回	5	31	水	2	成形修復材料① 成形修復材料の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
9回	6	7	水	2	成形修復材料② 成形修復材料の種類、組成、硬化機構、性質、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
10回	6	14	水	2	予防歯科材料と歯冠補綴用レジン材料 予防歯科材料の概要、種類、所要性質について説明する。 歯科用レジン材料の種類、所要性質、硬化機構、取扱方法を説明する。	渡邊	講義室3A
11回	6	21	水	2	人工歯根と骨補填材料 人工歯根、骨補填材料の種類と所要性質について説明する。	渡邊	講義室3A
12回	6	28	水	2	合着・接着用材料・歯科用セメント① 合着・接着用材料(歯科用セメント)の種類と用途、所要性質を説明する。	渡邊	講義室3A
13回	7	5	水	2	合着・接着用材料・歯科用セメント② 合着・接着用材料(歯科用セメント)の種類と用途、所要性質を説明する。	渡邊	講義室3A
14回	7	12	水	2	義歯用材料① 義歯用材料の概要、種類、所要性質、取扱方法について解説する。	渡邊	講義室3A
15回	7	19	水	2	義歯用材料② 義歯用材料の概要、種類、所要性質、取扱方法について解説する。	渡邊	講義室3A

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 水・3	必修選択 必修	単位数 1
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25014110 DNGD22111985 歯科理工学III/ (Dental Materials Science and Engineering III)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室3A	
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学総論	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /歯学部 5 階生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/金曜 15:00~17:00			
担当教員(オムニバ ス科目等)	渡邊郁哉、阿部薰明		
<b>授業の概要</b>			
日進月歩する歯科材料、機械・器具ならびに技工技術について、科学的な判断力と応用能力を高めることを目標とする。金合金、金銀パラジウム合金、チタンなどの各種修復用合金の諸性質と、優れた性能を引き出すための正しい取り扱い方について学ぶ。さらに、技工技術の点で重要なろう付けや研磨方法を理解するための基礎知識を身につける。／各種歯科用合金の組成、性質、用途、利点・欠点、熱処理法等が説明できる。ろう付けや研磨作業を行う上で注意すべき点を説明できる。			
<b>授業到達目標</b>			
一般目標 GIO: 歯科理工学という歯科医療における材料および器機・器具についての基礎科学と応用科学に関する学問を習得する			
【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】			
個別行動目標 SBOs:			
○歯科用金属材料の種類と性質、ならびに適切な取り扱い方を説明できる。	D-1, D-2		
○切削、研磨、摩耗の理論を説明できる。	D-1, D-2		
○歯科用金属材料の接合方法を説明できる。	D-1, D-2		
<b>対応するディプロマポリシー</b>			
DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。 DP11:未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。			
<b>授業方法(学習指導法)</b>			
授業中に配布するプリントと教科書を中心に講義を進める。課題を与えてレポートを提出させることがある。			
<b>授業内容</b>			
1 回目:金属の接合方法の種類とそれぞれの原理、特徴を説明する。① 2 回目:金属の接合方法の種類とそれぞれの原理、特徴を説明する。② 3 回目:切削と研磨の理論を説明し、研磨材の種類と補綴物の研磨法を説明する。 4 回目:歯科用純チタンとチタン合金の用途、特徴、性質を説明する。 5 回目:鋳造用金合金の分類、性質、用途を説明するとともに、各種添加元素の効果を説明する。 6 回目:鋳造用金合金の熱処理法と、熱処理に伴う機械的性質の変化を説明する。 7 回目:歯科用金属材料としての銀の特徴を説明するとともに、耐硫化性の改善法を説明する。 8 回目:金銀パラジウム合金と低融銀合金の種類と性質、取り扱い上の注意点を説明する。 9 回目:陶材焼付用合金の分類、所要性質、陶材／合金間の接合機構を説明する。 10 回目:歯科用非貴金属合金の分類、用途、組成、性質などを説明する。① 11 回目:歯科用磁性材料の分類、用途、特徴、性質を説明する。 12 回目:歯科用非貴金属合金の分類、用途、組成、性質などを説明する。② 13 回目:歯内療法関連材料の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。 14 回目:歯科矯正用材料の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。 15 回目:歯科用器械の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。			
キーワード	金属材料、ろう付け、研磨、摩耗		
教科書・教材・参考書	○スタンダード歯科理工学、学建書院 ○R.W. Phillips, Skinner's Science of Dental Materials, W.B. Saunders Company ○Craig's Restorative Dental Materials, Mosby Elsevier ○歯科材料学事典、学建書院 ○歯科理工学教育用語集、医歯薬出版		
成績評価の方法・基準等	筆記試験(100%)で評価する。追試験(特別な理由がある場合のみ1回)と再試験を実施する。再試験の評価は本試験の結果を考慮する。		
受講要件(履修条件)	2/3 以上の出席を受験資格とする。		
備考(学生へのメッセージ)	予習と復習を確実に実行すること。授業中に配布するプリントを中心に授業を進めるが、理解を深めるために各自で教科書や参考書を準備すること。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	3	金属の接合① 金属の接合方法を説明する。	渡邊	講義室3A
2回	4	12	水	3	金属の接合② 金属の接合方法を説明する。	渡邊	講義室3A
3回	4	19	水	3	切削と研磨 切削と研磨の理論を説明し、研磨材の種類と補綴物の研磨法を説明する。	渡邊	講義室3A
4回	4	26	水	3	チタンとチタン合金 歯科用純チタンとチタン合金の用途、特徴、性質を説明する。	渡邊	講義室3A
5回	5	10	水	3	金合金① 鋳造用金合金の分類、性質、用途を説明するとともに、各種添加元素の効果を説明する。	阿部	講義室3A
6回	5	17	水	3	金合金② 鋳造用金合金の熱処理法と、熱処理に伴う機械的性質の変化を説明する。	阿部	講義室3A
7回	5	24	水	3	銀合金 歯科用金属材料としての銀の特徴を説明するとともに、耐硫化性の改善法を説明する。	阿部	講義室3A
8回	5	31	水	3	金銀パラジウム合金と低融銀合金 金銀パラジウム合金と低融銀合金の種類と性質、取り扱い上の注意点を説明する。	阿部	講義室3A
9回	6	7	水	3	陶材焼付用合金 陶材焼付用合金の分類、所要性質、陶材／合金間の接合機構を説明する。	阿部	講義室3A
10回	6	14	水	3	非貴金属合金① 歯科用非貴金属合金の分類、用途、組成、性質などを説明する。	阿部	講義室3A
11回	6	21	水	3	歯科用磁性材料 歯科用磁性材料の分類、用途、特徴、性質を説明する。	渡邊	講義室3A
12回	6	28	水	3	非貴金属合金② 歯科用非貴金属合金の分類、用途、組成、性質などを説明する。	阿部	講義室3A
13回	7	5	水	3	歯内療法関連材料 歯内療法関連材料の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。	渡邊	講義室3A
14回	7	12	水	3	歯科矯正用材料 歯科矯正用材料の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。	渡邊	講義室3A
15回	7	19	水	3	歯科用器械 歯科用器械の種類、所要性質、取り扱い方法を説明する。	渡邊	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 水・4~7	必修選択 必修	単位数 1						
科目番号	25024205								
科目ナンバリング・コード	DNGD22191985								
授業科目名/(英語名)	歯科理工学実験/ (Laboratory Works of Dental Materials Science)								
対象年次 3 年次	講義形態 実験形式	教室 実習室 5C・講義室 3A							
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学各論 I							
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp /歯学部 5 階生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/金曜 15:00~17:00									
担当教員(オムニバス科目等)	渡邊郁哉、阿部薫明、バラネザハド有礼左、岩沼健児(非常勤講師)								
授業の概要	<p>各種歯科材料の成分、構造、特性、硬化反応などを理解するとともに、材料の適切な選択基準や取り扱い方法を身につける。歯科診療のチームリーダーとしての歯科医師が把握していかなければならない種々の歯科材料について実習し、知識を確実に自分のものとするための実験科目である。</p> <p>歯科材料の性質をよく理解し、その特性を活かした使用が出来るようになるための技能を確実に身につける。</p>								
授業到達目標	<p>一般目標 GIO:</p> <p>歯科医療における材料についての各種実験を行い、歯科材料の基礎 科学と応用科学に関する学問を習得する</p> <p>個別行動目標 SBOs:</p> <table> <tr> <td>○各種の歯科材料の成分、硬化反応、特性などを説明できる。</td> <td>D-1, D-2</td> </tr> <tr> <td>○歯科材料の使用上ならびに保管上の注意点を説明できる。</td> <td>D-1, D-2</td> </tr> <tr> <td>○修復物作製に必要な器械・器具類を正しく取り扱うことが出来る。</td> <td>D-1, D-2</td> </tr> </table> <p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</p>			○各種の歯科材料の成分、硬化反応、特性などを説明できる。	D-1, D-2	○歯科材料の使用上ならびに保管上の注意点を説明できる。	D-1, D-2	○修復物作製に必要な器械・器具類を正しく取り扱うことが出来る。	D-1, D-2
○各種の歯科材料の成分、硬化反応、特性などを説明できる。	D-1, D-2								
○歯科材料の使用上ならびに保管上の注意点を説明できる。	D-1, D-2								
○修復物作製に必要な器械・器具類を正しく取り扱うことが出来る。	D-1, D-2								
対応するディプロマポリシー	<p>DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。</p> <p>DP11:未来の医療を切り拓くための先端的研究に興味を持ち、歯科口腔医学の発展に貢献できる能力を身につけている。</p>								
授業方法(学習指導法)	<p>クラス全体を5班に分け、週ごとに実験テーマをローテーションする。担当教員の指導のもとに、主として修復物の作製工程で用いられる種々の歯科材料の硬化過程および加熱過程における物性変化を測定し、各自でレポートを作成する。</p>								
授業内容	<p>五つの実験テーマを各担当教員が同時に開設しており、各グループは毎週それぞれのテーマの実験を行う。</p> <p>1回目: 歯科理工学実験の内容ならびに実施要領を説明し、実験に対する心構えを喚起する。さらに実験データのまとめ方、ならびにレポートの作成方法について解説する。</p> <p>2回目～6回目:グループ別実験</p> <p>テーマ①:歯科用レジンの餅状化時間と重合反応</p> <p>テーマ②:アルジネート印象材のゲル化時間、弾性印象材の弾性比較と硬化挙動</p> <p>テーマ③:歯科用石膏の硬化時間</p> <p>テーマ④:歯科用石膏系埋没材の硬化膨張、吸水膨張、歯科用石膏の水和反応の観察</p> <p>テーマ⑤:歯科用埋没材の熱膨張</p> <p>7回目: グループごとに選択した実験テーマについて、得られた実験結果や考察等をクラス全体に対して液晶プロジェクターなどを用いて発表し、質疑応答する。</p>								
キーワード	歯科材料、石膏、埋没材、印象材、レジン、ワックス								

教科書・教材・参考書	○歯科理工学実験書, 長崎大学・生体材料学分野 ○スタンダード歯科理工学, 学建書院 ○Craig's Restorative Dental Materials, Mosby Elsevier ○歯科材料学事典, 学建書院 ○歯科理工学教育用語集, 医歯薬出版
成績評価の方法・基準等	それぞれの実験テーマに対してレポートを提出させ, 採点評価する(90%)。また, グループ別発表会を別個に評価する(10%)。レポートは実験内容の理解度ならびに測定データが十分に議論されているかなどを中心に評価する。
受講要件(履修条件)	実験を実施しなければレポートを作成できないため, 必ず出席すること。正当な理由がある場合は, 再実験を認める。
備考(学生へのメッセージ)	配布する歯科理工学実験書を必ず予習しておくことが重要である。
実務経験のある教員による授業科目	岩沼 健児／現役歯科医師が歯科医院における実務経験／自身の診療経験を活かし歯科材料の適切な選択基準や取り扱いについて指導する

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	4	水	4~7	オリエンテーション 歯科理工学実験の内容ならびに実施要領を説明し、実験への心構えを喚起する。実験データのまとめ方ならびにレポートの作成方法について解説する。	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
2回	10	11	水	4~7	歯科材料の性質① 五つの実験テーマを同時開設しており、5班に分けた各班が週ごとに実験テーマを順番に回り、消化する。テーマ①:歯科用レジンの餅状化時間と重合反応	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
3回	10	18	水	4~7	歯科材料の性質② テーマ②:アルジネート印象材のゲル化時間、弾性印象材の弾性比較と硬化挙動	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
4回	10	25	水	4~7	歯科材料の性質③ テーマ③:歯科用石膏の硬化時間	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
5回	11	1	水	4~7	歯科材料の性質④ テーマ④:歯科用石膏系埋没材の硬化膨張、吸水膨張、歯科用石膏の水和反応の観察	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
6回	11	8	水	4~7	歯科材料の性質⑤ テーマ⑤:歯科用埋没材の熱膨張	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
7回	11	15	水	4~7	歯科材料の性質①~⑤ まとめ	渡邊・阿部・バラ・岩沼	実習室5C
8回	11	22	水	4~7	歯科材料の性質①~⑤ 実験結果と考察について各グループで液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションする。	渡邊・阿部・バラ・岩沼	講義室3A

年度 2023 学期 通年	曜日・校時 2Q 水 1-2, 3・4Q 水 3-7	必修選択 必修	単位数 3
科目番号 科目ナンバーリング・コード 授業科目名/(英語名)	25034324 DNGD33041988 小児歯科学/(Pediatric Dentistry)		
対象年次 4 年次	講義形態 講義・グループワーク	教室 講義室6A	
対象学生(クラス等)	科目分類	口腔生命科学各論 II	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 田上直美/t-naomi@nagasaki-u.ac.jp/小児歯科学医局/095-819-7674(内 7674)/水曜日 12:00~13:00			
担当教員(オムニ バス科目等)	田上直美, 西口美由季, 日高 聖, 西俣はるか, 佐藤恭子(臨床教授) 新谷誠康(東京歯科大学), 福本 敏(九州大学), 星野倫範(明海大学)		
授業の概要 小児の口の健康を育むための、知識、技能、態度を身につける。			
授業到達目標  一般目標 GIO: 小児の口腔の健康を維持し、健全な永久歯列を育成するために必要な知識、技能、態度を習得する。  小児と成人の相違に重点を置き、小児の特殊性を理解する。  個別行動目標 SBOs: 右欄の歯学教育コアカリキュラム参照のこと	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</p> <p><b>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</b>            ①歯の発生、発育および交換の過程と変化を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 ④歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能および構成成分を説明できる。</p> <p><b>E-4-2) 小児の歯科治療</b>            ①乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴と予防法を説明できる。 ②乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意点を説明できる。 ④歯と根未完成永久歯の歯髓炎・根尖歯周組織疾患の診察、検査と診断を説明できる。 ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髓炎・根尖歯周組織疾患の処置法の種類と適応症、手順と留意点および予後を説明できる。 ⑥小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査と診断および処置法と予後を説明できる。 ⑦咬合誘導の概念を説明できる。 ⑧保険処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。 ⑨小児患者の対応について説明できる。 ⑩小児の虐待の徵候と対応について説明できる。</p> <p><b>E-6 医師と連携するために必要な医学的知識</b>            ②代表的医科疾患・病態および歯科診療との関連について説明できる。 ③医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>		
対応するディプロマポリシー DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけています。 DP3:歯科口腔医療を行える基本的臨床能力を身につけています。 DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけています。			
授業方法(学習指導法) 講義、実習、調べ学習など			
授業内容  1. 小児歯科概論 2. 小児の心身発育 3. 頭蓋顔面頸の発育と異常 4. 歯の発育と異常 5. 歯列咬合の発育と異常 6. 咬合誘導と保険 7. 乳歯、幼若永久歯の特徴 8. 小児の齲蝕と予防 9. 小児の歯周疾患 10. 口腔管理計画 11. 小児の歯冠修復 12. 小児の歯内療法 13. 小児の歯の外傷 14. 小児の外科処置、粘膜疾患 15. 心身障害児の歯科の対応 16. 小児疾患と歯科診療  特別講義 新谷誠康(非常勤講師) 特別講義 福本 敏(非常勤講師) 特別講義 星野倫範 (非常勤講師)	<p>小児歯科の意義と目的 成長概論、身体発育の特徴、精神的発育、口腔機能の発達、評価法 頭蓋の発育、顎の発育 歯の形成、歯の形成障害、歯の異常、歯の萌出と異常 発育段階の分類、歯列および咬合の発育異常 意義と目的、診査と診断、保険、動的咬合誘導法、口腔習癖と処置 乳歯の形態と組織、幼若永久歯の形態と組織 乳歯や幼若永久歯の齲蝕、心身に及ぼす影響、口腔衛生指導、薬物応用法、裂溝填塞法 健常な歯周組織、小児歯周疾患の種類と特徴 診査と診断、診療計画、患者指導、定期健診 乳歯の歯冠修復、幼若永久歯の歯冠修復 乳歯歯髓炎の診査と診断、乳歯歯髓炎の処置法、幼若永久歯の歯内療法 診査と診断、外傷の処置法、外傷の影響、小児の虐待とその対応 抜歯、顎及び口腔軟組織の異常と疾患の処置、薬物療法 定義と口腔管理の問題点、種類と口腔所見、歯科的対応 各種全身疾患に関するグループ学習 歯質の形成障害 歯の発生 小児の摂食嚥下機能</p>		

キーワード	小児, 成長発達, 口腔機能, 齢齢, 咬合, 外傷
教科書・教材・参考書	<b>教科書: 小児歯科学(永末書店)第3版</b> 参考書: 新小児歯科学(医歯薬出版)第5版, 外傷歯の診断と治療(月星光博, クインテッセンス出版) Pediatric Dentistry 5th Ed (Pinkham, W.B.Saunders 2013), Pediatric Dentistry 3rd Ed, (Wiley-Blackwell 2017)
成績評価の方法・基準等	1. 小テストを2-3回行い, 成績に反映させる。 2. 授業時にSmart Clickerで行うポストアンケートは成績の評価としては用いない。 3. 講義終了後, 筆記試験を行い, 成績評価とする。 4. 授業への積極的な参加, レポートなども全体の20%以内を限度として, 評価対象とする。
受講要件(履修条件)	特になし。
備考(学生へのメッセージ)	前期は講義中心, 小児歯科学実習は後期に開始する。日程表に教科書の対応ページを示すので, 予習しておくこと。講義予定, 担当者は未定なので, 詳細は追って連絡します。
実務経験のある教員による授業科目	・田上 直美／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・西口 美由季／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・日高 聖／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・西俣 はるか／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・佐藤 恵子／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・新谷 誠康／東京歯科大学小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・福本 敏／九州大学, 東北大学小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義 ・星野 倫範／長崎大学病院小児歯科での歯科臨床経験／小児歯科学に関する講義

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教科書 ページ	教員名	教室
1回	5	31	水	2	オリエンテーション	1-7	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
2-3回	6	7	水	1~2	小児の心身発育1	9-38	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
4-5回	6	14	水	1~2	頭蓋、頸、顔面の発育	39-66	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
6-7回	6	21	水	1~2	小児の心身発育2	9-38	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
8-9回	6	28	水	1~2	歯の発育と異常	67-96	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
10-11回	7	5	水	1~2	歯列、咬合の発育と異常	97-124	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
12-13回	7	12	水	1~2	乳歯、幼若永久歯	125-141	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
14-15回	7	19	水	1~2	前期のまとめ		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
16-20回	10	4	水	3~7	小児の歯科的対応 特別講義 小児の齲蝕	171-182 141-154	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
21-25回	10	11	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
26-30回	10	18	水	3~7	小児の歯内療法 齲蝕の予防	241-274 197-214	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
31-35回	10	25	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
36-40回	11	1	水	3~7	小児の歯周疾患 診察・検査・治療計画 小児の歯冠修復	155-170 183-196 215-240	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
41-45回	11	8	水	3~7	障害児の歯科診療 特別講義 顎骨と口腔軟組織の疾患	379-396 293-306	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
46-50回	11	15	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
51-55回	11	22	水	3~7	児童虐待 特別講義 外科的処置	425-431 275-293	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
56-60回	11	29	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
61-65回	12	6	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
66-70回	12	13	水	3~7	模型実習		田上他	講義室6A・臨床実習室4B
71-75回	12	20	水	3~7	歯の外傷 咬合誘導	307-326 327-358	田上他	講義室6A・臨床実習室4B
76-81回	1	10	水	3~7	小児疾患と歯科診療	397-424	田上他	講義室6A・臨床実習室4B

年度 2023 学期 通年	曜日・校時 金・4~7	必修選択 必修	単位数 4
科目番号	25034325		
科目ナンバリング・コード	DNGD33121985		
授業科目名/(英語名)	有床義歯補綴学及び同実習/(Plate Denture Prosthodontics)		
対象年次 4 年次	講義形態 講義・実習形式	教室 前期 講義室 6A, 臨床実習室 4B 後期 講義室 6A, 臨床実習室 4B	
対象学生(クラス等)	科目分類 口腔生命科学各論 II		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	村田比呂司/hmurata@nagasaki-u.ac.jp/病院 8 階歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/金曜 17:00~18:00		
担当教員(オムニバ ス科目等)	講義:村田比呂司, 鳥巣哲朗, 吉田和弘, 岡崎ひとみ, 西村正宏(非常勤講師), 二川浩樹(非常勤講師) 実習:吉田和弘, 鳥巣哲朗, 岡崎ひとみ, 森 智康, 叶井里歩		
授業の概要	歯科医師として有床義歯の臨床に必要な基礎的知識と技術を習得する。そのため授業では部分床義歯補綴学および全部床義歯補綴学の理論を考究する。また実習では義歯の基本的な製作法を学び、技術を習得する。		
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:有床義歯の臨床に必要な基礎的知識と技術を習得する。	E-3-4)-(2)-①		
個別行動目標 SBOs:	E-3-4)-(2)-②, ③		
歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	E-3-4)-(2)-④, ⑤		
有床義歯の種類、目的、意義、特徴及び適応症を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑥, ⑦		
有床義歯の構成要素と支持、把持、維持の機構並びに設計原則を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧		
有床義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明でき、歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑨, ⑩		
調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスクター、チェックバイト法を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑪, ⑫		
有床義歯の咬合様式とその意義を説明でき、人工歯の選択を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑬, ⑭		
有床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法および製作過程を説明できる。			
有床義歯の装着、調整、メインテナンス及び修理を説明できる。			
対応するディプロマポリシー			
DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。			
授業方法(学習指導法)			
講義は教科書の内容を中心に、パソコンと液晶プロジェクターを用いて行い、必要に応じてプリントを配布する。実習ではステップごとにその概説があり、主要な項目は教員がデモ示説する。非常勤講師による特別講義も計画している。			
授業内容			
全部床義歯補綴学ついで部分床義歯補綴学の講義を行う。同時に義歯製作の実習も進行する。			
1回目 P-1:FD 概形印象	16回目 P-11:咬合調整、研磨		
2回目 P-2:FD 精密印象、咬合床作製、咬合採得、咬合器付着	17回目 L-P1~4:総論1~4		
3回目 P-3:FD 人工歯排列	18回目 L-P5~8:総論5~8		
4回目 L-F1~4:総論1~4	19回目 P-12:概形印象 診断用模型調整		
5回目 L-F5~8:治療1~4	20回目 P-13:個人トレー、補綴的前処置		
6回目 P-4:FD 人工歯排列	21回目 P-14:印象 模型の調整、サベイング		
7回目 P-5:歯肉形成、下顎義歯埋没	22回目 L-P9~12:総論9~10、治療1~2		
特別講義(補綴領域からの顎骨再生医療の基礎と未来)	23回目 P-15:ブロックアウト、リリーフ		
8回目 P-6:上顎義歯埋没、下顎義歯重合	24回目 P-16:耐火模型作製		
9回目 L-F9~12:治療5~8	25回目 L-P13~16:治療3~6		
10回目 L-F13~16:治療9~12	26回目 L-P17~18:治療7~8、P-17:ワックスアップ		
11回目 L-F17~18:治療13~1	27回目 P-18:埋没、咬合床作製		
特別講義(バイオフィルム研究)	28回目 P-19:鋳造、研磨、咬合採得		
12回目 P-7:上顎義歯重合、割り出し	29回目 L-FP1~4:種々の義歯1~4		
13回目 P-8:リマウント、咬合調整、研磨	30回目 P-20:人工歯排列、作品提出、器具チェック		
14回目 P-9:咬合調整、研磨			
15回目 P-10:作品提出、器具チェック			

[注:講義 … L-F:全部床義歯, L-P:部分床義歯, L-FP:全部床義歯,部分床義歯共通, P:実習]  
 (実習・講義の進行等により授業の順番等が変更になる可能性がある。その場合は事前に連絡する。)

キーワード	部分床義歯補綴学, 全部床義歯補綴学, 咀嚼機能, 咬合
教科書・教材・参考書	教科書: 無歯顎補綴治療学 第4版(市川哲雄他 編;医歯薬出版), 歯学生のパーシャルデンチャー 第6版(赤川安正他 編;医歯薬出版) 参考書: コンプリートデンチャー・テクニック 第6版(細井紀雄他 編;医歯薬出版), パーシャルデンチャー・テクニック 第6版(大久保力廣他 編;医歯薬出版)
成績評価の方法・基準等	定期試験(前期1回, 後期1回)と実習の評価をあわせて, 総合的に評価する。それぞれの評価比率は, 定期試験 80%(前期, 後期それぞれ 40%), 実習 20%とする。また授業への貢献度も評価の対象とする。ただし前期試験, 後期試験, 実習の評価のうち, 4割未満がひとつでもあると, 総評価が6割以上でも, 再試験の対象となる。再試験は前期と後期の全範囲とする。
受講要件(履修条件)	前期, 後期, それぞれ総授業時間の 3/4 以上の出席が求められる。
備考(学生へのメッセージ)	教科書の内容は基本となるので, 最低限理解する必要がある。教科書は必ず所持すること。 実習室を使用後は整理整頓し, きれいに清掃すること。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村田 比呂司／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・鳥巣 哲朗／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・吉田 和弘／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・岡崎 ひとみ／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・森 智康／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・叶井 里歩／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・二川 浩樹／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・西村 正宏／大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> </ul>

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	7	金	4~7	[P-1:FD概形印象]実習説明, 概形印象採得, 診断用模型作製, 作業用模型(ゴム枠)作製	吉田・島田・鳥巣・岡崎・森・叶井・黒木	臨床実習室4B
2回	4	14	金	4~7	[P-2:FD精密印象, 咬合床作製, 咬合採得, 咬合器付着] 個人トレーニング(印象採得は説明のみ), 咬合床作製, 咬合採得, 咬合器付着	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
3回	4	21	金	4~7	[P-3:FD人工歯排列]人工歯排列(上顎前歯部, 下顎前歯部)	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
4回	4	28	金	4~7	[L-F1:総論1] 全部床義歯, 無歯顎の病因と病態 [L-F2:総論2] 全部床義歯, 無歯顎の病因と病態 [L-F3:総論3] 加齢に伴う変化, 補綴装置としての全部床義歯 [L-F4:総論4] 全部床義歯装着者にみられる主要症候等	村田 村田 鳥巣 鳥巣	講義室6A
5回	5	12	金	4~7	[L-F5:治療1] 医療面接とインフォームドコンセント [L-F6:治療2] 診察, 検査, 診断 [L-F7:治療3] 治療計画の立案, 前処置 [L-F8:治療4] 印象採得, (フレンジ)	吉田 吉田 鳥巣 鳥巣	講義室6A
6回	5	19	金	4~7	[P-4:FD人工歯排列]人工歯排列(下顎臼歛部, 上顎臼歛部)	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
7回	5	26	金	4~7	[P-5:歯肉形成, 下顎義歯埋没]人工歯排列(上顎臼歛部), 下顎歯肉形成, 下部埋没; 金属フランク使用(加熱重合レジン) (特別講義) 補綴領域からの顎骨再生医療の基礎と未来	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井 西村	臨床実習室4B
8回	6	2	金	4~7	[P-6:上顎義歯埋没, 下顎義歯重合]上顎歯肉形成, 上顎スプルーリング, 上部埋没; ゴムフランク使用(流し込み重合レジン), 下顎流蛹, 分離剤の塗布, 下顎加熱重合, 徐冷	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
9回	6	9	金	4~7	[L-F9:治療5] 顎間関係の記録 [L-F10:治療6] 顎間関係の記録2 [L-F11:治療7] 下顎運動の記録と咬合器装着 [L-F12:治療8] 咬合器	村田 村田 鳥巣 鳥巣	講義室6A
10回	6	16	金	4~7	[L-F13:治療9] 人工歯, 人工歯排列1 [L-F14:治療10] 人工歯排列2, フレンジ [L-F15:治療11] 歯肉形成, ろう義歯, 埋没 [L-F16:治療12] 重合, 咬合器再装着	鳥巣 鳥巣 岡崎 岡崎	講義室6A
11回	6	23	金	4~7	[L-F17:治療13] 咬合調整等, 研磨 [L-F18:治療14] 義歯の装着, 患者指導, 義歯装着後の経過観察等 (特別講義) バイオフィルム研究	岡崎 村田 二川	講義室6A
12回	6	30	金	4~7	[P-7:上顎義歯重合, 割り出し]上顎流蛹, リリーフ, ポストダム, 分離材の塗布, 流し込みレジン重合, 上下顎義歯割り出し	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
13回	7	7	金	4~7	[P-8:リマウント, 咬合調整, 研磨]リマウント, 選択削合(中心咬合位・偏心位), 自動削合, 研磨	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B
14回	7	14	金	4~7	[P-9:咬合調整, 研磨]自動削合, 研磨	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	講義室6A 臨床実習室4B
15回	7	21	金	4~7	[P-10:作品提出, 器具チェック]自動削合, 研磨, 作品提出, 器具チェック	吉田・鳥巣・岡崎・森・叶井	臨床実習室4B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 金・1~3	必修選択 必修	単位数 1.5
授業コード 授業科目/(英語名)	25034320 歯科麻酔学及び同実習 (Dental Anesthesiology)		
対象年次 4年次	講義形態 講義・実習	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)		科目分類 口腔生命科学各論 II	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 鮎瀬卓郎/ayuse@nagasaki-u.ac.jp/歯科麻酔教授室/819-7713/月～金曜日 午後5時～6時			
担当教員(オムニバス科目等)	鮎瀬卓郎、倉田真治、境徹也、三串伸哉、岡安一郎、山下和範、関野元裕		
授業の概要	<p>安心・安全・快適な歯科治療を全ての患者に提供するために、3年次までに習得した基礎医学を整理して理解し、他職種で共有できる医学知識を体系的に応用しようとする態度および問題解決志向に対する理解を深める。</p> <p>正確に全身状態を観察・評価するための、知識、態度、技術を身につける。歯科治療に欠かせない局所麻酔について十分な知識をもち、歯科治療時の全身的偶発症の対処法、予防法を身につける。</p>		
一般目標 GIO:	<p>安心・安全・快適な歯科治療を全ての患者に提供するための、基礎医学の重要性を理解し、他職種で共有できる共通言語を体系的に応用できる能力を身につける。</p>		
個別行動目標 SBOs:	<p>平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム C-3-4)-(4) 、 C-5-4)</p> <p>1. 身体を構成する組織と器官を説明できる。 呼吸・循環生理と病因と呼吸障害と循環障害の病態を説明できる。</p> <p>2. 全身評価に必要な臨床検査法を説明できる。</p> <p>3. 全身評価を行うための診察の基本を説明できる。</p> <p>4. 歯科医療に必要な麻酔管理法を説明できる。</p> <p>5. 救急蘇生法について説明できる。</p> <p>6. 疼痛の発生機序および鎮痛法について説明できる。</p> <p>7. 局所麻酔の方法について説明できる。</p> <p>8. 高齢者・障害者の歯科治療について説明できる。</p> <p>9. 精神・心身医学的疾患患者の歯科治療について説明できる。</p> <p>E-1-1) 、 E-1-3) 、 E-1-4)-(1)～(4) E-1-6) E-2-1) E-2-4) E-5-1)～3) E-5-3) F-2-2) F-3-1) 、 F-3-7)</p>		
対応するディプロマポリシー	<p>DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。</p> <p>DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。</p>		
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字)	<p>概要 全身麻醉、局所麻酔、鎮静法、心肺蘇生法、疼痛治療を通して安全で痛くない歯科治療の原則と救急時の対処法を学ぶ。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 回目 歯科麻酔学概論</li> <li>2 回目 呼吸・循環の生理</li> <li>3 回目 代謝・神経の生理</li> <li>4 回目 疼痛の発生機序と鎮痛方法を学ぶ</li> <li>5 回目 麻酔管理に用いる装置・器具等について学ぶ</li> <li>6 回目 麻酔管理に用いる麻酔薬の薬理学的作用を学ぶ</li> <li>7 回目 高度な全身管理の方法について学ぶ</li> <li>8 回目 麻酔中および周術期管理に必要なモニタリングの考え方・方法を学ぶ</li> <li>9 回目 麻酔中、周術期の代謝管理と疼痛管理について学ぶ</li> <li>10 回目 局所麻酔薬および局所麻酔法について学ぶ</li> <li>11 回目 疼痛の発生機序と治療法を学ぶ</li> <li>12 回目 歯科麻酔学の知識・技術を歯科医療の現場でどう活用するか</li> <li>13 回目 鎮静法がなぜ有効かを学ぶ</li> <li>14 回目 歯科治療時に起こる合併症について学ぶ</li> <li>15 回目 歯科治療時の心肺蘇生法を学ぶ</li> <li>16 回目 定期考查</li> </ol>		

キーワード	全身管理 局所麻酔 全身偶発症の予防
教科書・教材・参考書	歯科麻酔学（第7版 医歯薬出版）
成績評価の方法・基準等	<p>基礎医学の内容理解度確認小テスト(20点)          予習復習レポート課題(5点×2回=10点)          授業への取組み(10点)          定期試験(60点)</p> <p>4項目の成績評価を合計して100点とし、60点以上を合格とする。</p>
受講要件(履修条件)	講義への出席が2/3以上、かつ2回までの遅刻・早退を満たすものが受講できる。
備考(事前・事後学習の内容、家庭学習方法について)	事前・事後学習の内容：生理学、薬理学の復習をしておくこと。必ず翌週の講義内容について予習をすること。講義では、質疑応答を通して、講義を進めていく。毎回の予習復習課題として動画視聴・文献資料などを読んだ後にLACS掲示板でのコメントを求める。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮎瀬 卓郎／大学病院における診療経験(全身管理・麻酔管理)／大学病院における診療経験を元に全身管理・麻酔管理に関する講義を行う。</li> <li>・倉田 真治／大学病院における診療経験(全身管理・麻酔管理)／大学病院における診療経験を元に全身管理・麻酔管理に関する講義を行う。</li> <li>・岡安 一郎／大学病院における診療経験(全身管理・麻酔管理)／大学病院における診療経験を元に全身管理・麻酔管理に関する講義を行う。</li> <li>・山下 和範／大学病院における診療経験(全身管理・救急医療)／大学病院における診療経験を元に全身管理・救急医療に関する講義を行う。</li> <li>・境 徹也／現役歯科医師が総合病院における実務経験／自院での診療経験を元に全身管理・麻酔管理に関する講義を行う。</li> <li>・関野 元裕／大学病院における診療経験(全身管理・集中治療管理)／大学病院における診療経験を元に全身管理・集中治療管理に関する講義を行う。</li> </ul>

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	7	金	1~3	歯科麻酔学概論(歯科麻酔学の歴史、学ぶ意義) 歯科麻酔学のが歴史を通して歯科医学の中の位置づけを考える (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎、倉田眞治	講義室6A
2回	4	14	金	1~3	呼吸、循環の生理 麻酔管理、全身評価に必要な呼吸と循環の臨床生理学を学ぶ (教材)歯科麻酔学、DVDなどを用いた呼吸音、心音の体感	倉田眞治	講義室6A
3回	4	21	金	1~3	代謝・神経の生理 麻酔管理、全身評価に必要な代謝・神経の臨床生理学を学ぶ (教材)歯科麻酔学、プリント	倉田眞治	講義室6A
4回	4	28	金	1~3	疼痛の発生機序と鎮痛方法を学ぶ 歯科における急性痛および難治性疼痛の発症機序と治療法を学ぶ (教材)歯科麻酔学	岡安一郎(1, 2) 境 徹也(3)	講義室6A
5回	5	12	金	1~3	麻酔管理に用いる装置・器具等について学ぶ 全身麻酔および静脈麻酔に用いる装置・器具等について学ぶ (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎	講義室6A
6回	5	19	金	1~3	麻酔管理に用いる麻酔薬の薬理学的作用を学ぶ 全身麻酔、静脈麻酔等に使用する麻酔薬の薬理作用を学ぶ (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎	講義室6A
7回	5	26	金	1~3	高度な全身管理:救急部での呼吸・循環管理について学ぶ 歯科治療と領域を共有する歯科麻酔管理の特殊性を学ぶ(口腔咽頭部の解剖を学ぶ) (教材)歯科麻酔学	山下和範(1) 鮎瀬卓郎(2) 関野元裕(3)	講義室6A
8回	6	2	金	1~3	麻酔中および周術期管理に必要なモニタリングの考え方・方法を学ぶ バイタルサインの評価およびモニタリング機器について学ぶ (教材)歯科麻酔学、実際の生体モニターの取り扱いについて学ぶ	鮎瀬卓郎	講義室6A
9回	6	9	金	1~3	麻酔中、周術期の代謝管理(輸液)と疼痛管理について学ぶ 創傷治癒まで考慮した全身管理方法について学ぶ (教材)歯科麻酔学	倉田眞治	講義室6A
10回	6	16	金	1~3	局所麻酔薬および局所麻酔法について学ぶ 局所麻酔の作用機序、麻酔薬の薬理作用と解剖、血管収縮薬について学ぶ (教材)歯科麻酔学、注射器などを用いて実際の局所麻酔法を学ぶ	倉田眞治(1, 2) 鮎瀬卓郎(3)	講義室6A
11回	6	23	金	1~3	疼痛の発生機序と鎮痛方法を学ぶ(症例提示、応用編 グループ討議) 実際の症例を通して、鎮静と鎮痛の違いなどを学ぶ(TBL予定) (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎	講義室6A
12回	6	30	金	1~3	歯科麻酔学の知識・技術を現場でどう活用するか(開業医の立場から):1校時目 高度な全身管理:ICUでの呼吸・循環管理について学ぶ:2校時目 (教材)プリント	三串伸哉(1) 倉田眞治(2-3)	講義室6A
13回	7	7	金	1~3	鎮静法がなぜ有効かを学ぶ(吸入鎮静法と静脈内鎮静法について学ぶ) 鎮静法に用いる装置、薬剤、それぞれの鎮静法の利点、欠点 (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎	講義室6A
14回	7	14	金	1~3	歯科治療中に起こる合併症について学ぶ 歯科治療中に起こりうる全身的、局所的合併症について学ぶ (教材)歯科麻酔学	鮎瀬卓郎	講義室6A
15回	7	21	金	1~3	歯科治療時の心肺蘇生(歯科医師に必要な基本的救急蘇生:BLS)を学ぶ 歯科治療時に起こる全身的偶発症とその対処法を学ぶ (教材)歯科麻酔学、マネキンを用いて実際的心肺蘇生を学ぶ	倉田眞治	講義室6A
	7	28	金		歯科麻酔学 定期試験	鮎瀬卓郎	

年度 2023 学期 1Q	曜日・校時 水 1~2	必修選択 必修	単位数 1			
科目番号	25034333					
科目ナンバリング・コード	DNGD33531992					
授業科目名/(英語名)	災害口腔医学/(Disaster Oral Medicine)					
対象年次 4 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A				
対象学生(クラス等)	科目分類 統合科目					
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/隨時 ※来室前に確認のこと						
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝, 川下由美子(口腔保健学), 山添淳一(非常勤講師・九州大学), 山下和範(非常勤講師・災害医療支援室), 安藝敬生(非常勤講師・災害医療支援室), 中久木康一(非常勤講師・東京医科歯科大学), 吉田浩二(非常勤講師・原子力災害対策戦略本部), 太田秀人(非常勤講師・福岡県歯科医師会), 白石千秋(口腔管理センター・災害医療支援室)					
<b>授業の概要</b> 大規模災害・事故が多発している現在、歯科医師として災害現場での特殊な対応・行動を認識し、さらには災害時のチーム医療としての実働や、歯科医師もしくは人として行うことの出来る後方支援を理解する。						
<b>授業到達目標</b> <b>一般目標 GIO:</b> 災害時に歯科医師として適切に行動するために必要な知識、技能及び態度を修得する。 <b>個別行動目標 SBOs:</b> 1. 災害時の医療システムを説明する。 2. 災害対策の目標を説明する。 3. 被災者の気持ちに寄り添える。 4. 災害時の地域保健医療体制と連携した歯科の役割を説明する。 5. 災害時と平常時の歯科治療ニーズの違いを説明する。 6. 災害時の口腔ケアの特徴と方法について説明する。 7. 災害時を想定したシミュレーションに参加する。						
【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 A-5-1) 患者中心のチーム医療 A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度						
<b>対応するディプロマポリシー</b> DP8 患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身に附けている。 DP9 多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。 DP10 離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。						
<b>授業方法(学習指導法)</b> 輪講形式。スライドおよび配付資料を用いた講義を行う。実習はグループ学習および発表討論を行う。						
<b>授業内容</b> 第 1 回 災害医療(概説) 第 2 回 東日本大震災における長崎大学病院の役割 第 3 回 災害拠点病院の歯科の役割 1 第 4 回 災害拠点病院の歯科の役割 2 第 5 回 長崎大学の災害医療への取り組み 1 第 6 回 長崎大学の災害医療への取り組み 2 第 7 回 災害時の薬剤師の役割 第 8 回 災害時の法律 第 9 回 灾害時の支援論 第 10 回 灾害時のボランティア論 第 11 回 原子力災害医療 第 12 回 灾害時におけるチーム医療 1 第 13 回 灾害時におけるチーム医療 2 第 14 回 実習 DIG(Disaster Imagination Game) 災害図上訓練 第 15 回 急性期病院における歯科の災害医療への関わり(仮題)						
キーワード	災害対策基本法・医療救護班・災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team<DMAT>)・災害拠点病院・トリアージ・災害医療コーディネーター					

教科書・教材・参考書	災害歯科医学(榎木恵一・中久木康一 編 医歯薬出版)
成績評価の方法・基準等	講義への出席、講義内に行われる小テスト、実習への参加態度を総合して評価する。
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合、成績評価の対象とならない。
備考(学生へのメッセージ)	歯科保健医療体制における歯科医師の役割の理解、災害関連死のなかで大きな割合を占める肺炎を早期から予防するための歯科医師・歯科衛生士の専門性の確立、平時からの歯科医師会さらには多職種連携強化を推進することの重要性を学んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角 忠輝／大学病院における診療行為／自らの診療経験を元に、災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・川下由美子／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（予防歯科）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・山添淳一／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（高齢者歯科・全身管理歯科）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・山下和範／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（災害医療支援室）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・安藝敬生／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（災害医療支援室）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・中久木康一／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（救急災害医学）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・吉田浩二／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（災害医療支援室）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> <li>・太田秀人／診療所における診療行為／自らの診療経験を元に、災害医療の実際について講義・演習形式の授業を行っている</li> <li>・白石千秋／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（災害医療支援室）を元に災害医療の実際について講義形式の授業を行っている</li> </ul>

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	5	水	1	災害医療(概説)	角	講義室6A
2回	4	5	水	2	東日本大震災における長崎大学病院の役割	川下	講義室6A
3回	4	12	水	1	災害拠点病院の歯科の役割	山添	講義室6A
4回	4	12	水	2	災害拠点病院の歯科の役割	山添	講義室6A
5回	4	19	水	1	長崎大学の災害医療への取り組み	山下	講義室6A
6回	4	19	水	2	長崎大学の災害医療への取り組み	山下	講義室6A
7回	4	26	水	1	災害時の薬剤師の役割(案)	安藝	講義室6A
8回	5	10	水	1	災害時の法律	中久木	講義室6A
9回	5	10	水	2	災害時の支援論	中久木	講義室6A
10回	5	10	水	3	災害時のボランティア論	中久木	講義室6A
11回	5	17	水	1	原子力災害医療	吉田	講義室6A
12回	5	24	水	1	災害時におけるチーム医療	太田	講義室6A
13回	5	24	水	2	災害時におけるチーム医療	太田	講義室6A
14回	5	24	水	3	実習 DIG (Disaster Imagination Game) 災害図上訓練	太田	講義室6A
15回	5	31	水	1	急性期病院における歯科の災害医療への関わり(仮題)	白石	講義室6A

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 木・I (一部 月・V)	必修選択 必修	単位数 2
科目番号	25084501		
科目ナンバリング・コード	DNGD33171992		
授業科目名/(英語名)	内科学総論/ (Internal Medicine)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中尾一彦/kazuhiko@nagasaki-u.ac.jp/病院消化器内科教授室/095-819-7482(内 7482)/10:00~16:00 (実務担当:松島加代子/kmatsu@nagasaki-u.ac.jp/病院消化器内科医局/095-819-7481(内 7481))			
担当教員(オムニバス科目等)	尾長谷 靖、石本 裕士、高園 貴弘、行徳 宏、阿部 伸一、三馬 聰、小澤 栄介、松島 加代子、橋口 慶一、福島真典、田中健之、柿内 聰志		
授業の概要  歯科医・薬剤師として必要な内科学総論(呼吸器、消化器、腎臓分野、感染症学)			
授業到達目標  一般目標 GIO: 歯科医・薬剤師として最低限必要な内科疾患(呼吸器疾患、消化器疾患、腎臓疾患)に関する知識を習得する。 個別行動目標 SBOs: 内科学および下記の各分野の病態生理・疾患を理解し概説できる。 1 呼吸器、2 消化器、3 腎・泌尿器 【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
対応するディプロマポリシー DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。			
授業方法(学習指導法) プリント、スライドを使った講義が主体である。			
授業内容  1 回目 呼吸器内科総論・アレルギー性疾患 2 回目 肺癌 3 回目 ウィルス性肝疾患 4 回目 肝硬変と肝癌 5 回目 腎臓内科総論、腎臓の解剖と機能 6 回目 腎不全 7 回目 腎炎、ネフローゼ症候群、尿細管間質性腎炎 8 回目 上部消化管疾患 9 回目 下部消化管疾患 10 回目 胆膵疾患 11 回目 呼吸器感染症 12 回目 間質性肺疾患 13 回目 感染症の予防方法としての標準予防策、経路別予防策について 14 回目 感染症の現状、病態の基本、診断、治療方法について			
キーワード			
教科書・教材・参考書	(参考書として記載しますが、基本的には不要です) 教科書 わかりやすい内科学(第 5 版) 井村裕夫編集 (文光堂) 参考書 内科学書(改訂第 9 版):全 6 冊+別巻(中山書店)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験にて評価する。出題範囲は基本的に講義内容あるいは配布資料の範囲。 再試は1回行う。		
受講要件(履修条件)	なし		

備考(学生へのメッセージ)	
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾長谷 靖、石本 裕士、高園 貴弘、行徳 宏／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（呼吸器疾患）について教授する。</li> <li>・小澤 栄介、三馬 聰、松島 加代子、橋口 慶一、福島 真典／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（消化器疾患）について教授する。</li> <li>・阿部伸一／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（腎臓疾患）について教授する。</li> <li>・田中 健之、柿内 聰志／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な内科疾患（感染症学）について教授する。</li> </ul>

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	13	木	I	呼吸器病学 呼吸器内科総論・アレルギー性疾患	尾長谷 靖	講義室3A
2回	4	20	木	I	呼吸器病学 肺癌	行徳 宏	講義室3A
3回	4	27	木	I	消化器病学 ウイルス性肝疾患	三馬 聰	講義室3A
4回	5	11	木	I	消化器病学 肝硬変と肝癌	福島 真典	講義室3A
5回	5	18	木	I	腎臓病学 腎臓内科総論、腎臓の解剖と機能	阿部 伸一	講義室3A
6回	5	25	木	I	腎臓病学 腎不全	阿部 伸一	講義室3A
7回	6	1	木	I	腎臓病学 腎炎、ネフローゼ症候群、尿細管間質性腎炎	阿部 伸一	講義室3A
8回	6	8	木	I	消化器病学 上部消化管疾患	松島 加代子	講義室3A
9回	6	15	木	I	消化器病学 下部消化管疾患	橋口 慶一	講義室3A
10回	6	22	木	I	消化器病学 胆膵疾患	小澤 栄介	講義室3A
11回	6	29	木	I	呼吸器病学 呼吸器感染症	高園 貴弘	講義室3A
12回	7	3	月	V	感染症学 感染症の予防方法としての標準予防策、経路別予防策について <b>※授業時間 16:30～18:00</b>	柿内 聰志	講義室3A
13回	7	6	木	I	呼吸器病学 間質性肺疾患	石本 裕士	講義室3A
14回	7	13	木	I	感染症学 感染症の現状、病態の基本、診断、治療方法について	田中 健之	講義室3A
	7	20	木	I	予備日		講義室3A

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 金・I	必修選択 必修	単位数 0.5			
科目番号	25084502					
科目ナンバリング・コード	DNGD33181992					
授業科目名/(英語名)	外科学総論/(Surgery)					
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A				
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学				
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 野中 隆/tnonaka@nagasaki-u.ac.jp/病院 11 階腫瘍外科医局/095-819-7304(内 7304)/17:00~18:00 またはメールにて						
担当教員(オムニバス科目等)	橋本泰匡、野中 隆、富永哲郎、松本桂太郎、町野隆介、荒井淳一、大坪竜太、小畠智裕、山根裕介					
授業の概要 外科学総論としての外科診断学、腫瘍学、創傷治癒、免疫学、感染学、栄養学の系統的講義を通じて、外科患者の診断、治療に対する理解を深める。						
授業到達目標 一般目標 GIO: 外科の歴史、損傷と創傷治療、炎症と感染、腫瘍、外科栄養、免疫、体液変動、老人外科、小児外科の各分野について、基本的知識を習得し、理解する。 個別行動目標 SBOs: 1. 外科学の概念を説明できる。 2. 外科治療の中心である手術などの侵襲に伴う病態への対応を説明できる。 3. 現代外科学の主な対象である外傷・腫瘍の外科および先端にある臓器移植、また、老人外科、小児外科に関する概要を説明できる。 【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 E-6: 医師と連携するために必要な医学的知識						
対応するディプロマポリシー DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。						
授業方法(学習指導法) PC プレゼンテーションによる講義が中心となる。また理解を深めるため、必要に応じてプリントの配布も行うこともある。						
授業内容  1回目 外科の歴史と外科医の立場:(1)外科の歴史 (2)外科医と法 (3)専門医制度 (4)病歴 (5)理学的所見 2回目 腫瘍:(1)良性腫瘍と悪性腫瘍 (2)発癌メカニズム (3)悪性腫瘍の病態 (4)臨床診断と特殊検査 (5)悪性腫瘍の治療 (6)悪性腫瘍の疫学 3回目 外科と栄養:(1)外科における栄養管理の意義 (2)栄養アセスメント (3)経腸栄養 (4)経静脈栄養 血液凝固異常と輸血:血液製剤の種類と特徴 外科的侵襲と生体反応:(1)免疫系の反応 (2)血液凝固系の反応 (3)術後の生体反応と回復過程 4回目 臓器移植・人工臓器:呼吸器系の移植と人工臓器 5回目 炎症と感染:(1)炎症の概念と病態生理 (2)臨床症状と所見 (3)外科的感染症の起因菌 (4)全身感染症と敗血症 (5)外科的特殊感染症 (6)治療 6回目 損傷と創傷治療:(1)機械的損傷 (2)非機械的損傷 (3)創傷の治癒過程 (4)創傷治癒を左右する因子 (5)創傷管理の実際 7回目 体液と変動の輸液:(1)正常体液分布 (2)侵襲と体液変動 (3)水・電解質異常 (4)酸塩基平衡障害 (5)輸液療法 8回目 外科と免疫:(1)免疫機構と調節 (2)腫瘍免疫 (3)移植免疫 (4)免疫不全と日和見感染 9回目 老人外科・小児外科の特徴:(1)小児外科の特徴 (2)新生児・未熟児の特徴 (3)術前・術後の栄養管理 (4)老人外科の特徴 (5)手術適応 (6)周術期管理の特徴						
キーワード	外科、腫瘍学、免疫学、炎症、感染、栄養、創傷治癒					
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準外科学(医学書院) 必要に応じてプリントを配布することあり。					
成績評価の方法・基準等	筆記試験による評価を行う。再試は1回行う。 出席率も考慮する。					
受講要件(履修条件)	なし					
備考(学生へのメッセージ)	臨床診療において役に立つ外科的な基礎知識を習得することを目的とします。					

実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・橋本 泰匡（第1回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・野中 隆（第2回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・富永 哲郎（第3回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・松本 桂太郎（第4回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・町野 隆介（第5回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・荒井 淳一（第6回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・大坪 竜太（第7回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・小畠 智裕（第8回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li><li>・山根 裕介（第9回目）／長崎大学病院における診療業務／外科学総論としての外科に関する基本的知識を教授する。</li></ul>
------------------	--

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	7	金	1	腫瘍 (1)良性腫瘍と悪性腫瘍 (2)発癌メカニズム (3)悪性腫瘍の病態 (4)臨床診断と特殊検査 (5)悪性腫瘍の治療 (6)悪性腫瘍の疫学	野中 隆	講義室3A
2回	4	14	金	1	外科の歴史と外科医の立場 問診と外科的診察法 (1)外科の歴史 (2)外科医と法 (3)専門医制度 (4)病歴 (5)理学的所見	橋本泰匡	講義室3A
3回	4	21	金	1	外科と栄養 (1)外科における栄養管理の意義 (2)栄養アセスメント (3)経腸栄養 (4)経静脈栄養 血液凝固異常と輸血 (1)血液製剤の種類と特徴	富永哲郎	講義室3A
4回	4	28	金	1	臓器移植・人工臓器 呼吸器系の移植と人工臓器	松本桂太郎	講義室3A
5回	5	12	金	1	炎症と感染 (1)炎症の概念と病態生理 (2)臨床症状と所見 (3)外科的感染症の起因菌 (4)全身感染症と敗血症 (5)外科的特殊感染症 (6)治療 外科的侵襲と生体反応 (1)免疫系の反応 (2)血液凝固系の反応 (3)術後の生体反応と回復過程	町野隆介	講義室3A
6回	5	19	金	1	損傷と創傷治療 (1)機械的損傷 (2)非機械的損傷 (3)創傷の治癒過程 (4)創傷治癒を左右する因子 (5)創傷管理の実際	荒井淳一	講義室3A
7回	5	26	金	1	体液の変動と輸液 (1)正常体液分布 (2)侵襲と体液変動 (3)水・電解質異常 (4)酸塩基平衡障害 (5)輸液療法	大坪竜太	講義室3A
8回	6	2	金	1	外科と免疫 (1)免疫機構と調節 (2)腫瘍免疫 (3)移植免疫 (4)免疫不全と日和見感染	小畠智裕	講義室3A
9回	6	9	金	1	老人外科・小児外科の特徴 (1)小児外科の特徴 (2)新生児・未熟児の特徴 (3)術前・術後の栄養管理 (4)老人外科の特徴 (5)手術適応 (6)周術期管理の特徴	山根裕介	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 日程表のとおり	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084511		
科目ナンバリング・コード	DNGD33191992		
授業科目名/(英語名)	内科学各論(内科学 1)/(Internal medicine, Spescial Lecture)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	川上 純/atsushik@nagasaki-u.ac.jp/病院 9 階第一内科教授室/095-819-7260(内 7260)/金曜 午後		
担当教員(オムニバス科目等)	岩本直樹、堀江一郎、宮崎禎一郎、辻野 彰、鎌田昭江、古賀智裕		
授業の概要	内科学の基礎知識を理解することを目標とする。特に、以下のテーマに基づいて、歯科口腔症状所見との関連にも重点をおいて講義する。内科学について、代表的な疾患の理解や歯科口腔症状所見との関連に重点をおいて講義する。		
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	内科学の基礎知識を理解する。将来、実際の臨床の場で役立つような知識・判断力を身に付けさせる。		
個別行動目標 SBOs:	受講生がリウマチ性疾患、神経疾患、内分泌代謝疾患の概念を理解し、その病態を説明できるようになる。【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	講義形式にて行う。プリントの配布、スライド及び液晶プロジェクターを使用して講義する。		
授業内容	<p>1 回目 リウマチ性疾患の内科的基礎知識を講義し口腔内病変を理解させる-1。</p> <p>2 回目 内分泌疾患の基礎と臨床について、バセドウ病などの内分泌疾患の内科的知識を講義して、歯科領域の注意点などを理解させる。</p> <p>3 回目 臨床神経学概説1:歯科領域を中心に、脳神経の解剖・生理学をどうして、神経内科学の基礎知識を講義する。</p> <p>4 回目 糖尿病の成因・治療について、糖尿病の内科的知識を講義して歯科領域の注意点などを理解させる。</p> <p>5 回目 臨床神経学概説2:脳血管障害で使用される抗凝固剤、抗血小板剤の知識を深く理解させる。</p> <p>6 回目 リウマチ性疾患の内科的基礎知識を講義し口腔内病変を理解させる-2。</p>		
キーワード	リウマチ性疾患、臨床神経学、糖尿病、内分泌疾患		
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	定期試験時に筆記試験(講義担当者が各々試験問題を作成)を実施する。出席率、追試験、再試験は学部規則の沿って厳格に行う。		
受講要件(履修条件)	特になし		
備考(学生へのメッセージ)	将来、実際の臨床の場で役立つような内科学の基礎知識が身につくことを心がけて講義します。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩本 直樹 (第 1 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・堀江 一郎 (第 2 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・宮崎 禎一郎 (第 3 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・鎌田 昭江 (第 4 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・辻野 彰 (第 5 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・古賀 智裕 (第 6 回目) /長崎大学病院における診療業務/内科疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> </ul>		

**日程表**

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	月	I	リウマチ性疾患 リウマチ性疾患-1	岩本直樹	講義室3A
2回	10	16	月	I	内分泌疾患 主な内分泌疾患の診断・治療について	堀江一郎	講義室3A
3回	10	23	月	I	神経疾患 臨床神経学概説1:歯科領域の神経解剖	宮崎禎一郎	講義室3A
4回	10	30	月	I	糖尿病 糖尿病の成因・治療について	鎌田 昭江	講義室3A
5回	11	10	金	V	神経疾患 臨床神経学概説2:脳血管障害について	辻野 彰	講義室3A
6回	11	29	水	IV	リウマチ性疾患 リウマチ性疾患-2	古賀智裕	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 月 I 、月 IV	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084512		
科目ナンバリング・コード	DNGD33191992		
授業科目名/(英語名)	内科学各論(内科学 3)/(Internal medicine,Cardiovascular disease)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	河野浩章/hkawano@nagasaki-u.ac.jp/循環器内科医局/095-819-7288(内 7288)/9:00~17:00		
担当教員(オムニバス科目等)	佐藤大輔、米倉剛、荒川修司、河野浩章、池田聰司		
授業の概要			
歯学部学生にあっては、循環器疾患を理解し、循環器疾患を有する患者に歯科治療を行うとどのような影響があるのか、歯科診療に際して注意すべき点など、実際の歯科診療に必要な知識を学習して欲しい。薬学部にあっては、循環器疾患を理解し、治療薬として使われる薬剤の作用機序を理解し薬剤に対する理解を深めて欲しい。			
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	循環器内科学の医療従事者としての一般的な知識を習得することが第一の目標となる。循環器疾患を有する患者への歯科治療や投薬治療を行う際に、歯科医師・薬剤師として知っておくべき知識、注意が必要な点、治療薬物の薬効について習得する。		
個別行動目標 SBOs:	循環器、内科学、内科医療および加齢・老年病学の病態生理・疾患を理解し概説できる。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	基本的には板書およびパソコンにて講義するが、話り尽くせない分はプリントを活用する。		
授業内容			
1 回目	弁膜疾患・先天性心疾患:僧帽弁狭窄・閉鎖不全症、大動脈弁狭窄・閉鎖不全症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症、感染性心内膜炎		
2 回目	虚血性心疾患:狭心症、心筋梗塞		
3 回目	心電図・不整脈:期外収縮、頻脈性不整脈、徐脈性不整脈、人工ペースメーカー、ICD		
4 回目	心臓の炎症性疾患・心筋症・心不全:心筋炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心不全		
5 回目	高血圧・大動脈疾患・末梢動脈疾患:本態性高血圧症、肺高血圧症、大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症		
キーワード			
教科書・教材・参考書	参考書 病気がみえる vol. 2 循環器 医療情報科学研究所 (編集)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験にて行う。内容は講義した内容で客観問題(五肢択一または複択形式)。60 点以上を合格とする。再試験は 1 回行う。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤 大輔 (第 1 回目) /長崎大学病院における診療業務／循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・米倉 剛 (第 2 回目) /長崎大学病院における診療業務／循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・荒川 修司 (第 3 回目) /長崎大学病院における診療業務／循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・河野 浩章 (第 4 回目) /長崎大学病院における診療業務／循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> <li>・池田 聰司 (第 5 回目) /長崎大学病院における診療業務／循環器疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点を理解させる。</li> </ul>		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	20	月	I	弁膜疾患・先天性心疾患:僧帽弁狭窄・閉鎖不全症、大動脈弁狭窄・閉鎖不全症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症、感染性心内膜炎	佐藤大輔	講義室3A
2回	11	27	月	IV	虚血性心疾患:狭心症、心筋梗塞	米倉剛	講義室3A
3回	12	4	月	I	心電図・不整脈:期外収縮、頻脈性不整脈、徐脈性不整脈、人工ペースメーカー、ICD	荒川修司	講義室3A
4回	12	11	月	I	心臓の炎症性疾患・心筋症・心不全:心筋炎、肥大型心筋症、拡張型心筋症、心不全	河野浩章	講義室3A
5回	12	18	月	I	高血圧・大動脈疾患・末梢動脈疾患:本態性高血圧症、肺高血圧症、大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症	池田聰司	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 月・I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084513		
科目ナンバリング・コード	DNGD33191992		
授業科目名/(英語名)	内科学各論(血液学)/(Internal medicine, Hematology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	安東 恒史/k-ando@nagasaki-u.ac.jp/原爆後障害医療研究所・血液内科/直通 095-819-7111、大学病院・血液内科/直通 095-819-7380/木曜日 13:00~16:00		
担当教員(オムニバス科目等)	安東 恒史		
授業の概要	<p>1. 血液の構成成分およびその機能、さらに骨髓における造血について理解する。</p> <p>2. 止血機構について理解する。</p> <p>3. 血液疾患の中心である、貧血、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髓腫、出血性疾患について病態や治療を理解する。</p>		
授業到達目標	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</p> <p>一般目標 GIO:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>歯科医(薬剤師)にとって診療上必要と考えられる血液学について理解する。</li> <li>血液の構成成分とその機能について説明できる。止血機構について説明できる。</li> <li>代表的血液疾患の病態について理解する。</li> </ol> <p>個別行動目標 SBOs:</p> <p>血液内科学分野の病態生理・疾患を理解し概説できる。</p> <p>【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識</p>		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	講義形式にて行う。プリントを配布し、スライドを用いて講義する。		
授業内容	<p>1回目 造血のしくみ(造血幹細胞の自己複製能と各血球系への分化能) 血球の種類と機能、貧血性疾患</p> <p>2回目 造血器悪性腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髓腫)</p> <p>3回目 止血の仕組み、出血性疾患</p>		
キーワード	造血幹細胞、貧血、白血病、悪性リンパ腫、止血・凝固異常、化学療法、造血幹細胞移植		
教科書・教材・参考書	<p>教科書 なし</p> <p>参考書 1. 講義録 血液・造血器疾患学(小澤敬也ほか、メディカルビュー社) 2. カラーテキスト血液病学(木崎 昌弘ほか、中外医学社) 3. 血液学(三輪史朗ほか、文光堂)</p> <p>講義資料を LACS に掲載する。</p>		
成績評価の方法・基準等	筆記試験による定期試験で評価する。 再試験は、提出されたレポートの評価による(1 回行う)。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	正常血球の種類とその機能について確認しておくと、症状や病態に関する理解が深まる。		
実務経験のある教員による授業科目	安東 恒史／長崎大学病院における診療業務／診療上必要な血液学及び血液疾患に関する基礎的な知識を教授し、歯科領域での注意点の理解を促す。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	25	月	I	造血のしくみ(造血幹細胞の自己複製能と各血球系への分化能) 血球の機能、貧血性疾患	安東 恒史	講義室3A
2回	1	15	月	I	造血器悪性腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髓腫) 病態・臨床的特徴・治療	安東 恒史	講義室3A
3回	1	22	月	I	止血の仕組み 出血性疾患の病態、疾患	安東 恒史	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 月・4	必修選択	必修	単位数 (1)
科目番号	25084521			
科目ナンバリング・コード	DNGD33201992			
授業科目名/(英語名)	外科学各論(外科学 1) / (Surgery detailed explanations, Surgical Oncology)			
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類	関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	野中 隆/tnonaka@nagasaki-u.ac.jp/病院 11 階腫瘍外科医局/095-819-7304(内 7304)/17:00~18:00			
担当教員(オムニバス科目等)	松丸一朗、中路 俊、土肥良一郎、朝重耕一、山根裕介、大坪竜太			
授業の概要	外科各論としての心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科について、その基本的な事項を学ぶ。			
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】			
一般目標 GIO:	外科学の各分野の基本事項について理解すること			
個別行動目標 SBOs:	1. 一般・消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、心臓血管外 で扱う主な疾患に対する知識を説明できる。 2. 各疾患に対する診断方法、および外科的なアプローチの概要を説明 【E-6】医師と連携するために必要な医学的 できる。			
対応するディプロマポリシー	DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身に付けています。			
授業方法(学習指導法)	PC プレゼンテーションによる講義が中心となる。また理解を深めるため、必要に応じてプリントの配布も行うこともある。			
授業内容	1 回目 心臓外科:先天性心疾患・弁疾患・冠動脈疾患に対する外科治療 2 回目 血管外科:急性および慢性閉塞性動脈疾患と静脈疾患の外科治療 3 回目 呼吸器外科(1):縦隔・胸壁の外科 4 回目 呼吸器外科(2):肺・胸膜の外科 5 回目 呼吸器外科(3):肺移植外科 6 回目 小児外科:先天性疾患ならびに救急治療を要する小児疾患の外科治療 7 回目 乳腺外科:乳癌の診断と治療			
キーワード	食道外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準外科学(医学書院) 必要に応じてプリントを配布することあり。			
成績評価の方法・基準等	筆記試験による評価を行う。 再試験は1回行う。 出席率も考慮する。			
受講要件(履修条件)	特になし			
備考(学生へのメッセージ)	臨床診療において知っておくべき外科的な疾患とその治療内容を習得することを目的とします。			
実務経験のある教員による授業科目	・松丸一朗、中路 俊(第 1・2 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・土肥 良一郎(第 3・4 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・朝重 耕一(第 5 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・山根 裕介(第 6 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・大坪 竜太(第 7 回目)／長崎大学病院における診療業務／外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。			

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	月	4	心臓外科 先天性心疾患・弁疾患・冠動脈疾患に対する外科治療	松丸一朗	講義室3A
2回	10	16	月	4	血管外科 急性および慢性閉塞性動脈疾患と静脈疾患の外科治療	中路 俊	講義室3A
3回	10	23	月	4	呼吸器外科 縦隔・胸壁の外科	土肥良一郎	講義室3A
4回	10	30	月	4	呼吸器外科 肺・胸膜の外科	土肥良一郎	講義室3A
5回	11	6	月	4	呼吸器外科 肺移植外科	朝重耕一	講義室3A
6回	11	13	月	4	小児外科 先天性疾患ならびに救急治療を要する小児疾患の外科治療	山根裕介	講義室3A
7回	11	20	月	4	乳腺外科 乳癌の診断と治療	大坪竜太	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 月・4	必修選択 必修	単位数 (1)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25084522 DNGD33201992 外科学各論(外科学 2) / (Surgery detailed explanations, Gastrointestinal Surgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 3A
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 江口 晋 / sueguchi@nagasaki-u.ac.jp/病院移植・消化器外科医局/095-819-7316(内 7316)/9:00~17:00			
担当教員(オムニバス科目等)	今村一步、松島肇、小林慎一朗、平山昂仙、井上悠介、原貴信、森田道		
授業の概要 外科治療の対象となる代表的な消化器疾患について講義する。			
授業到達目標 一般目標 GIO:		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	
外科治療の対象となる代表的な消化器疾患を学習し、臨床歯科医として診療行為を行ううえで必要となる一般的知識を習得する。臨床歯科医として診療行為を行ううえで必要となる代表的な消化器系外科的疾患について、基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深める。消化器悪性腫瘍、特に食道、胃、大腸などの管腔臓器、ならびに肝臓、胆道、脾臓、甲状腺などの実質臓器に発生する腫瘍の病態を理解し、その診断・治療過程を学ぶ。			
個別行動目標 SBOs: 1) 消化器系悪性腫瘍、特に胃癌、大腸癌、肝癌、胆道癌、脾癌の診断と治療について理解し、説明できる。 2) 臨床的に頻度の高い疾患である胆石症、消化性潰瘍、良性食道疾患の診断と治療について理解し、説明できる。		【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識	
対応するディプロマポリシー DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。			
授業方法(学習指導法) 各疾患についてプリント資料、スライド、および術式についてはビデオも用いながら総括的な講義を行う。			
授業内容 1 回目 胆囊・胆道疾患 2 回目 脾疾患 3 回目 食道疾患 4 回目 胃疾患 5 回目 大腸・小腸疾患 6 回目 肝疾患 7 回目 甲状腺疾患			
キーワード	胆石症、胆道癌、脾炎、脾癌、食道癌、胃癌、大腸癌、肝癌、肝移植、甲状腺		
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 標準外科学(12 版、医学書院) 監修: 北島政樹		
成績評価の方法・基準等	講義終了後に筆記試験を行い評価する。60点以上を合格とする。 再試験は1回行う。		
受講要件(履修条件)	特になし		
備考(学生へのメッセージ)	特になし		
実務経験のある教員による授業科目	・今村 一步(第1回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・松島 肇(第 2 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・小林 慎一朗(第3回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・平山 昂仙(第4回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・井上 悠介(第5回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・原 貴信(第 6 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。 ・森田 道(第 7 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 外科疾患に関する基礎的な知識を教授し、その診断および治療法を理解させる。		

## 日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	27	月	4	胆嚢・胆道疾患: 胆石と胆道癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	今村一歩	講義室3A
2回	12	4	月	4	脾疾患: 脾炎と脾癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	松島 肇	講義室3A
3回	12	11	月	4	食道疾患: 食道疾患、特に食道癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	小林慎一朗	講義室3A
4回	12	18	月	4	胃疾患: 胃疾患、特に胃癌の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	平山昂仙	講義室3A
5回	12	25	月	4	大腸・小腸疾患: 大腸癌および小腸疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	井上悠介	講義室3A
6回	1	15	月	4	肝疾患: 肝癌や肝移植の適応となる疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	原 貴信	講義室3A
7回	1	22	月	4	甲状腺疾患: 外科治療の対象となる甲状腺疾患の基本的な診断法と治療法に関する理解と知識を深めるよう講義を行う。	森田 道	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084531		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (皮膚科学) / (Relational medicine I , Dermatology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	竹中 基/ m-take@nagasaki-u.ac.jp/病院皮膚科医局/095-819-7333(内 7333)/17:00~19:00 ※訪問の際は事前連絡すること。		
担当教員(オムニバス科目等)	竹中 基、鍬塚 大、小池雄太		
授業の概要	歯科医師として必要な皮膚科疾患の知識の習得。		
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	皮膚疾患の本質を理解し、歯科医にとって重要な皮膚粘膜疾患についての知識を深めるために正常皮膚の機能を学習する。さらに発疹記載学、日常遭遇することの多い歯科領域に関連の深い皮膚粘膜疾患を中心に、病因、病態生理、臨床所見、治療法を理解する。		
個別行動目標 SBOs:	1) 正常皮膚の構造と機能を理解する。 2) 皮膚粘膜疾患の皮疹、粘膜疹の記載方法を習得する。 3) 歯科領域と関連の深い皮膚粘膜疾患について理解する。		
対応するディプロマポリシー	【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識 DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	スライドによる講義。		
授業内容	1 回目 歯科金属アレルギーと皮膚疾患 2 回目 歯科医師が知っておくべき薬物アレルギー 3 回目 膠原病、腫瘍、水疱症と口腔症状		
キーワード			
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	筆記試験 再試験 有		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	・小池 雄太(第 1 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。 ・竹中 基(第 2 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。 ・鍬塚 大(第 3 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 歯科医師に最低限必要な皮膚科疾患について教授する。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	4	水	I	皮膚病と口腔粘膜 歯科金属アレルギーと皮膚疾患	小池 雄太	講義室3A
2回	10	11	水	I	アレルギー 歯科医師が知っておくべき薬物アレルギー	竹中 基	講義室3A
3回	10	18	水	I	皮膚腫瘍 膠原病、腫瘍、水疱症と口腔症状	鍬塙 大	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 木・I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084532		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (眼科学)/(Relational medicine I , Ophthalmology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	上松 聖典 /uematsu1124@outlook.jp/病院 10 階眼科医局/095-819-7345(内 7345)/水曜 14:00~17:00		
担当教員(オムニバス科目等)	上松 聖典		
授業の概要	視覚に関する器官の解剖と生理を解説し、眼科領域の代表的な疾患を紹介する。		
授業到達目標	【令和2年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	代表的な眼疾患について理解する。眼科救急疾患を理解する。		
個別行動目標 SBOs:	眼科学の概要を身につける。 医療従事者として知っておくべき眼科疾患を習得する。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	スライドによる講義。		
授業内容	1回目 眼球及び視覚伝達路の構造とその機能、前眼部疾患について修得する。 2回目 眼の発生、網膜疾患について修得する。 3回目 緑内障及びその他の代表的な眼疾患について修得する。		
キーワード	眼、視覚、視路		
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書1. 標準眼科学 第14版 医学書院 2. 現代の眼科学 第13版 金原出版		
成績評価の方法・基準等	レポート評価の6割以上をもって合格とする。出席率、追試験、再試験は学部規則に沿って厳格に行う。		
受講要件(履修条件)	特になし		
備考(学生へのメッセージ)	ぜひ興味をもって受講して頂きたいと思います。		
実務経験のある教員による授業科目	上松聖典／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な眼科疾患について教授する。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	14	木	I	眼球及び視覚伝達路の構造とその機能、前眼部疾患について修得する。	上松聖典	講義室3A
2回	12	21	木	I	眼の発生、網膜疾患について修得する。	上松聖典	講義室3A
3回	1	11	木	I	緑内障及びその他の代表的な眼疾患について修得する。	上松聖典	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (2)		
科目番号	25084533				
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992				
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (耳鼻咽喉科学) / (Relational medicine I , Otorhinolaryngology)				
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 3A		
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	熊井良彦/ ykumai426@nagasaki-u.ac.jp/病院耳鼻咽喉科医局/095-819-7349(内 7349)/火曜 19:30				
担当教員(オムニバス科目等)	木原千春、佐藤智生、大野純希				
授業の概要					
耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖および生理、疾患に対する理解を深め、将来の歯科医師・薬剤師にななどの医療従事者として着任した際に役に立つ基礎としての医学知識を構築することを目標とする。					
授業到達目標					
一般目標 GIO:					
耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖および生理、疾患に対する理解を深め、将来の歯科医師・薬剤師にななどの医療従事者として着任した際に役に立つ基礎としての医学知識を構築することを目標とする。	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】				
個別行動目標 SBOs:					
1. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の解剖についてひととおり説明することができる。	【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識				
2. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の生理についてひととおり説明することができる。					
3. 耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部の疾患について学習し、適切な場で耳鼻咽喉科医に対し適切な症例に関するコンサルテーションを行うことができる。					
4. 耳鼻咽喉科の領域について広範囲であるということを認識することができる。					
5. 耳鼻咽喉科の内科的側面および外科的側面について講義を通じて掴む事ができる。					
6. 耳鼻咽喉科と歯科との連携について、講義を通じて考えることができる。					
7. 耳鼻咽喉科と薬剤師との連携について、講義を通じて考えることができる。					
対応するディプロマポリシー					
DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。					
授業方法(学習指導法)					
資料はプリントの配布。講義はスライド、ビデオなどを供覧し行う。					
授業内容					
1回目 耳の構造と聞こえのしくみ・疾患					
2回目 鼻、副鼻腔の構造と疾患					
3回目 頭頸部がんの診断と治療					
キーワード					
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 STEP 耳鼻咽喉科学(海馬書房)・新耳鼻咽喉科学(南山堂)・				
成績評価の方法・基準等	授業中の課題に対する積極的な取組状況30点、レポート70点				
受講要件(履修条件)	学務に一任する。				
備考(学生へのメッセージ)					
実務経験のある教員による授業科目	•木原 千春(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。 •佐藤 智生(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。 •大野 純希(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科医師に最低限必要な耳・鼻・咽喉等の機能や構造について教授するとともに、代表的な疾患についてその診断と治療を教授する。				

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	25	水	I	耳の構造ときこえの仕組み・疾患	木原千春	講義室3A
2回	11	1	水	I	鼻、副鼻腔の構造と疾患	佐藤 智生	講義室3A
3回	11	8	水	I	頭頸部がんの診断と治療	大野 純希	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 水 I、月 I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084534		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (整形外科学) / (Relational medicine I, Orthopedics)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	松林昌平/bayazarov@gmail.com/病院整形外科医局/095-819-7321(内 7321)/16:00~18:00		
担当教員(オムニバス科目等)	松林 昌平、白石 和輝、青木 龍克		
授業の概要	<p>主要整形外科疾患の病態の把握。骨・関節の疾患の病態の把握。</p>		
授業到達目標	【令和5年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	運動器疾患の正確な診断と理解を深める。		
個別行動目標 SBOs:	1) 整形外科が扱う疾患を理解する。 2) それぞれの疾患の治療法を理解する。 3) 未来の人口動態より自分たちの置かれている状況を想像する。		
【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
対応するディプロマポリシー	DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	<p>スライドを使用して行う。</p>		
授業内容	<p>1回目 運動器疾患の総論 (松林)            2回目 上肢の主要な外傷と疾患の解説 (青木)            3回目 下肢の主要な外傷と疾患の解説 (白石)</p>		
*担当教員は変更の可能性あり			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 1. 標準整形外科学: 医学書院 井樋栄二他監修		
成績評価の方法・基準等	筆記試験 再試験は1回行う。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	LACS に掲載されている資料を勉強して下さい。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林 昌平(第 1 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 主要な整形外科疾患の病態や診断について教授する。</li> <li>・青木 龍克(第 2 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 主要な整形外科疾患の病態や診断について教授する。</li> <li>・白石 和輝(第 3 回目) / 長崎大学病院における診療業務 / 主要な整形外科疾患の病態や診断について教授する。</li> </ul>		

## 日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	15	水	I	整形外科総論 運動器疾患の総論	松林	講義室3A
2回	11	22	水	I	上肢の障害 上肢の主要な外傷と疾患の解説	青木	調整中
3回	11	27	月	I	下肢の障害 下肢の主要な外傷と疾患の解説	白石	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 水・I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084535		
科目ナンバリング・コード	DNGD33211992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 I (形成外科学)/(Relational medicine I , Plastic and Reconstructive Surgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	田中克己/ katsumit@nagasaki-u.ac.jp /病院形成外科医局/095-819-7327(内 7327)/17:00~19:00		
担当教員(オムニバス科目等)	田中克己、樺山和也		
授業の概要	<p>身体外表の異常を機能的・形態的に再建し、患者の社会復帰を促すという形成外科治療についての理解を深めさせる。第1回目では創傷治癒と再生医療、皮膚形成術、医療材料について講義する。第2回目では形成外科概論、形態と機能との関わり組織移植の基礎と応用について講義を行う。</p>		
授業到達目標	<p>一般目標 GIO: 形態異常のハンディキャップとしての特殊性をよく理解し、どのようなものが形態異常の原因となりうるのかを理解する。また、創傷治癒と再生医療の基礎と形成外科における臨床への応用、また、組織移植術に対する基礎的知識の理解とその応用、医療材料の特徴と問題点などについて深い知識の習得を目的とする。</p> <p>個別行動目標 SBOs:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 形成外科学の概念を理解し、各自の専門分野に繋げる。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識</li> <li>2) 形成外科の対象疾患と治療法を理解する。</li> </ol>		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	レジュメを LACS に掲載し、パワーポイントを用いた講義を行う。		
授業内容	<p>1回目 創傷治癒と再生医療、皮膚形成術、医療材料 2回目 形成外科概論、形態と機能との関わり、組織移植の基礎と応用</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	標準形成外科学 第7版:平林慎一・鈴木茂彦・岡崎 瞳 編集、医学書院 TEXT 形成外科学 第3版:波利井清紀 監修、南山堂		
成績評価の方法・基準等	出席率及びレポートによる評価を行う。60 点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)			
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樺山 和也(第1回目)／長崎大学病院における診療業務／創傷治癒と再生医療、皮膚形成術、医療材料について教授する。</li> <li>・田中 克己(第2回目)／長崎大学病院における診療業務／形成外科概論、形態と機能との関わり、組織移植の基礎と応用について教授する。</li> </ul>		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	6	水	I	創傷治癒と再生医療、皮膚形成術、医療材料	樺山	講義室3A
2回	12	13	水	I	形成外科概論、形態と機能との関わり、組織移植の基礎と応用	田中	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 月・IV	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084541		
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 II(小児科学)/(Relational medicine II, Pediatrics)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 伊達木澄人 / sdateki1@nagasaki-u.ac.jp /病院小児科医局/095-819-7298(内 7298) /			
担当教員(オムニバス科目等)	伊達木澄人(だてき すみと)、橋本邦生(はしもと くにお)		
授業の概要	<p>小児は身体が単に小さいだけでなく、様々な生理的な特徴を持っています。その小児の特殊性について理解できるようにします。また、小児の救急についての基本的な知識を身につけ、状態の把握とその対処ができるようになることを目標とします。こどもと接する機会は必ずあるのでこどもの特性は理解できるようになることを目標とします。</p>		
授業到達目標	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</p>		
一般目標 GIO:	<p>小児の特殊性について理解できるようにします。また、小児の救急についての基本的な知識を身につけ、状態の把握とその対処ができるようになることを目標とします。こどもと接する機会は必ずあるのでこどもの特性は理解できるようになることを目標とします。</p>		
個別行動目標 SBOs:	<p>小児の特徴がわかり、救急処置について理解する。 小児の成長のメカニズムと成長障害について理解できる。 小児によく診られる感染症、染色体異常(ダウン症など)、骨系統疾患などの疾患について理解できる。</p>		
	<p>【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識</p>		
対応するディプロマポリシー	<p>DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。</p>		
授業方法(学習指導法)	<p>プリントと PC プロジェクターを用いて解説を行う。</p>		
授業内容	<p>1 回目 小児の身体的特徴、成長と発達について理解を深める。 2 回目 子どもの救急対応について理解を深める。 3 回目 こどもの疾患について理解を深める。とくによく診る感染症、染色体異常症、骨系統疾患について学ぶ。</p>		
キーワード	小児の特徴、救急処置、成長、発達、ダウン症、感染症		
教科書・教材・参考書	<p>教科書 なし 参考書 標準小児科学(医学書院)</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>3回の講義について筆記試験もしくはレポートで評価する。再試験は1回のみ行う。 出席率、追試験、は学部規則に沿って行う。 再試験は1回のみ行う。</p>		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	小児を診るうえで重要な項目であるので復習をしっかりとすることが望ましい。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊達木澄人 (第 1、3回目)／長崎大学病院における診療業務／小児の身体的特徴、成長、発達、小児疾患(感染症、染色体異常症、骨系統疾患)について教授する。</li> <li>橋本邦生(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／小児の救急対応について教授する。</li> </ul>		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	2	月	IV	子どもの特徴・成長発達 小児の身体的特徴、成長と発達について理解を深める。	伊達木澄人	講義室3A
2回	10	16	月	IV	子どもの救急 子どもの救急対応について理解を深める。	橋本邦生	講義室3A
3回	10	23	月	IV	子どもの疾患 子どもの疾患について理解を深める。とくによく診る感染症、染色体異常症、骨系統疾患について学ぶ。	伊達木澄人	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 月・IV	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084542		
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 II (産科婦人科学) / (Relational medicine II, Obstetrics and Gynecology)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 3A
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	三浦清徳/kiyonori@nagasaki-u.ac.jp/病院産婦人科医局/095-819-7363(内 7363)/平日 9:00~17:00		
担当教員(オムニバス科目等)	梶村慈、重富 典子、原田亜由美、三浦生子		
授業の概要	産科婦人科学は、生殖医学、周産期医学、婦人科腫瘍学および女性医学の 4 領域に大別される。本科目では、それぞれの領域における「基本的知識」の学習に主眼をおく。		
○生殖医学	受精と着床に関する基本的知識を修得し、不妊治療を含む生殖補助医療の最新の話題も含めて学習する。		
○周産期医学	妊娠・分娩のプロセスを理解し、その異常について学習する。		
○婦人科腫瘍医学	女性性器の発生に関する基本的知識を修得し、各腫瘍における疫学、組織像について最近の話題を含めて学習する。		
○女性医学	女性のライフステージの中で起こりうる疾患を理解し、健康管理に必要な知識(予防医学)を学習する。		
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	生殖医学、周産期医学、婦人科腫瘍医学、および女性医学についての基本的知識を修得する。		
個別行動目標 SBOs:	1) 女性生殖器の解剖ならびに生理を理解する 2) 性周期、卵子の発育から妊娠の成立過程を理解する 3) 妊娠経過、正常分娩とその異常について理解する 4) 婦人科疾患、特に婦人科腫瘍について理解する 5) 女性のライフステージとヘルスケアについて理解する		
【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識			
対応するディプロマポリシー	DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	講義形式で行う。スライドを中心に講義し、適宜プリントの配布等を行う。		
授業内容	1 回目 生殖医学 受精、着床のプロセスとその異常 2 回目 周産期医学 妊娠から分娩までのプロセスとその異常 3 回目 婦人科腫瘍医学 女性性器の発生学とその異常(良性腫瘍、悪性腫瘍) 4 回目 女性医学 女性のライフステージとヘルスケア		
キーワード	受精、着床、不妊症、妊娠、分娩、胎児、腫瘍、病理像、女性のヘルスケア		
教科書・教材・参考書	特に指定しない。		
成績評価の方法・基準等	筆記試験を実施する。 100 点満点で 60 点未満を不合格とする。 再試験は 1 回のみ行う。		
受講要件(履修条件)	特にない。		
備考(学生へのメッセージ)	生命の誕生からその終焉までを診る学問である。生殖や妊娠には倫理的問題が関わる場合も少なくない。新聞などのニュースでこれらの問題について触れ、そのことについて自分なりに考えることが重要である。		
実務経験のある教員による授業科目	・梶村慈(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／生殖医学に関する基本的知識を教授する。 ・重富典子(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／周産期医学に関する基本的知識を教授する。 ・原田亜由美(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／腫瘍医学に関する基本的知識を教授する。 ・三浦生子(第 4 回目)／長崎大学病院における診療業務／女性医学に関する基本的知識を教授する。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	30	月	IV	生殖医学 受精、着床のプロセスとその異常	梶村慈	講義室3A
2回	11	6	月	IV	周産期医学 妊娠から分娩までのプロセスとその異常	重富典子	講義室3A
3回	11	13	月	IV	婦人科腫瘍学 女性性器の発生とその異常(良性腫瘍、悪性腫瘍)	原田亜由美	講義室3A
4回	11	20	月	IV	女性医学 女性のライフステージとヘルスケア	三浦生子	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 木・I	必修選択 必修	単位数 (2)			
科目番号	25084543					
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992					
授業科目名/(英語名)	隣接医学 II(泌尿器科学)/(Relational medicine II, Urology)					
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A				
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学				
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	大庭康司郎/ ohba-k@nagasaki-u.ac.jp /病院泌尿器科医局/095-819-7340(内 7340)/17:00~18:00					
担当教員(オムニバス科目等)	大庭康司郎、中西裕美、中村裕一郎					
授業の概要及び位置づけ						
腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解し、泌尿器科学の概要を把握する。まず、1回目は総論として腎・泌尿器の解剖と機能および症候と検査法について講義する。2回目は泌尿器科で特に主要な疾患である泌尿器腫瘍の診断と治療について講義する。3回目はその他の疾患として、頻度の高いものを講義する。これらを通じて、泌尿器科診療の概要と実際を学び、最終的に泌尿器科学の重要性を理解し、説明できるようになることをめざす。						
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】					
一般目標 GIO:						
腎・尿路系疾患の病態、診断および治療を理解し、泌尿器科学の概要を把握する。						
個別行動目標 SBOs:						
1.腎・泌尿器の構造と機能を理解し、異常所見を識別できる。						
2.腎・泌尿器系疾患の主要症候を理解し、鑑別疾患を挙げることができる。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識						
3.腎・泌尿器系の検査法を理解し、診断へ応用できる。						
4.主要疾患の治療法を概説できる。						
対応するディプロマポリシー						
DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身に附けている。						
授業方法(学習指導法)						
スライドとプリントを使った講義。						
授業内容						
1 回目 泌尿器科学総論(腎・尿路・男性生殖器の解剖と機能、おもな症候と検査法) ・泌尿器科領域で扱う臓器の構造と機能を説明できるようになる						
2 回目 泌尿器腫瘍の診断および治療 ・特に重要な腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌については治療までのフローが説明できるようになる						
3 回目 腫瘍以外の主な泌尿器科疾患(尿路感染症、尿路結石、排尿機能障害など) ・増加傾向にあるこれらの疾患の予防も含めたマネージメントについて説明できるようになる。						
キーワード	泌尿器科学、泌尿器科腫瘍、腎・尿路					
教科書・教材・参考書	教科書 なし 参考書 1. 講義録 泌尿器科学(メジカルビュー社) 2. 標準泌尿器科学(医学書院)					
成績評価の方法・基準等	レポートによる評価を行う。60 点以上を合格とする。 評価で不可の場合は再度のレポート提出または口頭試問とする。					
受講要件(履修条件)						
備考(学生へのメッセージ)	できるだけ歯学や薬学の領域でも役に立つ講義内容にします。					
	・中村 裕一郎(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。 ・大庭 康司郎(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。 ・中西 裕美(第 3 回目)／長崎大学病院における診療業務／泌尿器疾患の病態、診断及び治療について教授する。					

## 日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	16	木	I	泌尿器科学総論(腎・尿路・男性生殖器の解剖と機能、おもな症候と検査法) ・泌尿器科領域で扱う臓器の構造と機能を説明できるようになる	中村裕一郎	講義室3A
2回	11	30	木	I	泌尿器腫瘍の診断および治療 ・特に重要である腎癌、尿路上皮癌、前立腺癌については治療までのフローが説明できるようになる	大庭康司郎	講義室3A
3回	12	7	木	I	腫瘍以外の主な泌尿器科疾患(尿路感染症、尿路結石、排尿機能障害など) ・増加傾向にあるこれらの疾患の予防も含めたマネージメントについて説明できるようになる。	中西裕美	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 水 I	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084544		
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 II(精神神経科学)/(Relational medicine II, Neuropsychiatry)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	小澤寛樹/ozawa07@nagasaki-u.ac.jp/大学病院 12 階精神神経科教授室/095-819-7293(内 7293)/水曜 12:00~13:00		
担当教員(オムニバス科目等)	小澤寛樹、今村 明		
授業の概要	<p>プライマリケアでも重要で歯科領域において認められやすい精神と行動の障害に関する症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて学ぶ。(不安、うつ、統合失調症、認知症、小児・思春期における精神障害など)</p>		
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	歯科領域にとって必要な精神科疾患の概要を紹介し、疾患及び罹患した患者への理解を深める。		
個別行動目標 SBOs:	<p>1) 精神現象の複雑さを知り、患者との十分な心のふれあいの大切さを理解する。</p> <p>2) プライマリケアにおける精神医学的症状の把握に必要な情報を知り、精神障害への理解を深め、偏見・差別の軽減に努める。</p>		
対応するディプロマポリシー	【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識 DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	スライドや VTR などを利用しながら講義を行うが、受講学生の授業への積極的参加を期待して討論を行う。		
授業内容	<p>1回目 「プライマリケアで見られる精神障害と精神医学的症状」</p> <p>メンタルヘルス概論、ストレス・不安・抑うつなどの症候に関する概説</p> <p>統合失調症、うつ病、身体表現性障害などプライマリケアで認められる精神障害の症候、診断と治療</p> <p>2回目 「子どもにみられる精神障害」</p> <p>小児・思春期における精神障害を中心に、症候や診断、治療について解説する</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p>教科書 なし</p> <p>参考書 1. ICD-10「精神・行動の障害」マニュアル(中根充文、岡崎祐士著、医学書院、1994) 2. 標準精神医学(野村総一郎、樋口輝彦著、医学書院)</p>		
成績評価の方法・基準等	出席とレポートにより評価する。 再試験:無		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	具体的な症例を挙げながら、精神科と歯科、薬科がどのように結びついてくるのか考察を深めていきます。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今村 明(第2回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に必要な精神科疾患の概要を教授する。</li> <li>・小澤 寛樹(第1回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に必要な精神科疾患の概要を教授する。</li> </ul>		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	12	20	水	I	「プライマリケアで見られる精神障害と精神医学的症状」 メンタルヘルス概論、ストレス・不安・抑うつなどの症候に関する概説 統合失調症、うつ病、身体表現性障害などプライマリケアで認められる精神障害の症候、診断と治療	小澤寛樹	講義室3A
1回	1	10	水	I	「子どもにみられる精神障害」 小児・思春期における精神障害を中心に症候や診断、治療について解説する	今村 明	講義室3A

年度 2023 学期 4Q	曜日・校時 水・V	必修選択 必修	単位数 (2)
科目番号	25084545		
科目ナンバリング・コード	DNGD33221992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学 II(脳神経外科学)/(Relational medicine II, Neurosurgery)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部・薬学部	科目分類 関連臨床医学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	松尾 孝之/takayuki@nagasaki-u.ac.jp/病院 10 階脳神経外科医局 095-819-7375(内線 7375)/17:30~18:30		
担当教員(オムニバス科目等)	吉田光一、氏福健太		
授業の概要	歯科診療に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患に関して概説し、歯科、口腔外科領域に隣接する頭頸部の外傷、脳卒中、腫瘍、疼痛性疾患の病態、診断、治療法を学び、鑑別診断ができる能力を養う。		
授業到達目標	平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム		
一般目標 GIO:	頭部外傷、脳卒中などの脳神経外科的救急疾患についての基本的知識を得る。		
個別行動目標 SBOs:	1)頭頸部の腫瘍につき理解する。 2)三叉神経痛に対する脳外科治療について理解する。 【E-6】医師と連携するために必要な医学的知識		
対応するディプロマポリシー	DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身に附っている。		
授業方法(学習指導法)	主として PC プレゼンテーションにて行う。		
授業内容	1 回目 頭部外傷、脳卒中など脳神経救急疾患について概説する。 2 回目 三叉神経痛に対する脳外科治療について概説する。		
キーワード			
教科書・教材・参考書	なし		
成績評価の方法・基準等	出席率、レポート等により行う。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	急患等の対応のため、講義担当者が変更になることがある。		
実務経験のある教員による授業科目	・吉田 光一(第 1 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患について病態、診断、治療法を教授する。 ・氏福 健太(第 2 回目)／長崎大学病院における診療業務／歯科領域に関連が深いと考えられる脳神経外科疾患について病態、診断、治療法を教授する。		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	11	27	水	V	頭部外傷 頭部外傷、脳卒中など脳神経外科救急疾患について概要する。	吉田光一	講義室3A
2回	12	4	水	V	三叉神経痛 三叉神経痛に対する脳神経外科治療について概説する。	氏福健太	講義室3A

年度 2023 学期 3Q	曜日・校時 木・1	必修選択 必修	単位数 0.5
科目番号	25084551		
科目ナンバーリング・コード	DNGD33231992		
授業科目名/(英語名)	隣接医学III(人類遺伝学)/(Relational medicine III, Human Genetics)		
対象年次 3 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3A	
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類	関連臨床医学
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	吉浦 孝一郎 / kyoshi@nagasaki-u.ac.jp / 原爆後障害医療研究所 / 095-819-7118 / 月～金 9:00-17:00 (要アポイントメント)		
担当教員(オムニバス科目等)	吉浦 孝一郎		
授業の概要			
<p>歯科医師および生物系研究者に必要な遺伝学の基本的知識と概念の修得をめざす。</p> <p>(分子)遺伝学は、メンデルにより導入された抽象的な概念としての遺伝因子(メンデルのいう要素)が導入され、その具体的物質的基盤である分子の正体(DNAなど)が判明することにより爆発的に発展した。遺伝学は、遺伝情報の違いや変化(多様性、変異、進化)、遺伝情報の伝え方(伝達、形式)、遺伝情報の働き方(現象)などを扱う。これらはまさに生命現象の基本であるため、遺伝学の素養を身につけることは生物学やその応用としての医学や歯学を学ぶためには必須である。また、ゲノム情報は医療に利用される時代が到来しており、医師・歯科医師に必須の知識となっている。ゲノム、遺伝子の構造から遺伝の仕組み、遺伝形式、遺伝子変異と疾患、多因子疾患の特徴およびゲノム医学について学ぶ。</p>			
授業到達目標	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
一般目標 GIO:	歯科医師および生物系研究者に必要な遺伝学の基本的知識と概念の修得をめざす。		
個別行動目標 SBOs:	<p>【C-2-2】遺伝子と遺伝 【C-5-1】病因論と先天異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 遺伝子の概念やゲノムの概念について説明できる。</li> <li>2. 遺伝学がどのような学問であるのかについて説明できる。</li> <li>3. 遺伝学的疾患分類について説明できる。</li> <li>4. 遺伝子の構造と遺伝子発現システムについて説明できる。</li> <li>5. 遺伝の原理について説明できる。</li> <li>6. 遺伝子変異や多型についての概略やそれらを説明できる。</li> <li>7. 多因子疾患について概略を説明できる。</li> <li>8. ミトコンドリア遺伝やエピジェネティクスについて説明できる。</li> </ul>		
対応するディプロマポリシー	DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。		
授業方法(学習指導法)	教科書は指定せず、授業計画に沿った説明やプリント、スライドで授業を進める。		
授業内容	<p>1回目 分子遺伝学の基礎、メンデル遺伝の基礎</p> <p>2回目 メンデル遺伝病</p> <p>3回目 染色体異常、ミトコンドリア病、エピジェネティクスとその異常</p> <p>4回目 遺伝性疾患の分子病理 1</p> <p>5回目 遺伝性疾患の分子病理 2</p> <p>6回目 集団遺伝学の基礎</p> <p>7回目 多因子疾患</p>		
キーワード	ゲノム、ミトコンドリア、遺伝形式、遺伝子変異、多因子疾患、多様性		
教科書・教材・参考書	教科書の指定はない。但し、参考書として以下を推薦する。 遺伝医学(羊土社、渡邊 淳(著))、遺伝医学への招待(改訂第6版、南江堂)		
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価する。点数が 60 点以上を合格とする。再試(1回)あり。場合によっては、再試ではなく本試不合格者にレポートを課すことがある。		
受講要件(履修条件)			
備考(学生へのメッセージ)	<p>基本的知識は必要だが、その背景にある論理を理解してほしい。</p> <p>授業で説明した内容は、その都度復習しておくこと。</p> <p>高校生物未履修者は、該当分野を自習しておくこと。</p> <p>授業の進行具合に応じては、授業内容が変更されることもあるが、その都度指示する。</p>		

実務経験のある教員による授業科目	吉浦 孝一郎／病院での診療経験／診療経験を活かし、遺伝学に関する講義を実施する。
------------------	--

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	9	28	木	1	分子遺伝学の基礎、メンデル遺伝の基礎	吉浦	講義室3B
2回	10	5	木	1	メンデル遺伝病	吉浦	講義室3A
3回	10	5	木	7	染色体異常、ミトコンドリア病、エピジェネティックスとその異常	吉浦	講義室3A
4回	10	19	木	1	遺伝性疾患の分子病理1	吉浦	講義室3A
5回	10	26	木	1	遺伝性疾患の分子病理2	吉浦	講義室3A
6回	11	2	木	1	集団遺伝学の基礎	吉浦	講義室3B
7回	11	9	木	1	多因子疾患	吉浦	調整中

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択	必修	単位数 (20)
科目番号	25054602			
科目ナンバリング・コード	DNGD33251985			
授業科目名/(英語名)	臨床歯科器材・薬剤学/(Clinical Dental Apparatus & Pharmacy)			
対象年次 5 年次	講義形態 講義形式	教室	講義室 6B	
対象学生(クラス等)		科目分類	統合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	村田比呂司 /hmurata@nagasaki-u.ac.jp/歯科補綴学分野教授室/095-819-7690(内 7690)/火曜 17:00~18:00			
担当教員(オムニバ ス科目等)	阿部薰明, 江越貴文, 大場誠悟, 尾崎幸生, 川下由美子, 黒木唯文, 黒嶋伸一郎, 五月女さき子, 田上直美, 楠原 峻, 柳口嘉治郎, 吉田圭一, 渡邊郁哉, 村田比呂司			
授業の概要	歯科臨床において歯科器材と薬剤の占める比重は大きく、市場には新製品や改良品が輩出している。多種多様な製品の中から個々の症例に有用なものを選択するためには、正確な知識の蓄積と冷静な判断力が必要となる。			
授業到達目標	一般目標 GIO: 歯科治療に必要な歯科器材と薬剤について、その選択法や最適な使用方法を理解し、臨床実習直前において最新の知識と今後の変化・発展に対して柔軟に対応できる判断力を身に付ける。 個別行動目標 SBOs: 【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】			
	1. 感染予防を説明できる A-6-1)-⑥、A-6-3)-③ 2. 歯内療法材料を説明できる D-2-⑥ 3. 修復・補綴用材料を説明できる D-2-①② 4. 歯周治療用材料を説明できる D-1-①③、E-3-3)-(3)-② 5. 歯科用レーザーを説明できる D-1-①③ 6. 在宅歯科診療用ポータブルユニット、器材を説明できる D-1-①③ 7. 医薬品医療機器等関連法制を説明できる B-2-1)-④			
対応するディプロマポリシー	DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。 DP4:多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。			
授業方法(学習指導法)	パソコンと液晶プロジェクターを用いて行い、必要に応じてプリントを配布する。			
授業内容	1回目 修復・補綴用 (1)印象材の特徴、印象採得法 2回目 歯周治療用 (1)局所的治療薬、全身的治療薬 3回目 修復・補綴用 (2)硬質レジン、床用レジン 4回目 修復・補綴用 (3)合着用セメント、仮着材 5回目 感染予防用 (1)術者の感染予防、手術野の消毒 6回目 感染予防用 (2)診療室での感染対策 7回目 歯内療法用 覆髓剤、根管消毒薬、根管長測定器 8回目 修復・補綴用 (4)インプラント治療のための各種器材・材料(手術用器具、印象パーツ、使用される金属など含む) 9回目 歯周・歯内・修復・補綴 歯科用レーザー <sup>1</sup> 10回目 医薬品医療機器等関連法制 11回目 修復・補綴用 (6)エアータービン、研磨材 12回目 修復・補綴用 (5)咬合・適合診査材、リライン材 13回目 歯周治療用 (2)ブラークコントロール・オーラルケアの指導法、使用器具について 14回目 修復・補綴用 (7)義歯安定剤、義歯洗浄剤 15回目 在宅歯科診療用ポータブルユニット、器材 16回目 歯周治療用 (3)外科処置用器材、処理後のパック			
キーワード	歯科器材 歯科薬剤 臨床術式			
教科書・教材・参考書	特に指定しない。			
成績評価の方法・基準等	成績評価は定期試験により行う。また授業への貢献度も評価の対象とする。			
受講要件(履修条件)	全体を通して総授業時間の 2/3 以上の出席が求められる。			

備考(学生へのメッセージ)	今まで、まとまった形では聞くことのできなかった話を、オムニバス形式で専門家によって分りやすく講義するので、先ずは出席することを心がけて欲しい。数年前に聞いて忘れかけているかもしれない細菌学、薬理学、歯科理工学などの知識も頭の中で再構築され、目前に迫った臨床実習に必ず役に立つはずである。なお講義の順番等が変更になる可能性がある。その場合は事前に連絡する。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江越 貴文／大学病院および関連病院における有床義歯補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・大場 誠悟／大学病院および関連病院における口腔外科を主体とした治療／臨床の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・尾崎 幸生／大学病院および関連病院における歯内歯周治療を主体とした歯科治療／臨床の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・川下由美子／大学病院および関連病院における予防歯科、周術期口腔管理を主体とした歯科治療／臨床の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・黒木唯文／大学病院および関連病院における有床義歯補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・黒嶋伸一郎／大学病院および関連病院におけるインプラント補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・五月女さき子／大学病院および関連病院における予防歯科、周術期口腔管理を主体とした歯科治療／臨床の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・田上 直美／大学病院および関連病院における歯冠補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・檜原 峻／大学病院および関連病院における口腔外科を主体とした治療／臨床の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・柳口 嘉治郎／大学病院および関連病院における保存修復を主体とした歯科治療／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・吉田 圭一／大学病院および関連病院における歯冠補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・渡邊 郁哉／大学病院および関連病院における有床義歯補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> <li>・村田 比呂司／大学病院および関連病院における有床義歯補綴を主体とした歯科治療および技工作業／臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供</li> </ul>

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	5	月	1	修復・補綴用 (1)印象材の特徴、印象採得法:鑄造修復物を製作するためには各種印象材の特性を理解した上で精度の良い印象採得法が必須である。印象方法により注意すべき点が異なるので熟知すること。	江越貴文	講義室6B
2回	6	5	月	2	歯周治療用 (1)局所的治療薬、全身的治療薬:局所的治療薬はポケット内細菌叢の変化を目的とするのか、あるいは消炎を目的とするのか、その目的に応じた薬剤を選択する。	尾崎幸生	講義室6B
3回	6	5	月	3	修復・補綴用 (2)硬質レジン、床用レジン:硬質レジンの種類は多く、それぞれの特色を知つて使うことが大切である。床用レジンにも常温重合型など多種類があり、目的に応じて使い分ける。	田上直美	講義室6B
4回	6	6	火	1	修復・補綴用 (3)合着用セメント、仮着材:歯髓保護のためには辺縁封鎖性の優れた接着性レジンが望ましいが、操作性は従来型セメントとはやや異なる。仮着材はカルボン酸系のものが扱い易い。	吉田圭一	講義室6B
5回	6	6	火	2	感染予防用 (1)術者の感染予防、手術野の消毒:術者の予防として感染源と感染経路に配慮する。手術野の消毒には組織刺激性、殺菌力、効果の持続性を目安に薬剤を選ぶ。	大場誠悟	講義室6B
6回	6	6	火	3	感染予防用 (2)診療室での感染対策:滅菌器と消毒薬、防護用具が感染対策として使用される。それらの対象物、対象菌、特性、用法、安全性などを概説する。	檜原 峻	講義室6B
7回	6	12	月	1	歯内療法用 覆髓剤、根管消毒薬、根管長測定器:根管充填剤は術前、術中の臨床症状、根管の形態・状態に応じて適切に選択/適応する必要がある。アレルギーや薬剤過敏症の患者も増加傾向にあるので注意。	柳口 嘉治郎	講義室6B
8回	6	12	月	2	修復・補綴用 (4)インプラント治療では多くの器材や材料を使用する。インプラント体自体も材料となるため、インプラントに利用される金属の特徴、埋入のための器材、印象のために利用する部品(材料)と実際の印象法について解説する。	黒嶋 伸一郎	講義室6B
9回	6	12	月	3	歯周・歯内・修復・補綴 歯科用レーザー:歯科用レーザーの用途は多種類あり、主に歯周治療や歯内治療、保存修復、外科治療、補綴技工に使用されるレーザーの種類やレーザー機器の原理・使用法を理解することは重要である。	渡邊郁哉	講義室6B
10回	6	13	火	5	医薬品医療機器等関連法制:口腔保健と歯科医療における「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、「麻薬及び向精神薬取締法」などを概説する。	五月女さき子	講義室6B
11回	6	13	火	6	修復・補綴用 (6)エータービン、研磨材:歯科臨床においては、窩洞形成や支台歯形成、修復物の作製工程などで切削や研磨の機会が多い。エータービンの構造、切削・研磨の理論、各種の切削材や研磨材の特徴について話す。	阿部薰明	講義室6B
12回	6	13	火	8	修復・補綴用 (5)咬合・適合診査材、リライン材:補綴物装着時の咬合や適合チェックの診査材は正しい選択が必要である。リライン材、ティッシュコンディショナーは各材料の特徴を把握することが重要である。	村田 比呂司	講義室6B
13回	6	19	月	1	歯周治療用 (2)プラークコントロール・オーラルケアの指導法、使用器具について	川下 由美子	講義室6B
14回	6	19	月	2	修復・補綴用 (7)義歯安定剤、義歯洗浄剤:義歯安定剤、義歯洗浄剤についての患者への適切な指導が重要である。	村田 比呂司	講義室6B
15回	6	19	月	3	在宅歯科診療用ポータブルユニット、器材:要介護高齢者に潜在する歯科治療ニーズは高く、臨床現場では軽量でコンパクトなパッケージの開発が求められる。最新の往診用機器・器材を解説する。	黒木唯文	講義室6B
16回	6	20	火	7	歯周治療用 (3)外科処置用器材、処理後のパック:外科用器材には正確に目的を達成できるものを選ぶ。使い易く消毒に耐えることも必要である。パックは成分や貼用方法、除去時期を知って使う。	尾崎幸生	講義室6B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 (19)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25054628 DNGD 33571992 生活習慣病と口腔/(Life-Style Related Disease and Oral Environment)		
対象年次 5 年次	講義形態 講義・e-learning 形式	教室 講義室 6B	
対象学生(クラス等) 担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	歯学部 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと	科目分類 統合科目	
担当教員(オムニバス科目等) 角 忠輝, 鵜飼 孝 非常勤講師:西村英紀(九州大学)			
<p><b>授業の概要</b>      生活習慣病等への対策・ヘルスプロモーションにおける「口腔・全身健康学」の広い知識を持ち、かつチーム医療の重要性を理解し実践するマインドを涵養する。歯学と医学そして行政との融合を理解する。      なおこの講義は、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム選定事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革-死生医学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築-」の一環として行われる。</p>			
<p><b>授業到達目標</b>      一般目標 GIO:      生活習慣病等への対策・ヘルスプロモーションにおける「口腔・全身健康学」の広い知識を持ち、かつチーム医療の重要性を理解し実践するマインドを涵養する。</p> <p>個別行動目標 SBOs:</p> <p>1.食生活、栄養、口腔疾患と全身の健康について説明できる。      2.健康増進に寄与する歯科医学について説明できる。</p> <p style="text-align: right;">【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】      E-3-3)-(3)-①,      F-3-2)-⑤</p>			
<p><b>対応するディプロマポリシー</b>      DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。</p>			
<p><b>授業方法(学習指導法)</b>      講義及び e-learning を用いた講義による。</p>			
<p><b>授業内容</b></p> <p>1回目:講義シリーズ1(e-learning 1) 認知症と生活習慣病      2回目:講義シリーズ1(e-learning 2) 生活習慣病に対する栄養学的アプローチ      3回目:全身におよぼす口腔環境の影響 1(概論 仮題)      4回目:全身におよぼす口腔環境の影響 2(概論 仮題)      5回目:講義シリーズ1(e-learning 3) 睡眠時無呼吸症候群の概要と歯科的アプローチ      6回目:健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連 1(仮題)      7回目:健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連 2(仮題)      8回目:健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連 3(仮題)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	指定無し		
成績評価の方法・基準等	講義受講および e-learning 受講後に実施される確認テストおよび受講後のレポートにより評価する。		
受講要件(履修条件)	予定されるすべての e-learning の確認テストに合格し、同 e-learning のレポートが提出されていること。 対面講義を欠席した場合は e-learning を追加する。		
備考(学生へのメッセージ)	対面講義と e-learning が混在するため注意すること。かなり現場に近い講義シリーズになるが、自らが歯科医師としてどのように関わるかを想像しながら聴講していただきたい。対面講義においては講師に対し礼を失しないよう振る舞うこと。		
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>角 忠輝／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に生活習慣病と口腔に関する基礎を教授する。</li> <li>鵜飼 孝／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に生活習慣病と口腔に関する影響について教授する。</li> <li>西村 英紀／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に生活習慣病と口腔に関する健康科学について教授する。</li> </ul>		

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	8	月	3	講義シリーズ1(e-learning 1) 認知症と生活習慣病	菱川 望	講義室6B
2回	5	12	金	4	講義シリーズ1(e-learning 2) 生活習慣病に対する栄養学的アプローチ	長谷川 祐子	講義室6B
3回	5	12	金	5	全身におよぼす口腔環境の影響1(概論 仮題)	鵜飼 孝	講義室6B
4回	5	12	金	6	全身におよぼす口腔環境の影響2(概論 仮題)	鵜飼 孝	講義室6B
5回	5	15	月	3	講義シリーズ1(e-learning 3) 睡眠時無呼吸症候群の概要と歯科的アプローチ	水口 一	講義室6B
6回	5	19	金	4	健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連1(仮題)	西村英紀	講義室6B
7回	5	19	金	5	健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連2(仮題)	西村英紀	講義室6B
8回	5	19	金	6	健康増進のための歯科医学、糖尿病や全身疾患との関連3(仮題)	西村英紀	講義室6B

年度 2023 学期 2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 (20)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25054621 DNGD33431990 離島歯科医学/(Dentistry in remote island)		
対象年次 5 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6B	
対象学生(クラス等)	科目分類 統合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 川下由美子/yumiko-t@nagasaki-u.ac.jp/口腔保健学教授室/095-819-7663(内 7663)/木曜 17:00~			
担当教員(オムニバ ス科目等)	非常勤講師:梶原康宏、高橋弘樹、楠本由美子(長崎大学病院)、西山 純(鹿児島大学)、多田浩晃 (歯学部)、野中文陽(医学部)、小牧憲明(こまき歯科医院)		
授業の概要 離島歯科保健医療実習について、その意義や目的を学ぶ。後期から始まる実習では介護や行政の仕事を実際に体験し、歯科医院実習では訪問歯科や小離島診療所ほか、離島ならではの診療の様子、求められる歯科のあり方を知ることができる。 長崎県は日本一離島が多い県である。離島における歯科医療、保健、福祉について学修する。 また、多職種連携についても学修する。			
授業到達目標 一般目標 GIO: (離島)地域における医療、保健、福祉の実際を通して、地域包括ケアシステムや 多職種連携の概念を理解する。		【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 A-7	
個別行動目標 SBOs: 1. 地域社会(へき地・離島を含む)における歯科医療の現状を概説できる。 2. 地域包括ケアシステムの概念、および多職種連携の在り方を理解する。 3. かかりつけ歯科医等の役割を理解する。 4. 地域における在宅医療、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。		A-7-1) A-7-1) A-7-1) A-7-1)	
対応するディプロマポリシー DP9:多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。 DP10:離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意志を持って、歯科口腔医療を実践できる。			
授業方法(学習指導法) 講義形式			
授業内容 1 回目:多職種連携①理学療法士として (梶原) 2 回目:多職種連携②作業療法士 (高橋) 3 回目:多職種連携③言語聴覚士として (楠本) 4 回目:鹿児島大学の実施してきた離島歯科巡回診療について (西山) 5 回目:離島歯科保健医療実習について (多田) 6 回目:離島の定義、特徴および離島医療について (野中) 7 回目:離島における歯科医療について (小牧)			
キーワード	離島、地域医療、保健、福祉		
教科書・教材・参考書	離島・へき地医学講座、離島医療研究所ホームページ, <a href="http://ritouken.com">http://ritouken.com</a>		
成績評価の方法・基準等	レポート		
受講要件(履修条件)	なし		
備考(学生へのメッセージ)	離島実習開始前に学務係から ID/PW を受け取りログインして実習開始前アンケートに応えること。 非常勤講師による特別講義は礼節をわきまえること。また出席を重視する。 ※外部からの講師が多いため、日程の変更時にはお知らせしますので注意してください。		
実務経験のある教員による授業科目	・多田浩晃、川下由美子／現役歯科医師が大学病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。		

	<ul style="list-style-type: none"><li>・野中 文陽／現役医師が大学病院、五島中央病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li><li>・西山 豪／現役歯科医師が大学病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li><li>・小牧 憲明／現役歯科医師が歯科医院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li><li>・／現役理学療法士が病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li><li>・／現役作業療法士が病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li><li>・／現役言語聴覚士が病院における実務経験／島しょ地域における医療保健福祉の様々なフィールドで求められている歯科の必要性、あり方、歯科と多職種連携の意義、取り組み方を指導する。</li></ul>
--	---

**離島歯科医学日程表**

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	29	木	4	多職種連携①(理学療法士として)	梶原	講義室6B
2回	6	29	木	5	多職種連携②(作業療法士として)	高橋	講義室6B
3回	6	29	木	6	多職種連携③(言語聴覚士として)	楠本	講義室6B
4回	7	6	木	4	鹿児島大学の実施してきた離島歯科巡回診療について	西山	講義室6B
5回	7	6	木	5	離島歯科保健医療実習について	多田	講義室6B
6回	7	6	木	6	離島の定義、特徴および離島医療について	野中	講義室6B
7回	7	6	木	7	離島における歯科医療について	小牧	講義室6B

年度 2023 学期 2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択	必修	単位数 (19)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25054613 DNGD33361991 医療面接/(Medical Interview)			
対象年次 5 年次	講義形態 講義・実習形式	教室	各部屋・講義室 6B	
対象学生(クラス等)		科目分類	統合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと				
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝, 俣木志朗(元東京医科歯科大学), 服巻豊(広島大学), 多田浩晃, 木村泰男(臨床教授), 野中愛恵(元 JICA ジュニア専門員), 鵜飼孝, 鎌田幸治, 山下利佳, 野上朋幸, 杉本浩司, 橋口賀奈子, 他協力教員,			
授業の概要	歯科疾患を抱える患者を全身的・全人的に捉える態度および問題解決志向に対する理解を深める。また、信頼関係を確立するためのコミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身に付ける。これらを通して、歯科医師としての人格を涵養することの重要性を理解しなければならない。			
授業到達目標	<p>一般目標 GIO :患者との良好な人間関係の構築するために必要なコミュニケーションに関する知識、態度、技術を身に付ける。</p> <p>個別行動目標 SBOs :</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明する。(知識;想起) A-1-1)③⑤, A-1-2), A-1-3), A-3①④⑤⑥, A-4-1), A-4-2)</li> <li>歯科医師としてのプロフェッショナリズムを説明する。(知識;想起) A-1-1)③⑤, A-1-2), A-1-3), A-5-1)①②③④⑤⑥, A-6-1), A-6-2), A-6-3)</li> <li>患者の社会的・心理的背景を考慮する。(態度・習慣) A-1-2), A-3①④⑤⑥, A-4-2)</li> <li>患者の権利に配慮する。(態度・習慣) A-1-2), A-3①④⑤⑥, A-4-2)</li> <li>保健、医療に関する国際的課題について理解し、コミュニケーションをとる際に配慮する。(態度・習慣) A-4-2), A-7-2)</li> <li>正確かつ必要十分な医療面接を行う。(技能) A-1-1) ③⑤, A-1-2), A-1-3), A-3①④⑤⑥, A-4-1), A-4-2), A-5-1) ①②③④⑤⑥)</li> </ol>			
対応するディプロマポリシー	<p>DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。</p> <p>DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>DP9:多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。</p>			
授業方法(学習指導法)	<p>プリントとスライドを用いた講義、SGD 形式の学習、模擬患者に対する医療面接実習およびビデオ学習。</p> <p>はじめに、医療面接に関する基礎知識とコミュニケーションの基本的技法を講義により学習する。次いで、小グループ実習と模擬患者を用いたロールプレイ実習を行い、形成的評価を繰返し受けることによって医療面接についての基本的態度、技能および知識を修得する。さらに、医療に携わる者としての人格の涵養に望ましい姿勢と態度を考える。</p>			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 回目: 医療面接の目的と総論</li> <li>2 回目: 医療コミュニケーションをとるための技法 1</li> <li>3 回目: 医療コミュニケーションをとるための技法 2</li> <li>4 回目: 医療コミュニケーションをとるための技法 2</li> <li>5 回目: 対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング 1</li> <li>6 回目: 対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング 2</li> <li>7 回目: 対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング 2</li> <li>8 回目: 医療行動科学演習 (ビデオ学習;診療開始・診療中・診療後)</li> <li>9 回目: SGD (医療面接実習評価シート作成), PLS (プロダクト発表)</li> <li>10 回目: SGD (医療面接実習評価シート作成), PLS (プロダクト発表)</li> <li>11 回目: ロールプレイ実習 1 (面接/評価トライアル)</li> <li>12 回目: ロールプレイ実習 2 (面接/評価トライアル)</li> <li>13 回目: SP シミュレーション実習 1 (初診時医療面接)</li> <li>14 回目: ロールプレイ実習 3 (面接/評価トライアル)</li> </ol>			

15回目：SPシミュレーション実習 2（初診時医療面接）	
16回目：SPシミュレーション実習 3（初診時医療面接）	
17回目：グローバルコミュニケーション 1	
18回目：グローバルコミュニケーション 2	
キーワード	コミュニケーション, 敬語, プロフェッショナリズム, 医療行動科学
教科書・教材・参考書	参考書: 医療面接技法とコミュニケーションのとり方, 福島統編, メジカルビュー社 よくわかる医療面接と模擬患者, 鈴木富雄・阿部恵子編, 名古屋大学出版会
成績評価の方法・基準等	医療行動科学は筆記試験またはレポートで評価する。医療面接実習は、学生の相互評価、模擬患者の評価およびファシリテーターの観察記録によって評価する。これらの平均点60点以上を合格とする。
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合、成績評価の対象とならない。 また、実習は必ず出席しなければならない。
備考(学生へのメッセージ)	他人の言葉から、必要な情報を引き出すことを学びます。人に心を開いてもらえるよう、言葉遣いだけでなく、表情、身だしなみにいたるまで、自分を磨いてください。
実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角 忠輝／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・俣木 志朗／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・服巻 豊／総合病院における臨床心理士業務／総合病院における臨床心理士としての経験を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・多田 浩晃／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・木村 泰男／長崎大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・鵜飼 孝／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・鎌田 幸治／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・山下 利佳／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・野上 朋幸／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・杉本 浩司／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・樋口 賀奈子／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に患者とのコミュニケーションに必要な基本的技法などを教授する。</li> <li>・野中 愛恵／元国際協力事業団医療協力部第一課ジュニア専門員／JICAにおける経験を元に、国際医療支援活動について講義形式の授業を行っている</li> </ul>

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	16	金	6	医療面接の目的と総論	角 忠輝	講義室6B
2回	6	20	火	4	医療コミュニケーションをとるための技法 1	俣木志朗	講義室6B
3回	6	20	火	5	医療コミュニケーションをとるための技法 2	俣木志朗	講義室6B
4回	6	20	火	6	医療コミュニケーションをとるための技法 3	俣木志朗	講義室6B
5回	6	23	金	4	対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング1 —自己理解と他者理解の視点を育む—	服巻 豊	講義室6B
6回	6	23	金	5	対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング2 —自己理解と他者理解の視点を育む—	服巻 豊	講義室6B
7回	6	23	金	6	対人場面をスムーズにする課題解決ロールプレイング3 —自己理解と他者理解の視点を育む—	服巻 豊	講義室6B
8回	6	30	金	4	医療行動科学演習 (ビデオ学習;診療開始・診療中・診療後)	多田浩晃	講義室6B
9回	6	30	金	5	小グループ実習 医療面接実習評価シート作成 プロダクト(医療面接実習評価シート)発表・討議	多田浩晃	講義室6B
10回	6	30	金	6	小グループ実習 医療面接実習評価シート作成 プロダクト(医療面接実習評価シート)発表・討議	多田浩晃	講義室6B
11回	7	7	金	4	ロールプレイ実習1(面接／評価トライアル)	教員6	6教室
12回	7	7	金	5	ロールプレイ実習2(面接／評価トライアル)	教員6	6教室
13回	7	7	金	6	SPシミュレーション実習1(初診時医療面接)	教員6	6教室
14回	7	14	金	4	ロールプレイ実習3(面接／評価トライアル)	教員6	6教室
15回	7	14	金	5	SPシミュレーション実習2(初診時医療面接)	教員6	6教室
16回	7	14	金	6	SPシミュレーション実習3(初診時医療面接)	教員6	6教室
17回	7	18	火	4	グローバルコミュニケーション	野中愛恵	講義室6B
18回	7	18	火	5	グローバルコミュニケーション	野中愛恵	講義室6B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 (19)																
科目番号	25054629																		
科目ナンバリング・コード	DNGD 33581990																		
授業科目名/(英語名)	医療倫理・プロフェッショナリズム論 / (Medical Ethics and Professionalism)																		
対象年次 5 年次	講義形態 講義・e-learning 形式	教室 講義室 6B																	
対象学生(クラス等)	歯学部	科目分類 統合科目																	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/隨時 ※来室前に確認のこと																			
担当教員(オムニバ ス科目等)	角 忠輝、長谷 由紀子(非常勤講師)																		
<b>授業の概要</b> 患者は歯科医師と言う職業に対する信頼を有することで、全く知らない歯科医師に自らの診療を許している。プロフェッショナリズムとは社会の信頼を得るために保証を生み出すものとして定義される。																			
<b>授業到達目標</b> <b>一般目標 GIO:</b> 患者とその関係者、医療チームのメンバーを尊重し、責任を持って医療を実践するための態度、倫理観を有して行動できる。そのために、歯科医師としての自己を評価し生涯にわたって向上を図ることができる。																			
<b>個別行動目標 SBOs:</b> <table> <tr> <td>1. 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。</td> <td>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</td> </tr> <tr> <td>2. 法的責任・規範を遵守する。</td> <td>A-1,</td> </tr> <tr> <td>3. 他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。</td> <td>A-4-2)-⑥, ⑦,</td> </tr> <tr> <td>4. 患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会的背景に関心を払い、その立場を尊重する。</td> <td>A-5-1)-⑤, ⑦,</td> </tr> <tr> <td>5. 常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。</td> <td>A-9</td> </tr> <tr> <td>6. 医科歯科連携および多職種連携を実践できる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学修により常に自己の向上を図ることができる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを説明でき、患者の権利に配慮できる。</td> <td></td> </tr> </table>				1. 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】	2. 法的責任・規範を遵守する。	A-1,	3. 他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	A-4-2)-⑥, ⑦,	4. 患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会的背景に関心を払い、その立場を尊重する。	A-5-1)-⑤, ⑦,	5. 常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。	A-9	6. 医科歯科連携および多職種連携を実践できる。		7. 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学修により常に自己の向上を図ることができる。		8. 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを説明でき、患者の権利に配慮できる。	
1. 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】																		
2. 法的責任・規範を遵守する。	A-1,																		
3. 他者の尊厳を尊重し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	A-4-2)-⑥, ⑦,																		
4. 患者とその関係者の心理・社会的要因と異文化、社会的背景に関心を払い、その立場を尊重する。	A-5-1)-⑤, ⑦,																		
5. 常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。	A-9																		
6. 医科歯科連携および多職種連携を実践できる。																			
7. 自らのキャリアをデザインし、自己主導型学修により常に自己の向上を図ることができる。																			
8. 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを説明でき、患者の権利に配慮できる。																			
<b>対応するディプロマポリシー</b> DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。 DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。																			
<b>授業方法(学習指導法)</b> さまざまな方向性の事例を提示し、グループディスカッションを行い、発表により全体討論を行う。																			
<b>授業内容</b> 1回目:プロフェッショナリズム概論 2回目:プロフェッショナリズム演習 事例検討 1 SGD 3回目:プロフェッショナリズム演習 事例検討 1 発表 4回目:プロフェッショナリズム演習 事例検討 2 SGD 5回目:プロフェッショナリズム演習 事例検討 2 発表 6回目:医療倫理・プロフェッショナリズム論 試験 7回目:多職種で考えるプロフェッショナリズム論(仮題) 8回目:多職種で考えるプロフェッショナリズム論(仮題)																			
キーワード	医療倫理、プロフェッショナリズム																		
教科書・教材・参考書	教科書:特に指定しない 参考書:医師のためのパフォーマンス学入門 日経 BP 社 話を聞かない医師 思いが言えない患者 集英社																		
成績評価の方法・基準等	医療倫理・プロフェッショナリズム論は第 6 回目の授業中に筆記試験で評価する。プロフェッショナリズム演習は、学生の相互評価および観察記録によって評価する。これらの平均点 60 点以上を合格とする。																		
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の 3 分の 2 に達しない場合、成績評価の対象とならない。																		
備考(学生へのメッセージ)	信頼を得るとはどう言うことか、について絶えず自問自答し自らを磨いてほしい。																		

実務経験のある教員による授業科目	<ul style="list-style-type: none"><li>・角 忠輝／大学病院における歯科診療行為／大学病院における診療行為を元に医療倫理・プロフェッショナリズムを教授する。</li><li>・長谷 由紀子／大学病院における歯科診療、保健衛生業務／大学病院における診療行為を元に医療倫理・プロフェッショナリズムを教授する。</li></ul>
------------------	--

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	4	17	月	2	プロフェッショナリズム概論	角	講義室6B
2回	4	17	月	3	プロフェッショナリズム演習 事例検討1 SGD	角	講義室6B
3回	6	16	金	4	プロフェッショナリズム演習 事例検討1 発表	角	講義室6B
4回	6	21	水	6	プロフェッショナリズム演習 事例検討2 SGD	角	講義室6B
5回	6	26	月	2	プロフェッショナリズム演習 事例検討2 発表	角	講義室6B
6回	6	26	月	3	医療倫理・プロフェッショナリズム論 試験	角	講義室6B
7回	6	27	火	4	多職種で考えるプロフェッショナリズム論(仮題)	長谷	講義室6B
8回	6	27	火	5	多職種で考えるプロフェッショナリズム論(仮題)	長谷	講義室6B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 (19)
科目番号	25054630		
科目ナンバリング・コード	DNGD 33591992		
授業科目名/(英語名)	急性期医療/(Medical Care for an Acute Phase)		
対象年次 5 年次	講義形態 講義・e-learning 形式	教室 講義室 6B	
対象学生(クラス等) 歯学部	科目分類 統合科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバ ス科目等)	角 忠輝		
授業の概要			
周術期口腔機能管理、がん口腔支持療法など、急性期医療における「口腔・全身健康学」の知識を持ち、かつチーム医療の重要性を理解し実践するマインドを涵養する。医学、看護学、栄養学との融合を図る。 なおこの講義は、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム選定事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革-死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築-」の一環として行われる。			
授業到達目標			
一般目標 GIO: 周術期口腔機能管理、がん口腔支持療法など、急性期医療における「口腔・全身健康学」の知識を持ち、かつチーム医療の重要性を理解し実践するマインドを涵養する。			
個別行動目標 SBOs: 1.全身状態を観察する目を養い、適切な全身管理法を学ぶ。 2.歯科治療時の全身的偶発症の対処法、予防法を学ぶ。			
【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 E-1-4)-(4)-③, E-1-5)-⑩, E-1-6)-①, E-6			
対応するディプロマポリシー			
DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。 DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。 DP7:患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。 DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。 DP9:多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。			
授業方法(学習指導法) 主に e-learning を用いた講義による。			
授業内容			
1 回目:講義シリーズ2(e-learning 1) 歯学生・歯科医療者が知っておくべき臨床腫瘍学総論			
2 回目:講義シリーズ2(e-learning 2) 頭頸部癌に対する放射線治療の実際と顎口腔領域の合併症について			
3 回目:講義シリーズ2(e-learning 3) がん化学療法の実際と口腔内合併症への対策			
4 回目:講義シリーズ2(e-learning 4) 歯学生が知っておくべき集中治療の知識			
5 回目:講義シリーズ2(e-learning 5) 歯学生・歯科医師が知っておくべき周術期管理学の歴史と潮流			
6 回目:講義シリーズ2(e-learning 6) 歯学生・歯科医療者が知っておくべき周術期口腔管理・がん口腔支持療法の実際－総論－			
7 回目:講義シリーズ2(e-learning 7) 歯学生・歯科医療者が知っておくべき周術期看護			
8 回目:講義シリーズ2(e-learning 8) 周術期の栄養管理について			
キーワード	全身管理 局所麻酔 全身偶発症の予防		
教科書・教材・参考書	指定無し		
成績評価の方法・基準等	講義受講後に実施される確認テストおよび受講後のレポートにより評価する。		
受講要件(履修条件)	予定されるすべての講義の確認テストに合格し、すべての講義のレポートが提出されていること		

備考(学生へのメッセージ)	かなり現場に近い講義シリーズになるが、自らが歯科医師としてどのように関わるかを想像しながら聴講していただきたい。
実務経験のある教員による授業科目	

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	26	金	7	急性期医療:概論 講義シリーズ2(e-learning 1) 「歯学生・歯科医療者が知っておくべき臨床腫瘍学総論」	田端 雅弘	講義室6B
2回	6	2	金	7	講義シリーズ2(e-learning 2) 「頭頸部癌に対する放射線治療の実際と顎口腔領域の合併症について」	松崎 秀信	講義室6B
3回	6	9	金	7	講義シリーズ2(e-learning 3) 「がん化学療法の実際と口腔内合併症への対策」	百合草 健圭志	講義室6B
4回	6	16	金	7	講義シリーズ2(e-learning 4) 「歯学生が知っておくべき集中治療の知識」	小林 求	講義室6B
5回	6	23	金	7	講義シリーズ2(e-learning 5) 「歯学生・歯科医師が知っておくべき周術期管理学の歴史と潮流」	森松 博史	講義室6B
6回	6	30	金	7	講義シリーズ2(e-learning 6) 「歯学生・歯科医療者が知っておくべき周術期口腔管理・がん口腔支持療法の実際－総論－」	曾我 賢彦	講義室6B
7回	7	7	金	7	講義シリーズ2(e-learning 7) 「歯学生・歯科医療者が知っておくべき周術期看護」	足羽 孝子	講義室6B
8回	7	14	金	7	講義シリーズ2(e-learning 8) 「周術期の栄養管理について」	長谷川 祐子	講義室6B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 必修	単位数 (19)			
科目番号	25054631					
科目ナンバリング・コード	DNGD 33601992					
授業科目名/(英語名)	在宅介護医療/(Home Medical Care)					
対象年次 5 年次	講義形態 講義・e-learning 形式	教室 講義室 6B				
対象学生(クラス等) 歯学部	科目分類 統合科目					
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/随時 ※来室前に確認のこと						
担当教員(オムニバ ス科目等)	角 忠輝					
授業の概要						
歯科医師の多くは開業医の医療提供体制で地域医療を担っているが、生活の自立度が比較的保たれた患者を診ることが多く、患者の終末期・死も含め、人の一生を見据える歯科医療の在り方を考える経験が少ない。患者の終末期・死も含め、人の一生を見据えた健康長寿社会の実現のために歯科医療はどうあるべきかを考え、貢献する歯科医師のマインドを醸成する。						
なおこの講義は、文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム選定事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革-死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築-」の一環として行われる。						
授業到達目標						
一般目標 GIO: 回復期・慢性期医療および在宅医療における「口腔・全身健康学」の広い知識を持ち、かつチーム医療および在宅・訪問歯科診療の重要性を理解し実践する。						
個別行動目標 SBOs:						
1. 超高齢社会が求める介護医療について説明できる。	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 B-2-2)-④,					
2. 在宅介護における食支援について説明できる。	E-5-1),					
3. 認知症高齢者の口腔機能について説明できる。	F-3-2)-③～⑤,⑦					
4. 死生学について理解する。	F-3-7)-①,③,					
5. 地域包括ケアにおける歯科の役割について説明できる。	G-4					
対応するディプロマポリシー						
DP2: 歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。						
DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。						
DP7: 患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。						
DP8: 患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。						
DP9: 多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。						
DP10: 離島へき地をはじめとする地域・国際社会に貢献する強い意思を持って、歯科口腔医療を実践できる。						
授業方法(学習指導法) 主に e-learning を用いた講義による。						
授業内容						
1 回目 講義シリーズ3(e-learning 1) 超高齢者社会を見据えた未来医療予想図～今、改めて医科歯科連携で何を成し遂げるのか～(前)						
2 回目 講義シリーズ3(e-learning 2) 超高齢者社会を見据えた未来医療予想図～今、改めて医科歯科連携で何を成し遂げるのか～(後)						
3 回目 講義シリーズ3(e-learning 3) 今、求められている医療、介護とは？						
4 回目 講義シリーズ3(e-learning 4) 在宅介護現場における食支援について						
5 回目 講義シリーズ3(e-learning 5) 在宅でのリスク管理 摂食嚥下障害患者						
6 回目 講義シリーズ3(e-learning 6) 訪問歯科診療の実際～全身の情報をどう取得し、どう生かすか～						
7 回目 講義シリーズ3(e-learning 7) 在宅義歯のための総義歯治療マニュアル～高齢者の咬合確保のために～						
8 回目 講義シリーズ3(e-learning 8) 長寿時代のエンドオブライフ・ケア						
キーワード	回復期医療、慢性期医療および在宅医療					
教科書・教材・参考書	指定無し					

成績評価の方法・基準等	講義受講後に実施される確認テストおよび受講後のレポートにより評価する。
受講要件(履修条件)	予定されるすべての講義の確認テストに合格し、すべての講義のレポートが提出されていること
備考(学生へのメッセージ)	かなり現場に近い講義シリーズになるが、自らが歯科医師としてどのように関わるかを想像しながら聽講していただきたい。
実務経験のある教員による授業科目	

**日程表**

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	5	30	火	7	講義シリーズ3(e-learning 1) 超高齢者社会を見据えた未来医療予想図～今、改めて医科歯科連携で何を成し遂げるのか～(前)	飯島 勝矢	講義室6B
2回	6	6	火	7	講義シリーズ3(e-learning 2) 超高齢者社会を見据えた未来医療予想図～今、改めて医科歯科連携で何を成し遂げるのか～(後)	飯島 勝矢	講義室6B
3回	6	13	火	7	講義シリーズ3(e-learning 3) 今、求められている医療、介護とは？	浜田 淳	講義室6B
4回	6	20	火	8	講義シリーズ3(e-learning 4) 在宅介護現場における食支援について	菊谷 武	講義室6B
5回	6	27	火	7	講義シリーズ3(e-learning 5) 在宅でのリスク管理 摂食嚥下障害患者	谷口 恵子	講義室6B
6回	7	4	火	7	講義シリーズ3(e-learning 6) 訪問歯科診療の実際～全身の情報をどう取得し、どう生かすか～	山本 道代	講義室6B
7回	7	11	火	7	講義シリーズ3(e-learning 7) 在宅義歯のための総義歯治療マニュアル－高齢者の咬合確保のために－	皆木 省吾	講義室6B
8回	7	18	火	7	講義シリーズ3(e-learning 8) 長寿時代のエンドオブライフ・ケア	会田 薫子	講義室6B

年度 2023 学期 1・2Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択	必修	単位数 (19)
科目番号 科目ナンバリング・コード 授業科目名/(英語名)	25054622 DNGD33341990 統合医療学/( Integrative Medicine )			
対象年次 5 年次	講義形態 PBL・講義形式	教室	PBL 室・講義室 6B	
対象学生(クラス等)		科目分類	統合科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750)/隨時 ※来室前に確認のこと				
担当教員(オムニバス科目等)	和気裕之(非常勤講師), 川口 哲(非常勤講師), 藤山理恵, 今村 明(非常勤講師), 松島加代子(非常勤講師), 松尾朋博(非常勤講師), 坂井詠子, 常田洋平(非常勤講師), 岡安一郎, 三谷和男(非常勤講師), 角 忠輝			
授業の概要	統合医療は医療システムの一つであり、代替医療と同一ではない。すなわち、近代西洋医学を前提として、これに代替医療や伝統医学等を組み合わせて、更に QOL (Quality of Life: 生活の質) を向上させる医療である。本講義の中ではそのすべてを修得することは困難であるが、まず、歯科心身症について、体系的に学ぼうとする態度および問題解決志向に対する理解を深める。さらに東洋医学の基礎理論から臨床応用まで幅広く学習することで得られた知識は歯科領域において今後発展性が期待できる分野である。			
授業到達目標	<p>一般目標 GIO:</p> <p>安心・安全・快適な歯科治療を全ての患者に提供するための、疼痛の発生機序を理解し、口腔顎頬面痛の診断・治療法について他職種で共有できる共通言語を体系的に応用できる能力を身につける。また、医科歯科連携における東洋医学の役割を理解し、歯科臨床における重要性を認識する。</p>			
個別行動目標 SBOs:	<p>【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】</p> <p>1. 身体を構成する組織と器官、神経系について説明できる。 C-3-4)-(5)神経系, C-3-4)-(6)感覚器系と感覚 E-1-1)診察の基本 E-2-4)口腔・顎頬面領域の疾患 E-5-3)精神・心身医学的疾患</p> <p>2. 口腔顎面痛、歯科心身症の診断に必要な診察の基本診察方法について説明できる。 C-6 生体と薬物 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>3. 歯科医療に必要な麻酔と全身管理について説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>4. 口腔・顎頬面領域の常態と疾患について説明でき、診断・治療法について説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>5. 東洋医学の診断法を説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>6. 東洋医学の手技・手法を説明できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>7. 漢方処方について医科と対診できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>8. 歯科臨床における漢方処方を理解できる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>9. 舌診を行うことができる。 C-6-1) 薬物と医薬品 C-6-2) 薬理作用 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p>			
対応するディプロマポリシー	<p>DP1: 歯科口腔医学に関する基礎的知識を身につけている。</p> <p>DP2: 歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。</p> <p>DP4: 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。</p> <p>DP5: 歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。</p>			
授業方法(学習指導法)	PBL, 講義及び自己学習に加え実習を併用して学習する。			
授業内容	<p>1 回目: 歯科診療で必要な心身医学</p> <p>2 回目: 歯科診療で必要な心身医学</p> <p>3 回目: 精神科臨床と漢方</p> <p>4 回目: 味覚へのアプローチ</p> <p>5 回目: 心身歯科</p> <p>6 回目: 一般外来、消化器内科外来での使用の実際</p> <p>7 回目: 泌尿器科領域と漢方</p> <p>8 回目: 歯科漢方処方</p> <p>9 回目: 漢方最前線</p> <p>10 回目: 口腔顎頬面領域の慢性の痛みに対する見方と対応</p>			

11回目：舌診のすべて1 12回目：舌診のすべて2 13回目：試験	
キーワード	歯科心身症, 心身医学, 精神医学, 東洋医学, 漢方, 医科歯科連携
教科書・教材・参考書	1) デンタルスタッフのための歯科心身症ガイドブック. 和氣裕之, 濵谷智明, 目加田まり. 医歯薬出版, 東京, 2015. 2) サイコ・デンティストリー 歯科医のための心身医学・精神医学 第二版. 和氣裕之. 砂書房, 東京, 2015. 3) 口・あご・顔の痛みと違和感の対処法-原因がはっきりしないケースで困ったら. 和氣裕之, 玉置勝司, 宮岡等. ヒヨーロン, 東京, 2013. 4) 新・頸関節症はこわくない. 木野孔司, 杉崎正志, 和氣裕之. 砂書房, 東京, 2011. 5) 歯科漢方医学. 歯科漢方医学教育協議会監修, 永末書店 6) 続今日からあなたも口腔漢方医. 王宝禮・王龍三編, 医歯薬出版 7) 入門歯科東洋医学(第2版). 日本歯科東洋医学会編 8) 舌診論[改訂増補版]新・臨床中医学舌診篇. 陳 勇著, 花乱社
成績評価の方法・基準等	出席率, 授業中の態度を重視(40%)し, 第13回の試験(60%)にて評価する.
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合, 成績評価の対象とならない。
備考(学生へのメッセージ)	2012年3月, 長崎大学病院に, 「オーラルペイン・リエゾン外来」が開設されて以来, 歯科心身症と口腔顔面痛の評価と管理は, 歯科と医科との緊密な医療連携(リエゾン診療を含む)の下で行われている。一連の講義を通して, 口腔顔面痛にかかる歯科心身症に対する理解を深めて欲しい。また, 一連の漢方に関わる講義には, 実際の臨床につながるヒントが多く含まれている。臨床家に対して礼を失しないように。 講義日程が複雑なので注意すること。
実務経験のある教員による授業科目	• 和氣 裕之／歯科診療所における実務経験／診療経験を基に歯科診療に必要な心身医学について教授している • 川口 哲／診療所における診療行為／自らの診療経験を元に, 精神科領域における漢方医療の実際にについて講義形式の授業を行っている • 藤山 理恵／大学病院における歯科診療行為／自らの診療経験を元に, 味覚に関する基礎および臨床について講義・実習形式の授業を行っている • 今村 明／大学病院における診療経験／大学病院における診療経験（精神医学）を元に精神医学に関する講義を行っている • 松島 加代子／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（消化器内科）を元に漢方医療の実際にについて講義形式の授業を行っている • 松尾 朋博／大学病院における診療行為／大学病院における診療行為（泌尿器科）を元に漢方医療の実際にについて講義形式の授業を行っている • 常田 洋平／研究職／製薬会社での研究職の経験を活かし, 漢方薬理の最新情報について講義形式の授業を行っている • 岡安 一郎／大学病院における歯科診療行為／自らの診療経験を元に, 統合医療の概念について講義形式の授業を行っている • 三谷 和男／診療所における診療行為／自らの診療経験を元に, 舌診の有用性について講義形式の授業を行っている • 角 忠輝／大学病院における歯科診療行為／自らの診療経験を元に, 統合医療の概念について講義およびアクティブラーニング形式の授業を行っている

日程表

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	6	14	水	4	歯科診療で必要な心身医学	和氣裕之	講義室6B
2回	6	14	水	5	歯科診療で必要な心身医学	和氣裕之	講義室6B
3回	6	15	木	4	精神科臨床と漢方	川口 哲	講義室6B
4回	6	16	金	5	味覚へのアプローチ	藤山理恵	講義室6B
5回	6	21	水	4	心身歯科	今村 明	講義室6B
6回	6	21	水	5	一般外来、消化器内科外来での使用の実際	松島加代子	講義室6B
7回	6	22	木	4	泌尿器科領域と漢方	松尾朋博	講義室6B
8回	6	22	木	5	歯科漢方処方	坂井詠子	講義室6B
9回	7	12	水	4	漢方最前線	常田洋平	講義室6B
10回	7	12	水	5	口腔顔面領域の慢性の痛みに対する見方と対応	岡安一郎	講義室6B
11回	7	13	木	4	舌診のすべて1	三谷和男	講義室6B
12回	7	13	木	5	舌診のすべて2	三谷和男	講義室6B
13回	7	20	木	1	試験	角 忠輝	講義室6B

年度 2023 学期 3・4Q	曜日・校時 時間割を参照	必修選択 選択	単位数 1.5
科目番号	25119901		
科目ナンバリング・コード	DNGD44041990		
授業科目名/(英語名)	高次口腔医療学/(Advanced Oral Medicine)		
対象年次 6 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 3B	
対象学生(クラス等)	科目分類		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 角 忠輝/sumi@nagasaki-u.ac.jp/総合歯科臨床教育学教授室/095-819-7750(内 7750) /隨時 ※来室前に確認のこと			
担当教員(オムニバス科目等)	角 忠輝, 多田浩晃, 藤山理恵, 他協力教員		
<b>授業の概要</b> 今まで身につけた知識を整理・統合し、歯科医師に必要な全般的な知識を確固たるものとするため、チーム基盤型学習(Team-Based Learning, TBL) の形式により統合学習を行う。また、基礎系および臨床系各講座が重要項目について解説する。			
<b>授業到達目標</b> 一般目標 GIO: 歯科医師法第9条に基づいて、臨床上必要な歯科医学及び口こう衛生に関する、歯科医師として具有すべき知識及び技能について、その知識および態度を修得する。	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】 (すべてのコアカリ領域をふまえた上で本講義は進められる。)		
個別行動目標 SBOs: 1. 基礎および臨床の多分野にわたる歯科医学の統合的知識を基盤として、症例問題等の課題を解決できる。 2. グループに与えられた課題を効果的かつ効率的に解決するために、十分に準備して授業に臨み、他のメンバーと協調して課題に取り組むことができる。			
対応するディプロマポリシー DP1:歯科口腔医学に関する基礎的知識を身にしている。 DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身にしている。 DP3:歯科口腔医療を行える基本的臨床能力を身にしている。 DP4:歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身にしている。 DP5:歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。 DP6:多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。			
<b>授業方法(学習指導法)</b> TBL 形式による相互討論および講義・演習形式による統合学習			
<b>授業内容</b> (日程については第 I 期開始前に提示する。理解進度によって内容が変更されることがあるので指示には注意すること) 第 I 期(11月上旬予定) 高次口腔医療学 I (8 回) : Taxonomy I 想起レベルの課題に取り組み、基本的知識の定着を図る。			
<b>第 II 期</b> 高次口腔医療学 II (8 回) : Taxonomy II 解釈レベルの課題に取り組み、持てる知識の複合に努める。			
<b>第 III 期</b> 高次口腔医療学 III (8 回) : Taxonomy III 問題解決レベルの課題に取り組み、知識の応用、統合を図る。			
キーワード	歯科医師法、歯科医師国家試験		
教科書・教材・参考書	特に指定しない		
成績評価の方法・基準等	授業への出席およびグループ作業への取り組みを総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)	臨床実習終了者		
備考(学生へのメッセージ)	6 年間の総まとめとなる講義であり、互いを高め合うために積極的な取り組みおよび討議を期待する。医療人を目指す学習者として相応しい態度で学ぶことができる者に限る。(正当な理由なく欠席したり、他の学生の受講の妨げになる等の行動をする者は、評価の対象としないこともある。)		
実務経験のある教員による授業科目	未定。		

年度 2023 学期 3・4Q	曜日・校時 火・7~8	必修選択 必修	単位数 2
科目番号	25094901		
科目ナンバリング・コード	DNGD11062098		
授業科目名/(英語名)	実践臨床歯科英会話/(Chair-side Dental English Communication)		
対象年次 4 年次	講義形態 講義形式	教室 講義室 6A	
対象学生(クラス等)	科目分類 専門教養科目		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	渡邊郁哉/ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp/生体材料学分野教授室/095-819-7656(内 7656)/金曜 15:00~17:00		
担当教員(オムニバス科目等)	渡邊郁哉、バラネザハド・アリザ、David Atwood (非常勤講師)、		
授業の概要	基礎的な臨床歯科英会話の能力を身につける。歯科の各診療科で行われる診断や治療内容について、その専門歯科的な英語表現を習得し、シミュレーションに応じて患者にわかりやすく説明する。また、患者とのよりよいコミュニケーションを図るために日常会話を組み込み、会話を重点に置いた実践的な英会話レッスンを行う。		
授業到達目標			
一般目標 GIO:			
歯科英語用語をマスターする			
個別行動目標 SBOS:	【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】		
外国人患者に歯科に関する診査と診断、治療内容について英語で 説明できるようになる。	該当なし		
対応するディプロマポリシー			
DP2:歯科口腔医学に関する臨床的知識を身につけている。			
DP8:患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。			
授業方法(学習指導法)			
各種歯科診療科のトピックスに合わせて、実践の英会話を外国人講師と行う。			
授業内容			
1 回目: Orientation: Overview the class schedule, grading, goals, and objectives for the course, introduce yourself Introduction to Web class and CALL system (check your log-in/password)			
2 回目: Lesson 1. First Visit (初診)			
3 回目: Lesson 2. Endodontics and Operative Dentistry (保存処置)			
4 回目: Lesson 3. Periodontal Treatment (歯周処置)			
5 回目: Lesson 4. Prosthodontic Treatments Using Crowns and Bridges (クラウン・ブリッジによる補綴処置)			
6 回目: Lesson 5. Implant Therapy (インプラント治療について)			
7 回目: Lesson 6. Removable Prosthodontic Treatment (可撤性義歯による処置)			
8 回目: Lesson 7. Preventive Dentistry (歯科予防処置)			
9 回目: Lesson 8. Treatment for Children (小児への処置)			
10 回目: Lesson 9. Orthodontic Treatment (矯正処置)			
11 回目: Lesson 10. Esthetic Dentistry (審美歯科)			
12 回目: Lesson 11. Temporomandibular Joint Disorders (顎関節症)			
13 回目: Lesson 12. Dysphagia Rehabilitation (摂食・嚥下リハビリテーション)			
14 回目: Lesson 13. Special Dental Treatment (特殊な歯科処置)			
15 回目: Lesson 14. Oral Surgical Treatment and Dental Anesthesia (口腔外科と歯科麻酔処置)			
キーワード	歯科英単語、歯科英会話		
教科書・教材・参考書	チェアーサイドの臨床歯科英会話、 加藤有三監修、 医歯薬出版 補助教材ハンドアウト		
成績評価の方法・基準等	筆記試験 (毎回の小テスト)、英語での口頭試問、課題レポートの総合評価。定期試験時には、筆記試験ならびに各自、英語でのファイナルスピーチを行う。追試験 (特別な理由がある場合のみ) と再試験を実施する。再試験の評価は本試験の結果を考慮する。		
受講要件(履修条件)	2 / 3 以上の出席を受験資格とする。		
備考(学生へのメッセージ)	歯科英語表現の基礎知識を習得する/日常英会話と組み合させて、外国人患者に英語で歯科診療について説明できるようになる。		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。		

No.	月	日	曜日	校時	授業項目・授業内容	教員名	教室
1回	10	3	火	7~8	Orientation: Overview the class schedule, grading, goals, and objectives for the course, introduce yourself Introduction to Web class and CALL system (check your log-in/password)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
2回	10	10	火	7~8	Lesson 1. First Visit (初診)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
3回	10	17	火	7~8	Lesson 2. Endodontics and Operative Dentistry (保存処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
4回	10	24	火	7~8	Lesson 3. Periodontal Treatment (歯周処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
5回	10	31	火	7~8	Lesson 4. Prosthodontic Treatments Using Crowns and Bridges (クラウン・ブリッジによる補綴処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
6回	11	7	火	7~8	Lesson 5. Implant Therapy (インプラント治療について)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
7回	11	14	火	7~8	Lesson 6. Removable Prosthodontic Treatment (可撤性義歎による処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
8回	11	21	火	7~8	Lesson 7. Preventive Dentistry (歯科予防処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
9回	11	28	火	7~8	Lesson 8. Treatment for an Infant (小児への処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
10回	12	5	火	7~8	Lesson 9. Orthodontic Treatment (矯正処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
11回	12	12	火	7~8	Lesson 10. Esthetic Dentistry (審美歯科)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
12回	12	19	火	7~8	Lesson 11. Temporomandibular Joint Disorders (顎関節症)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
13回	1	9	火	7~8	Lesson 12. Dysphagia Rehabilitation (摂食・嚥下リハビリテーション)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
14回	1	23	火	7~8	Lesson 13. Special Dental Treatment (特殊な歯科処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A
15回	1	30	火	7~8	Lesson 14. Oral Surgical Treatment and Dental Anesthesia (口腔外科と歯科麻酔処置)	David Atwood , Valanezhad	講義室6A

## 授業の概要

臨床実習は附属病院、その他の医療現場において、実際に患者と接しながら、指導医の指導・監督の下に実施すべき内容であり、登院前の臨床開始前実習および実際に患者の診療を行う診療参加型臨床実習で構成される。臨床実習においては、総合的な診療能力の基本としての知識、技能及び態度を修得するために、個々について独立して行うのではなく臨床実習全体を通して体系的に行わなければならない。また法令を遵守し、社会制度や歯科医療関連法規に沿った診療を行うことを学ぶ。

臨床開始前実習では、歯学教育モデル・コア・カリキュラムに示されるFシミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))に基づき、診療行為全般に対しての準備教育を行う。

診療参加型臨床実習においては、歯学教育モデル・コア・カリキュラム に示される G 臨床実習に基づき、基本的な診察や技能を修得し、歯科医学・医療の進歩と改善に資するために、臨床を通して研究意欲と基礎的素養を身に付け、卒業後に歯科医師としての資質・能力を涵養することを目標とする。その達成のためには、できるだけ自験を行うことが必要であり、別表(305～306 頁)にある「臨床実習の内容と分類」に記載した実習内容を参照し実習を行う。

## 授業到達目標

口腔の健康を通じて人の命と生活を守る歯科医師としての職責への自覚を高めるとともに、患者およびその家族と良好な人間関係を構築する能力、患者の全人的理解に基づく基本的歯科診療を実践する能力、そして自ら問題を発見して自己学習によってそれを解決する能力を培う。

## 各診療科等の一般目標(GIO)

- 1) 良好的な患者－歯科医師関係を築くとともに、患者の情報を聴取し仮診断をして適切な診療科へ引き継ぐための知識、技能および態度を修得する。
  - 2) フッ化物塗布ならびに予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得する。地域歯科保健活動を実践するために必要な基本的知識・技能および態度を修得する。
  - 3) 矯正模型分析に必要な基本的な技能を修得する。矯正診断と治療評価に必要な知識、技能および態度を修得する。
  - 4) 小児歯科臨床に必要な知識、技能および態度を修得する。
  - 5) コンポジットレジン修復についての知識、技能および態度を修得する。
  - 6) 歯周疾患治療のために、歯周基本治療についての知識、技能および態度を修得する。根管治療についての知識、技能および態度を修得する。
  - 7) クラウンブリッジによる補綴歯科治療についての知識、技能および態度を修得する。
  - 8) 患者を中心とした歯科医療の実践に必要な有床義歯治療の知識、技能および態度を修得する。
  - 9) 顎顔面口腔領域に発生する疾患を理解し、診断を導く思考力および判断力を養い、全身管理も含めた治療方針を決定する能力を身につける。
  - 10) 障害者および有病者の診療に参加することにより、これらの患者に対する口腔管理を体得し、ノーマライゼーションの概念、口腔管理の重要性を理解し、「口の健康を通して人の生活の質(QOL)を守る」という歯科医師の役割を理解する。
  - 11) 各種疾患の診断に必要な画像検査を選択し、画像診断の方法を修得するとともに、放射線防護の実践のための基本的知識、技能を修得する。
  - 12) 患者の全身状態を把握する意義を学び、全身状態に配慮した、安全な歯科診療の基本を理解する。
  - 13) 摂食嚥下障害も含め、口から食べることを歯科医師として理解する。
  - 14) 災害、事故、犯罪等の身元不明死体における個人識別(身元確認)の重要性を理解する。

## 【平成 28 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム】

- F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))
    - F-1 診療の基本
      - F-1-1) 口腔内の診察・記録
      - F-1-2) 医療安全・感染対策
    - F-2 基本的診察法
      - F-2-1) 医療面接
      - F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
    - F-3 基本的臨床技能
      - F-3-1) 共通事項
      - F-3-2) 歯科保健指導
      - F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療
      - F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療
      - F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療
      - F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
      - F-3-7) 高齢者・障害者等患者への治療
    - G 臨床実習
      - G-1 診療の基本
        - G-1-1) 臨床診断・治療計画
        - G-1-2) 医療安全・感染対策
      - G-2 基本的診察法
      - G-3 基本的臨床技能
      - G-4 チーム医療・地域医療
      - G-5 患者中心の医療

<p><b>授業方法(学習指導法)</b></p> <p>臨床開始前実習(OSCEに合格している場合はその一部を免除することがある)</p> <p>病院歯科外来および入院病棟における臨床実地全般</p> <p>離島歯科医療・福祉・保健実習</p> <p>歯科健診等地域医療実習</p> <p>臨床歯学セミナー</p> <p>医療支援歯学教育コースワーク【文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム選定事業「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－」における講義シリーズ「生活習慣病と口腔」「急性期医療」「在宅介護医療」に相当するもの】</p>											
<p><b>対応するディプロマポリシー</b></p> <p>DP3 歯科口腔医療を行える基本的臨床能力を身につけている。</p> <p>DP4 歯科口腔疾患を全身疾患と関連付けて診断できる臨床能力を身につけている。</p> <p>DP5 歯科口腔医療の現場における問題発見・解決能力を身につけ、リサーチマインドを修得している。</p> <p>DP6 多様化する歯科口腔医療のニーズに即応し、先端的医療を実践するために、生涯に亘り自己主導型学習を継続できる。</p> <p>DP7 患者中心の歯科口腔医療を展開するための豊かな人間性と倫理観を身につけている。</p> <p>DP8 患者に信頼感と安心感を与えることができる高いコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>DP9 多職種との間で協調性を持ってチーム医療を実践できる。</p>											
<p><b>授業内容</b></p> <p>「臨床開始前実習の手引き」「臨床実習の手引き」参照</p>											
<table border="1"> <tr> <td>キーワード</td><td>診療参加型臨床実習、歯学教育モデル・コア・カリキュラム</td></tr> <tr> <td>教科書・教材・参考書</td><td>特に指定しない</td></tr> <tr> <td>成績評価の方法・基準等</td><td> <ol style="list-style-type: none"> <li>出席(実習であるため各分野実習全日程の4分の3以上が必要)</li> <li>各分野が設定する到達目標をすべて達成すること</li> <li>歯学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC PX)に合格すること</li> <li>臨床知識理解度試験に合格すること</li> </ol> <p>以上の点について総括的評価を行い、臨床教育委員会の承認を受け合否を判定する。</p> </td></tr> <tr> <td>診療参加型臨床実習受講要件(履修条件)</td><td>第5学年前期までの全科目および共用試験(CBT, OSCE)に合格すること。</td></tr> <tr> <td>備考(学生へのメッセージ)</td><td> <p><b>【臨床実習の手引き 序言より抜粋・改変】</b></p> <p>歯学教育における卒前の臨床教育は、歯科医師としての考え方、知識、技術を修得するための最も重要な実習である。これまで諸君が経験してきた教育は、学生と教員の共同作業であつた。しかし、臨床実習は、この中に患者という病んだ第三者が介在する、全く新しい授業形態である。諸君は、まず、このことを心してほしい。</p> <p>本学部における臨床実習の第一の特徴は、臨床実習生が、<u>担当した患者を初診から最終処置まで、一貫して診療する総合システム</u>を堅持していることである。この方法にした最大の目的は、従来の診療科単位の縦割り方式の実習の欠陥とされている「木を見て、森を見ない」弊害を克服し、<u>患者を扱う医療人としての自覚</u>を促すところにある。反面、臨床実習生の<u>勉学意欲の如何</u>によって、得るもの質と量に大差がつくという危うさも持ち合わせている。諸君の積極的な学習を期待したい。</p> <p>第二の特徴は、個々の臨床実習生に患者を担当させ、実際に診療行為を行わせることである。これは、自分で<u>主体的に行う</u>方が生きた成果を獲得しやすく、意欲も沸いてくるという教育理念に基づくものである。しかし、資格のない者が行うのであるから、インストラクターの監督下で</p> </td></tr> </table>		キーワード	診療参加型臨床実習、歯学教育モデル・コア・カリキュラム	教科書・教材・参考書	特に指定しない	成績評価の方法・基準等	<ol style="list-style-type: none"> <li>出席(実習であるため各分野実習全日程の4分の3以上が必要)</li> <li>各分野が設定する到達目標をすべて達成すること</li> <li>歯学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC PX)に合格すること</li> <li>臨床知識理解度試験に合格すること</li> </ol> <p>以上の点について総括的評価を行い、臨床教育委員会の承認を受け合否を判定する。</p>	診療参加型臨床実習受講要件(履修条件)	第5学年前期までの全科目および共用試験(CBT, OSCE)に合格すること。	備考(学生へのメッセージ)	<p><b>【臨床実習の手引き 序言より抜粋・改変】</b></p> <p>歯学教育における卒前の臨床教育は、歯科医師としての考え方、知識、技術を修得するための最も重要な実習である。これまで諸君が経験してきた教育は、学生と教員の共同作業であつた。しかし、臨床実習は、この中に患者という病んだ第三者が介在する、全く新しい授業形態である。諸君は、まず、このことを心してほしい。</p> <p>本学部における臨床実習の第一の特徴は、臨床実習生が、<u>担当した患者を初診から最終処置まで、一貫して診療する総合システム</u>を堅持していることである。この方法にした最大の目的は、従来の診療科単位の縦割り方式の実習の欠陥とされている「木を見て、森を見ない」弊害を克服し、<u>患者を扱う医療人としての自覚</u>を促すところにある。反面、臨床実習生の<u>勉学意欲の如何</u>によって、得るもの質と量に大差がつくという危うさも持ち合わせている。諸君の積極的な学習を期待したい。</p> <p>第二の特徴は、個々の臨床実習生に患者を担当させ、実際に診療行為を行わせることである。これは、自分で<u>主体的に行う</u>方が生きた成果を獲得しやすく、意欲も沸いてくるという教育理念に基づくものである。しかし、資格のない者が行うのであるから、インストラクターの監督下で</p>
キーワード	診療参加型臨床実習、歯学教育モデル・コア・カリキュラム										
教科書・教材・参考書	特に指定しない										
成績評価の方法・基準等	<ol style="list-style-type: none"> <li>出席(実習であるため各分野実習全日程の4分の3以上が必要)</li> <li>各分野が設定する到達目標をすべて達成すること</li> <li>歯学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC PX)に合格すること</li> <li>臨床知識理解度試験に合格すること</li> </ol> <p>以上の点について総括的評価を行い、臨床教育委員会の承認を受け合否を判定する。</p>										
診療参加型臨床実習受講要件(履修条件)	第5学年前期までの全科目および共用試験(CBT, OSCE)に合格すること。										
備考(学生へのメッセージ)	<p><b>【臨床実習の手引き 序言より抜粋・改変】</b></p> <p>歯学教育における卒前の臨床教育は、歯科医師としての考え方、知識、技術を修得するための最も重要な実習である。これまで諸君が経験してきた教育は、学生と教員の共同作業であつた。しかし、臨床実習は、この中に患者という病んだ第三者が介在する、全く新しい授業形態である。諸君は、まず、このことを心してほしい。</p> <p>本学部における臨床実習の第一の特徴は、臨床実習生が、<u>担当した患者を初診から最終処置まで、一貫して診療する総合システム</u>を堅持していることである。この方法にした最大の目的は、従来の診療科単位の縦割り方式の実習の欠陥とされている「木を見て、森を見ない」弊害を克服し、<u>患者を扱う医療人としての自覚</u>を促すところにある。反面、臨床実習生の<u>勉学意欲の如何</u>によって、得るもの質と量に大差がつくという危うさも持ち合わせている。諸君の積極的な学習を期待したい。</p> <p>第二の特徴は、個々の臨床実習生に患者を担当させ、実際に診療行為を行わせることである。これは、自分で<u>主体的に行う</u>方が生きた成果を獲得しやすく、意欲も沸いてくるという教育理念に基づくものである。しかし、資格のない者が行うのであるから、インストラクターの監督下で</p>										

	<p>しか許されないという制約があるのは当然である。見守るインストラクターの心労も察して欲しい。医療を学ぶ者として、また、次回も来院してもらうためにも、患者さんの信頼を失わない努力を心がける必要がある。</p> <p>このような臨床実習は主として第1外来棟6階の歯科系診療部門をホームグランドとして行われるが、これだけでは症例が限定される。そこで、少人数のグループ単位で各科へ出かける特別実習も組まれている。</p> <p>さらに、これらの臨床実習が病院内における日常業務の一環として行われていることにも留意すべきである。事務職員や、歯科衛生士、看護師をはじめ病院全職員の支援を受けて成り立っていることを忘れてはならない。</p>
実務経験のある教員による授業科目	別冊「臨床実習の手引き」に記載の担当教員全員／長崎大学病院での歯科臨床経験／診療実務経験を活かし、診療能力としての基本的知識、技能、態度を修得するための指導を行う。

## 臨床実習の内容と分類

Gの項目		I. 指導者のもと実践する (自験を求めるもの)	II. 指導者のもとでの実践が望まれる (自験不可の場合は シミュレーション等で補完する)
1 診療の 基本	臨床診断・ 治療計画	診断と治療計画の立案(咬合が安定している)	診断と治療計画の立案(咬合を安定させる処置が必要)
	病態写真 ・模型	口腔・顔面の写真撮影、研究用模型の製作	
	診療録・ 処方箋	診療録の作成、処方箋の作成、技工指示書の作成	
2 基本的 診察法	医療面接	医療面接(成人)	医療面接(高齢者)
	バイタルサイン	血圧・脈拍・呼吸・体温の測定	
	頭頸部・ 口腔の診察	頭頸部・口腔の視診・触診・打診・聴診	
	画像検査	口内法エックス線撮影	パノラマエックス線撮影
	臨床検査		
		温度診、電気診、透照診	う蝕リスク検査
		根管長測定	根管内細菌培養検査
		歯周組織検査(歯の動搖度検査、歯周ポケット検査、 プラーク指數測定、歯石指數測定、出血指數測定)	
		咬合検査	咀嚼能率検査
3 基本的 臨床技能	共通	手洗い(衛生的・手術時)、滅菌手袋の装着、ガウン の装着	
		局所麻酔(表面麻酔・浸潤麻酔)	局所麻酔(伝達麻酔)
		中間技工物の製作(咬合床、トレー他)	
		ポートフォリオの作成	症例報告資料の作成と実施
	口腔外科系	永久歯の単純抜歯	小膿瘍切開、縫合、抜糸
	保存系	コンポジットレジン修復(単純窩洞)、メインテナンス、 象牙質知覚過敏処置	コンポジットレジン修復(複雑窩洞)、補修修復、メタル インレー修復(複雑窩洞)、グラスアイオノマーゼメント 修復
		ラバーダム防湿、感染根管治療(根管充填を含む: 単 根歯)	覆髓法(直接・間接)、暫間の間接覆髓法、歯髓鎮痛 消炎療法、抜髓法、感染根管治療(根管充填を含む: 複根歯)
		歯周基本治療(ブラークコントロール指導、スケーリング・ルートプレーニング)、メインテナンス	歯周基本治療(咬合調整)、暫間固定(簡単なもの)
	補綴・ リハビリ系	クラウンによる補綴治療(支台歯形成、但し支台築造 を除く)、プロビジョナルレーストレーション、メインテナ ンス	支台築造(メタルポストコア、レジンポストコア、ファイ バーポストコア) 平行関係に問題のないブリッジの支台歯形成と補綴 治療
		可撤性義歯による簡単な欠損補綴治療、可撤性義歯 の簡単な修理・調整、メインテナンス	可撤性補綴装置による欠損補綴治療、補綴装置破損 の修理・調整、メインテナンス
	予防・ 指導系	口腔清掃	フッ化物塗布、予防填塞
		セルフケアに対する動機づけ、口腔衛生指導	食事指導、食育指導、高齢者に対する栄養指導、生 活習慣に関する指導、禁煙指導・支援
	小児・ 矯正系	診療の基本、予防・指導系に同じ	模型分析・頭部エックス線規格写真分析、診断、治療 計画の立案
	高齢者・障害者		
4 チーム医療・地域 医療		地域包括ケアシステムの体験	社会福祉施設等での歯科保健指導 地域歯科保健活動

※自験の定義:指導歯科医の管理・監督の下で、学習者が実際に歯科医行為を経験する実習

(「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第1次報告を踏まえた第3回フォローアップ調査まとめ(平成28年3月31日)」より抜粋)

III. 指導者の介助をする	IV. 指導者のもとで見学・体験することが望ましい
診療情報提供書(医科診療所・病院・病院歯科・施設宛て等)の作成	手術記録・麻酔記録の作成
医療面接(小児・障害者等)	医療面接(救急処置の必要な場合)
	救急処置の治療
口外法エックス線撮影、頭部エックス線規格撮影、歯科用CBCT	CT、MRI、超音波検査、造影検査
塗抹検査	採血、血液検査、免疫学的検査、生化学検査、一般細菌検査、心電図検査、呼吸機能検査、心理学的検査、止血機能検査、末梢神経機能検査
	根管内視鏡検査、実体顕微鏡による検査
	口臭検査
唾液分泌能検査、頸口腔機能検査、舌圧検査	金属アレルギー検査
	嚥下機能検査
	細胞診検査、病理組織学的検査
精神鎮静法と周術期管理	全身麻酔法と全身管理 入院患者管理
永久歯の複雑抜歯、小手術(埋伏歯の抜歯、歯根端切除術 他)	全身麻酔下での口腔外科手術
セラミックインレー修復、レジンインレー修復、ラミネートベニア修復、生活歯の漂白処置	レーザーによるう蝕除去
外傷歯の処置、失活歯の漂白処置、歯内-歯周病変の処置、断髓法、アペキシフィケーション、ヘミセクション	外科的歯内療法(歯根端切除等)、歯の再植と移植
暫間固定(複雑なもの)、歯周外科手術(歯周ポケット搔爬術 他)	永久固定、歯周外科手術(フランップ手術 他)
困難なクラウンブリッジの支台歯形成と補綴治療	可撤性支台装置による複雑な欠損補綴治療、デンタルインプラント、頸関節症治療、CAD/CAM法
困難な可撤性補綴装置による欠損補綴治療、複雑な補綴装置破損の修理・調整、摂食嚥下リハビリテーション	顎顔面欠損補綴治療
フッ化物洗口法の実施指導等	
学校歯科健康診断等での保健指導、小児等に対する歯科保健指導	
乳歯のう蝕治療、乳歯の単純抜歯、断髓法、簡単な装置の作成	行動変容法、咬合誘導、保険処置、包括的矯正治療
障害者の歯科治療 口腔衛生指導 移乗	薬物的行動調整下での歯科治療 在宅医療 医療連携
在宅医療(口腔清掃を含む)	地域包括ケアシステムを踏まえた病診・病病連携、多職種連携によるチーム医療